

2013年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門 報告書



期 日 2014年(平成26年) 3月6日(木)～9日(日)

- ・3月6日(木) モデルイベント
- ・3月8日(土) ミドル・ディスタンス競技部門
- ・3月7日(金) モデルイベント、開会式
- ・3月9日(日) リレー競技部門、閉会式

開催地 栃木県矢板市

競技会場 矢板中央高等学校サッカーグラウンド

主 催 日本学生オリエンテーリング連盟

主 管 2013年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

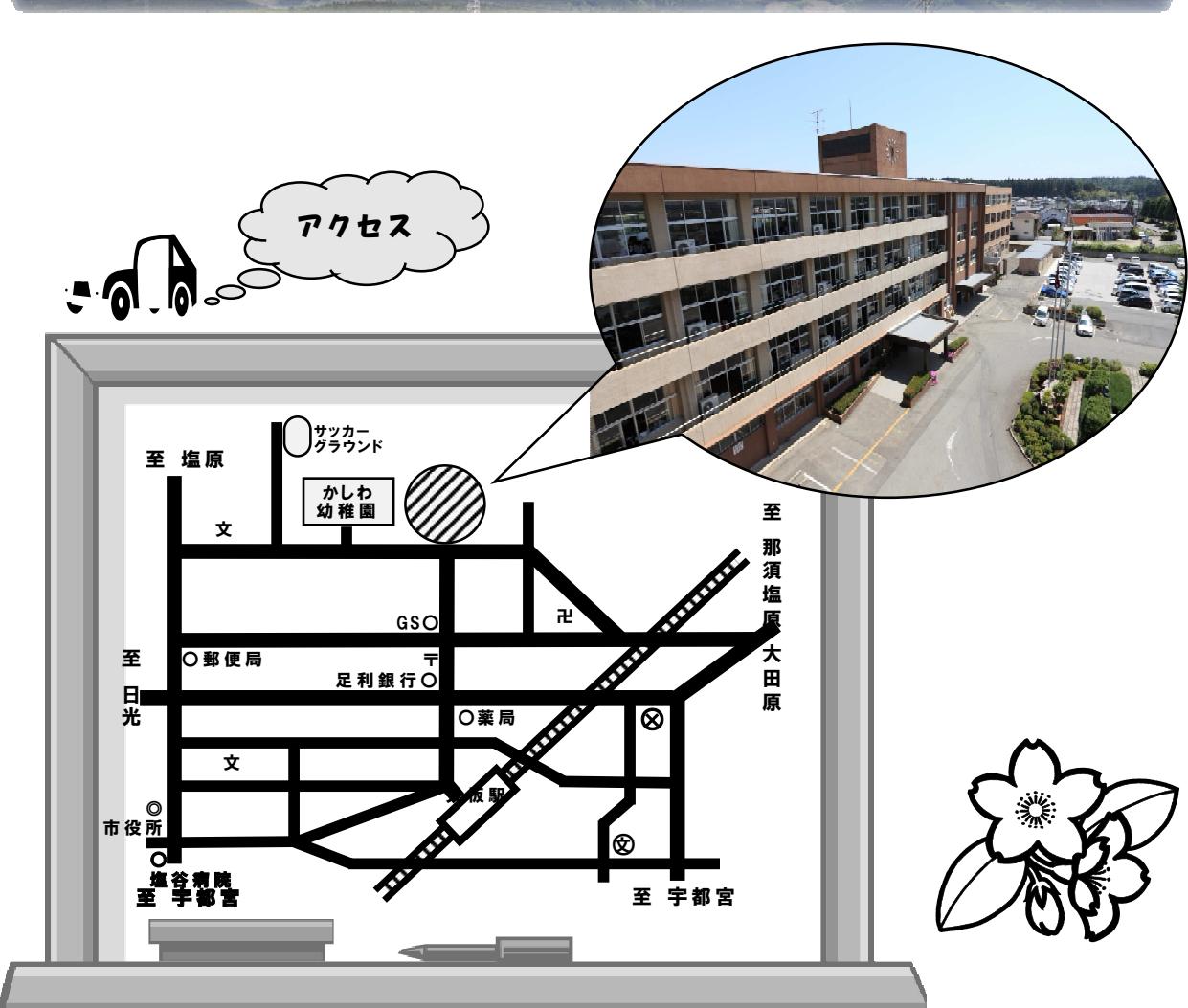
後 援 栃木県オリエンテーリング協会、
公益社団法人 日本オリエンテーリング協会、
矢板市、矢板市教育委員会、那須塩原市

協 賛 株式会社日本旅行



大会公式マスコット
「つつじん」

CATCH YOUR DREAMS. 夢をつかもう！！



 矢板中央高等学校

〒324-0403 栃木県矢板市扇町2丁目1519番地
TEL 0287-43-0447 FAX 0287-43-0899

目次

ご挨拶

Page 2 - 3

1

イベント・アドバイザー報告

Page 4 - 6

イベント・アドバイザー 海老 成直

2

将来への提言

Page 7 - 10

実行委員長 寺岡 倫子

3

ミドル・ディスタンス競技部門 入賞者コメント

Page 11 - 17

◆ 男子選手権----- 11

優勝	杉村 俊輔	(東北大学 3年)
準優勝	松下 瞳生	(京都大学 3年)
第3位	尾崎 弘和	(早稲田大学 3年)
第4位	宮西 優太郎	(東北大学 2年)
第5位	細川 知希	(名古屋大学 4年)
第6位	深田 恒	(東京大学 2年)

◆ 女子選手権----- 14

優勝	宮川 早穂	(立教大学 2年)
準優勝	高橋 美薔	(岩手大学 4年)
第3位	横山 理恵	(金沢大学 4年)
第4位	星 美沙	(相模女子大学 3年)
第5位	大河内 恵美	(横浜市立大学 4年)
第6位	松田 沙也加	(岩手大学 2年)

4

ミドル・ディスタンス競技部門 コース解説

Page 18 - 22

コース設定者 宮本 佳記

◆ 男子選手権----- 18

◆ 女子選手権----- 21

5

リレー競技部門 入賞校コメント

Page 23 - 30

◆ 男子選手権----- 23

優勝	東京大学
準優勝	名古屋大学
第3位	早稲田大学
第4位	京都大学
第5位	一橋大学
第6位	東京工業大学

◆ 女子選手権----- 26

優勝	お茶の水女子大学
準優勝	横浜市立大学
第3位	相模女子大学
第4位	金沢大学
第5位	新潟大学
第6位	東北大学
特別表彰	立教・東京医科歯科混成

6

リレー競技部門 コース解説

Page 31 - 37

コース設定者 小林 遼

◆ 男子選手権----- 32

◆ 女子選手権----- 35

7

全コントロール図、 ディスクリプション一覧

Page 38 - 40

8

ミドル選手権 A スタートリスト

Page 41

9

成績

Page 42 - 65

◆ ミドル・ディスタンス競技部門----- 42

◆ リレー競技部門----- 49

◆ 併設大会----- 62

10

大会役員

Page 66

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

ご挨拶

日本学生オリエンテーリング連盟会長 河合 利幸



風は真冬の冷たさを纏いつつも、思ったよりは強くはならず、春を予感させる日差しに恵まれた2日間。過去にあったように途中から天気が崩れても、避難する場所のない青空会場だっただけに実に幸運でした。その前の関東の記録的な雪の中、準備をしなければならなかつた実行委員の皆さんのが労が報われたのではないでしょうか。

レースの方は、そんな空気の冷たさを吹き飛ばすかのような熱戦でした。詳しい経過は他に譲りますが、本命が崩れたり、秒差で次々と記録が更新されたり。ミドルの結果からは危なげないと思われた大学がリレーでは入賞を逃したり、逆にミドルの雪辱を果したり。いつもながら観戦していて飽きないレースでした。レース直後の選手へのインタビューでは、思わずぐっとくるようなコメントも聞かれました。私も短いコースを走りましたが、やさしそうに見えてちょっと気を抜くとミスってしまう、そんなレッグが組み込まれていました。

常時見ていたわけではないですが、救護所の様子からすると、昨年度と違って怪我がかなり少なかったように思います。手入れされた走りやすい里山テレインだったからでしょうか。救急車のお世話になることも少なくない中、評価すべき点です。

今大会のもうひとつのポイント。閉会式でも触れたことですが、リレー女子選手権出走チーム数が、混成チームを除いても男子より多かったことです。記録をすべて調べたわけではないので間違っているかもしれませんのが、史上初ではないでしょうか。少なくともここ10年ほどは、男子のチーム数を上回ったことはありません(昨年度は同数)。各女子大に加えて、男子では上位の常連だが女子ではこれまでチームを組めていなかった東京や名古屋などが出られるようになったことが大きいようです。今回の参加者数は、800人には少し足りませんでしたが、昨年度より70人増えています。うち50人ほどは関東学連です。これまで関東は、他の地区に比べて大学数の割に増加数は多くありませんでした。女子チーム数の件も、関東の女子が増えたからという見方もできそうです。一方、地方では参加者数の伸びが鈍りつつあります。各学年の部員数がある程度に達すれば、それ以上の部員増は次第に難しくなります。さらに増やそ

うと思えば、クラブのある大学を増やすことになります。とはいえ、地方ではなかなかそれは難しいことです。新年度の新歓では、まずは確実に新人を確保していくようすべきでしょう。

比較的若い世代のOB/OGで運営された今回のインカレ。山川氏の後を継ぐプロの育成という目的もありました。全体として、よいインカレになったと思います。

最後になりましたが、多忙な日々の合間に縫って準備を進めていただいた実行委員会とその関係者の皆さん、ご苦労様でした。地元関係者の皆様には、いつものことながら様々な面でご支援ご協力をいただき、本当にありがとうございました。主催者の日本学連を代表して、改めて厚く御礼申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟幹事長
山本 淳史



今年も無事、春インカレが終わりました。今年の冬は全国的に大雪に見舞われて、山リハリレーの規模縮小を始め、トレーニングや調整など様々なところに影響が出たかと思います。そんな中、予報では当日も天気が崩れると言われつつも、ミドル・リレーの2日とも良く晴れたインカレ日和になったのは、皆さんの日頃の行いのおかげでしょう。

この前まで「1年生の皆さん」と言われていた皆さんにはもう2年生ですね。1年間オリエンテーリング界にコミットしてきて、最後に春インカレをやりきって、どうでしたか？楽しかったよね。でなければ今これを読んでいいでしょ。だったら是非、このインカレの最高の盛り上がりを、オリエンテーリングっていうのはめちゃくちゃ面白いものなのだということを、後輩に伝えてあげてください。数は力といいますが、やっぱり人数がないと盛り上がりません。まずは人数を増やして、大学として盛り上がって、それがインカレをより盛り上げて、そのインカレを原動力にオリエンテーリング界がより発展するのです。ここ数年で回り始めたこのサイクルを、どんどん加速させていきましょう。

ところで、ミドルとリレーはよく晴れて素晴らしい環境でしたが、後夜祭も今年は特に問題なく素晴らしい環境で出来ました。後夜祭であったり、全国同期会であったり、地区学連の対抗戦や交流会であったり、そういう広い範囲で友達ができて、競技で戦って酒を酌み交わして語り合うという場があるということは、他の団体にはない学生オリエンテーリング界の強みだと思います。こういった楽しみがあって、多くの人がオリエンテーリング界に残って、また楽しみが増えていく。ここにもまた良いサイクルがありそうです。競技を、インカレを、同期の輪を、学年や空間を超えたつながりを、この学生オリエンテーリング界の全てを楽しみ尽くしてください。

最後になりましたが、インカレを運営してくださった運営者の皆様、協力してくださった地元の皆様、その他インカレに協力してくださった全ての方々に、学生を代表して厚く御礼申し上げ、2013年度日本学生オリエンテーリング連盟幹事長、最後の挨拶といたします。ありがとうございました。

2013年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門
実行委員長 寺岡 倫子



イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

インカレが終わりました。今年度のミドル・リレーはいかがでしたでしょうか？天候にも恵まれ、花粉もそれほど飛んでおらずコンディションとしては良かったと感じています。色々と至らない点もあったと思いますが、今年もインカレを無事に成立させることができて私自身としては本当に安堵しております。

今年も数々のドラマが繰り広げられました。ミドル・リレーともに非常に熱い展開でしたし、オフィシャルレースでは顔見知りの人たちが頑張って走っていて、運営者としても非常に楽しませてもらいました。

1年生から3年生まで皆様は、今年のインカレで何を感じたのでしょうか？その思いを来年度へぶつけてください。今年が最後だった4年生の皆様は最後まで楽しんでもらえましたでしょうか？私が4年生だった時の1年生がもう卒業するとは、月日が経つのは本当に早いです。皆様にとって思い出に残る大会になったのであれば、実行委員長としてこれ以上に喜ばしいことはありません。

インカレ運営はハードルが高い、競技ができるない人には厳しいのでは、と思っている方もいるかもしれません。私自身学生時代は成績を全く残すことができませんでしたが、4年間お世話になったインカレへの恩返しと後輩へ何かしてあげたいという気持ちで運営しました。「何もできないかも…」と尻込みせず、機会があれば是非飛び込んでほしいです。

最後に、大会開催にあたって地図調査を始め様々な点で協力してくださった山川様、三上様、西村様、練習があるのにも関わらず快くグラウンドを貸してくださった矢板中央高校およびサッカー部の皆様、矢板地区の皆様、幾度となく宿泊させて頂いた自然休養村様および星ふる学校「熊の木」様、問い合わせの件で相談に乗ってくださった山本幹事長、そして最後までインカレに向けて一緒に頑張ってくれた実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。ご協力頂いた全ての方に感謝を申し上げ、2013年度実行委員長の挨拶とさせて頂きます。

1 イベント・アドバイザー報告

海老 成直（中央大学 2004 年入学）

インカレ実施規則第 35 条 2 節に従い、以下に報告致します。

1 はじめに

今回のインカレ実行委員会は、昨年度も日光での開催だったこともあり、去年に引き続いてのインカレ運営経験者が多くいたため、非常にスムーズな準備の計画・実施を行うことができました。これは、ミドル・リレー両日ともに調査依頼がゼロという結果にも現れています。また、従来の習慣的な事項についても規約から逸脱しない範囲で見直し、新しい試みも実施をしました。今後、大きな競技上・規約上の変更がない限りは、今大会の運営体制・内容については今後のモデルケースになるべきものであると思います。

また、イベント・アドバイザーに対する負担も少なかったという点についても今後も踏襲していくべきだ、様々な方がイベント・アドバイザーへの積極的な立候補もしていただければと思います。

2 活動報告

イベント・アドバイザーの実施するべき活動については以下のものが挙げられます。

・要項の内容を確認すること

インカレミドル・リレーについては、毎回要項 1～3 の発行をしています。

今回については、規約で定められている期限内での発行が実現しており、内容についても問題なかったと考えています。事前の要項読み合わせ等にも参加し、確認をしました。

・会場、テレインの適格性を確認すること

2013 年 6 月 22 日に行政図、旧地図を用いて、実行委員長・競技責任者と会場候補地の確認とテレインの適格性について確認しました。

会場は複数の候補があり、いずれの候補地についても大会の実施は可能だと判断しました。

・スケジュール全体（宿泊、食事、輸送、日程、費用、トレーニングの機会）を確認すること

各担当の ML でのやりとりで確認しました。選手村が一部遠方になったこと、会場付近及び会場の交通事情が最後まで憂慮されました。日本旅行様・各担当に非常によく調整していただきました。

・スタート、フィニッシュ、チェンジオーバーエリアのシステムとレイアウトを確認すること

・計時システムの信頼性と正確性を判断すること

会場レイアウトも十分なスペースが確保できることを確認して、最終チェックのみ実施しました。計時システムについても、概要は確認し、詳細は経験豊富な担当者へ任せました。不都合がある場合は必ず相談を受けるようにしました。特に問題なかったと思います。

・地図が規定に合致しているか確認すること

・地図の正確さ、作図・印刷の妥当性を確認すること

地図製作については、私が運営に参加した時には、既に YMOC へ全面委託することが決まっており、路線変更は難しい状況でした。最終的には実行委員会側の希望納期から約 1 ヶ月遅れで納

品されており、正確さ、作図、印刷については妥協をしましたが、インカレを実施するには最低限の水準は担保されていることは確認しました。

・コースの適格性（距離、競技時間、難易度、コントロール位置と設置状態、偶発性の排除など）を確認すること

・リレーにおいては、コースの分割方法と組み合わせが適切かどうか確認すること

・コントロール位置説明が適切かどうか確認すること

地図の納期の遅れはコースの精度に直接影響がでます。最終試走が遅れ、コンディションも地図も万全とはいかない状況でコースを確定しました。優勝想定タイムと優勝タイムの結果は下記のとおりです。

	ミドル		リレー		
	MEA	WEA	MER	WER	WER (S)
優勝設定タイム	35:00	35:00	50:00	45:00	35:00
優勝タイム	32:00	31:50	44:55	38:01	35:06

WER (S)を除き、概ね各コース約 10%程度、優勝設定タイムを破られています。

最終試走は最悪のコンディションで、インカレ当日は最高のコンディションでしたが、もう少しコースコントロールする余地があったと思います。申し訳ありませんでした。

コントロールの設置、設置状況についてはミドル・リレーともに前日に競技責任者、イベント・アドバイザー補佐と分担をし、全コントロールを確認しました。

リレーの分割方法、組み合わせは実行委員会で作成したもので適切だと判断しました。

また、コントロール位置説明については印刷後不備が見つかり、修正をしました。

これについては、時間との兼ね合いもありますが、手間と時間をかけてでも修正すべき事項だと判断し、実行委員会に指示しました。

・式典が適切かどうか判断すること

・競技への影響の可能性の観点から、報道関係者、観客等に対する処遇を確認すること

・運営組織、人事、会計及び競技運営全般を確認すること

式典については、MLでのやりとりを中心に確認をしました。

報道関係者・観客等に対する処遇ということですが、今回は会場内での携帯電話の使用を許可しました。ミドル選手権スタート以外において、携帯電話を使用することで競技への影響はないと判断しました。実行委員会として、きちんとリスクの洗い出しをしていましたので、当日も問題なかったと思います。

組織、運営全般については、非常にうまくいっていたと思います。

3 インカレスプリントについて

9月の日本学連幹事会に技術委員会委員長代理として出席した際に、インカレスプリントを開催するとのことが議題にあがり、今春インカレで実施される可能性が出てきました。今インカレ実行委員会への影響を最小限にするべく、インカレ実行委員会と当該大会との調整は私とイベント・アドバイザー補佐の高橋さんで対応することとし、主に私と日本学連副理事の山川氏と調整を行いました。

参加者である学生にとっては、スプリントもミドル・リレーもインカレであることは変わりあり

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

ません。この3種目をきちんと1つのイベントとして盛り上げる必要があると感じましたので、要項の作成や調整をしました。本来、このような件はイベント・アドバイザーの仕事ではないですが、インカレの成功には避けて通れない問題と思い、対応しました。

選手である学生のことを考えれば、実施の可否についての早い判断、学生への周知、要項作成と役員の確保、テレインとコースの質の確保等課題は山積みでした。

前述したとおり、ミドル・リレーの地図作成は遅っていましたが、スプリントの地図作成はミドル・リレーの地図作成後にしか容認できず、結果として地図の精度・コースの質、雰囲気、インカレと呼ぶには不十分であったと感じています。参加された学生の皆さんには申し訳ございませんでした。

日本のオリエンテーリング界の発展を考えれば、スプリントという種目をきちんとフォローしなければならないことには今後も変わらないと思いますので、より一層の議論とクオリティの確保が必要だと感じます。

4 最後に

イベント・アドバイザーの選出については、過去よりインカレ実施規則第34条2節「イベント・アドバイザーは、技術委員会の助言のもとに、技術委員会の委員の中から理事会が指名する。指名は、当該インカレの1年前までに行われる」が障害になっています。ここ数年は技術委員会の委員から指名をしている訳ではなく、イベント・アドバイザーを引き受けた後に、技術委員会の委員になり、理事会から指名をされている状況です。

イベント・アドバイザーを技術委員から選出しなければいけない理由はないと思いますので、規約の改正も視野に議論をしていただきたいと思います。

おめでとう 東工大OLT！



ME 6位入賞
一走 古林 琢
二走 塚越 航
三走 戸上 直哉
選手 選手 選手



現役選手の皆さん、入賞おめでとうございます。二年連続入賞に向けてこれからも頑張ってください。

つばめ会



2 将来への提言

実行委員長 寺岡 優子（獨協大学 2007 年入学）

はじめに

本稿では本大会を準備、実施していく中で得た所感をまとめ、実施規則 12 条に則り将来への提言とさせていただきます。次年度以降のインカレに少しでも生かして頂ければ幸いです。

1 アンケート対応について

今年度のインカレでは以下の 2 つについて、学生に対してアンケートを実施しました。

1.1 リレー 一般の部 1 走スタート時の整列順

一般リレー 1 走スタート時の整列順について、今年度は「各校 A チーム（一軍）のみ最前列」の方法をとりました。一軍を優先して整列したことにより、学校コードの小さい大学が有利になることがなくなり、例年よりも学校間の公平性を保つことができたのでは、と考えております。

しかし、全大学が 1 列に並べるのは不公平ではないかとの意見もあったため、次年度以降はまた別の方法を採用することを検討しても良いと思います。

1.2 インフォメーションデスクでの配布物

今年度は、例年ミドルの日の夜にインフォメーションデスクにて配布していたミドル選手権クラスのラップ表・選手権リレオーダー表を Web サイトへの公開のみとし、リレーコントロール位置説明一覧を表彰式後の代表者ミーティングでオフィシャルに配布する方法をとりました。これにより運営者の配布物印刷などの負担を軽減することができました。

また、上記の点および実行委員会の運営宿と選手村との距離等を鑑みて、インフォメーションデスクそのものを廃止し、インカレ当日の問い合わせは電話およびメールでの対応としました。しかし、e-card 変更の問い合わせ等、電話やメールではなく実際に対面で話した方がスムーズに対応できるものもあったため、インフォメーションデスクの有無はその年の選手村の位置や運営負担等を考慮して検討したほうが良いと思います。

2 ミドルの選手権 A クラス、選手権 B クラスについて

2009 年度から導入されたミドルの選手権 A クラス、選手権 B クラスについて、これまで各クラスのコースは最後の回しが異なるだけ等、ほぼ同一のコース設定でした。今年度は選手権 A クラスの特別感を出すため、また両クラスに出場する選手の実力差を考慮し、距離やレッグ数などが大きく異なるコース設定としました。

選手権 A、B 制度は、2008 年度までのインカレミドルで行われていた予選・決勝方式（1 日で 2 回レースを行う）の際にあった A-Final、B-Final の名残の制度であると思います。

しかし、各学連でセレクションレースを勝ち残り A エリートになったのにも関わらず、B エリートと変わりないコースを走ることになるなど、制度自体に疑問を感じる声も少なからず上がっています。

予選・決勝方式の廃止から 5 年が経過し、再度選手権 A、B 制度を見直す時期に差し掛かっているのではないかでしょうか。選手権 B クラスを無くす代わりに選手権 A クラスの枠を増やす等、対応策は様々だと思います。ぜひ次年度から検討してみてください。

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

3 前日不泊対応について

今年度も昨年度に引き続き、就職活動や学会等やむを得ない理由により宿泊ができない学生のための不泊対応を実施しました。

しかしこの制度は実行委員会にとって非常に負荷が高かったため、次年度は学生の意見を取りまとめて実施の要否について検討したほうが良いと思います。不泊申請への問い合わせ対応をしている中で感じた点を以下に挙げます。

3.1 負荷の原因

今年度は昨年度より大幅に多い55名からの申請があり、運営上の負荷となりました。対応の際にネックになったことは以下の3点です。

① 申請理由

前述した就職活動や学会、冠婚葬祭等、学生自身ではどうすることもできない「外部的要因」と、金銭的余裕がない等学生自身で調整がつくような「内部的要因」の2種類がありました。今年度は前者の「外部的要因」のみを受理するよう実行委員会内で決めましたが、この判断自体に手間がかかるため、負担となりました。

② 不泊のキャンセル

一度は不泊申請したもの、都合がついたため不泊のキャンセルをしたいという学生が何名かいました。インカレに出たいという熱い思いを汲んで受理しましたが、直前期の忙しい時期に集中したため、できる限り事前のスケジュール調整をしてほしいと感じました。

③ 申請方法・フォーマット

今年度の反省として、確認したい項目をフォーマットにしなかったため、学生によって申請内容が異なり、再度確認を取りなおす必要があるなど負担となりました。また、インカレ問い合わせ先のメールアドレスではなく、エントリー担当の宛先に申請をする学生も多かったため、管理が大変でした。

3.2 学生への提言

不泊対応は学生と日本旅行との間で調整を行うことから、実行委員会にとって非常に負荷が高いです。しかし、就職活動や学会等のやむを得ない理由で欠席する分の宿泊費を軽減させたいという心情も理解できます。そのため、是非学生内で不泊対応が必要かどうか、また今後も不泊対応を行う場合は、不泊申請の基準等を検討して頂きたいと思います。

3.3 実行委員会への提言

学生の事情を考慮した場合、不泊対応をした方が喜ばれることが多いと思いますが、その分負荷が高いです。不泊対応を行うにあたっては、あらかじめ詳細（申請ルート、締め切り、申請フォーマット、担当者等）をきちんと決めておくことが非常に大事です。次年度以降も実施する場合は上記の点をよく検討することを強くお奨めします。

4 学生の併設大会への参加

今年度の問い合わせ内容の中に、学生ではあるが併設大会へ参加したい、というものが何件かありました。申請理由としては以下がありました。

- ① 学連登録ができず、インカレに参加できない為
- ② インカレ参加費が高い為
- ③ エントリー時期が短く、インカレに参加できるか判断できなかった為

①については、学連登録の規約や時期等の制約があるため、やむを得ないと判断して許可いたしました。しかし②、③については個人的な理由かつ自身の調整で対応できうるものとし却下いたしました。

②については例年、学連幹事会等での議題として挙げられます。2013年度の第3回幹事会でも話があがつたため、議事録の参照を推奨します。

http://www.orienteering.com/~uofj/media/conference/20140209-2013_3rd_report.pdf

③については、エントリー締め切り後の運営準備の都合上、現在の時期より後ろ倒しにすることが非常に厳しいです。

クラブ内でエントリーに関して悩んでいる学生がいた場合、是非上級生が積極的に相談に乗ってあげてください。

今年度の所感を記載致しましたが、現状、学生の併設大会への参加については規約上制限されていません。そのため、今年度も日本学連幹事長に相談し対応を慎重に進めました。上記のような問い合わせがあった以上、今後は規約等の改正も視野に入れ、日本学連として何らかの対応を検討して頂きたいと考えています。

5 宿泊場所への問い合わせについて

今年度はミドル・リレー当日朝の朝食時間からバスの出発時間までの間が30分と例年より短く設定されました。これはバス輸送時間と競技時間を考慮し、日本旅行および実行委員会で検討した結果です。

しかし、この朝食時間について宿に直接問い合わせをした大学がありました。さらに問い合わせの内容について、宿の方から日本旅行担当者の方へ相談がありました。今回の宿の方が温和だったため、大きな事態にはなりませんでしたが、もし問い合わせを受けた宿舎とトラブルが生じ、当日の宿泊ができない事態となつたらどうなつたでしょうか？実際に過去の矢板インカレでは、宿泊先とのトラブルが問題となり開催が危ぶまれたことがあります。

宿泊のスケジュールや内容について疑問を感じた場合は、宿に直接連絡するのではなく、必ず実行委員会に問い合わせをお願いします。大会は地元の方々の理解のもとに成り立っていることをくれぐれも忘れないようにして頂きたいです。

6 リレー選手権特例措置について

今年度も学連登録の人数が少ない大学を対象として、他大学とチームを組んでリレーの選手権クラスに出場できる特例措置を設けました。ただし今年度は、特例チームを結成するにあたって、各校のインカレへのエントリー人数が2名以下であることを条件としました。

次年度以降もできるだけ多くの大学がリレー選手権クラスに出場できるよう、こうした特例措置を続けて頂きたいと思いますが、大学間での不公平感が出ないよう、エントリー人数による条件を設けることは必要であると感じています。

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

7 エントリーの氏名の誤字について

プログラム発表後、自身の名前が異なるという問い合わせが何件かありました。インカレのエントリーサイトは学連登録と連動しているため、学連登録の氏名が誤っていると、インカレへのエントリー氏名も誤った形で登録されてしまうことが原因です。

学連登録の氏名が正しいかどうか、大学・クラブごとで確認し、エントリーを行っていただくと運営の負担が軽減され、非常に助かります。

おわりに

閉会式でも言いましたが、卒業された方々には積極的にインカレ運営に興味を持って頂きたいです。今年度も昨年度に引き続き、ほぼ何事もなくインカレを開催することができました。それは、運営に集まったメンバーがそれぞれ「インカレを成功させる」という熱い思いを持ち、準備を重ねた結果だと思います。

自分たちが4年間味わった感動や悔しさ、それを生み出す舞台を是非後輩たちのために作っていってください。

インカレ運営は責任者クラスになると大変ではありますが、その分やりがいや達成感は何事にも代えがたいです。また、責任者クラスではなくとも、スタート・フィニッシュ・救護・会場・受付・演出・宿泊対応等、パート員としても活躍できる場所も数多くあります。私は昨年度・今年度と運営しましたが非常に楽しかったです。インカレへの恩返しという意味でも是非ご検討下さい。



3 ミドル・ディスタンス競技部門 入賞者コメント

男子選手権

優勝 杉村 俊輔（東北大學 3 年）

日光インカレが終わってからのこの 1 年間は本当にあつという間でした。

日光インカレで入賞してからインカレロングまでは自分でも驚くぐらい順調でした。東大大会のロングセレ、JWOC、北東インカレ、インカレロングと自分の納得のいく走りができて、良い結果を残すことができました。

しかし、10 月以降は膝の怪我に苦しました。思うように走り込めず、状態はどんどん悪化し、1 月は全く走ることができませんでした。思い返してみると、全日本ミドルや全日本リレーで優勝したことの嬉しさよりも怪我の辛さの方が大きいです。2 月になってようやく復帰できましたが、インカレの 1 週間前に膝の今までとは別の箇所を痛めてしまいました。歩いても痛みが出るし、走ると激痛が走ることもありました。出場するかどうか迷いましたが、インカレに出たいという思いが強く、ミドル前日に出場に踏み切りました。

レース前もレース中も怪我の不安は消えませんでした。でも、どんなに膝が痛くても、どんなにひどいレースをしても良いから、絶対に勝ってやると思っていました。下り坂や斜面ではいつもよりスピードが出ませんでしたし、最後の最後には競り合っていた選手に離されてしまいました。会心のレースが出来たとは思っていません。

それでも今回優勝することができました。優勝が決まったときの胸上げは格別でした。また、多くの皆様から祝福をしていただき、嬉しさと同時に自分が支えられていることを改めて実感しました。

個人戦での優勝は 1 年生の時からの夢でした。その夢を叶えることができて、そして過去にインカレで優勝された憧れの先輩方に一步近づくことができて素直に嬉しいです。優勝カップは部室に飾ってあります。この優勝カップを後輩たちが見て、自分もオリエンテーリングを頑張ろうというモチベーションにつながってくれればいいなと思っています。

残すインカレも 2 回になりました。まだロング

トリレーで優勝していないので、来年度はロング・ミドル・リレーの 3 冠を目指し取り組んでいきます。まずはしっかり怪我を治します。そしてインカレでは更に強くなった自分をお見せします。

最後になりましたが、インカレを運営して下さった皆様、オフィシャルの皆様、そして応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66



イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

準優勝 松下 瞳生（京都大学 3年）

1分差で入賞を逃した日光インカレから1年。過去3年で1番勝ちにこだわってきた。

しかし、秋口に過去最大のスランプに陥った。結果を残したいと思えば思うほど空回りし大ミスばかりしていた。そしてインカレロングも15位という屈辱の結果。完全に自信を喪失、同時にオリエンテーリング自体をあまり楽しめなくなっていた。

それでもインカレで入賞したかった。だからどれだけ結果が悪くてもトレーニングだけは怠らなかった。気持ちを切り替え一つ一つのレースに全力で挑んだ。7人リレー、2秒差で入賞落ち。ミドルセレ、15位、セレ落ち。年末の怪我。それでも何があってもロング後のように落ち込むことはなかった。ただ一つの目標「ノンシードからの優勝」を目指して。

本番前、不思議と全く緊張しなかった。トレーニング量には自信があった。レース中ミスもあつたが気にせず全力で走り切った。

結果は準優勝。悲願の初入賞の喜びとあと一步で優勝できなかっただ悔しさが混ざって複雑な気持ちだった。それでも何よりも嬉しかったのはクラブの仲間・OBをはじめ様々な人に祝福の言葉をかけていただいたこと。この嬉しさと優勝できなかっただ悔しさを胸に来年も頑張ります。

応援してくださった京大・京女OLCの皆さん、支えてくださったオフィシャルや駆けつけてくださったOBの皆さん、またインカレを運営してくださったスタッフの皆さんありがとうございました。

最後に、共にライバルとして戦ってきた細川さん、ありがとうございました。

第3位 尾崎 弘和（早稲田大学 3年）

今回のインカレは、3位でした。まず、今回のインカレを主催してくださったインカレ実行委員会の皆さん、私を応援してくださった早大OCの方々、OB、OGさんや、一緒に切磋琢磨してきた全国のライバルにお礼を申し上げたいです。ありがとうございました。

秋に続いてインカレミドル、リレーの目標は優勝でした。ミドルは、レース前から非常にリラックスした状態でした。しかし、レースは予想以上

に苦戦しました。冬の間やってきた課題と異なり、細かい技術が要求されました。何とか対応したものの、私の力はインカレで優勝するものではなかったです。その差が今回の40秒だったのだと思います。優勝した杉村、2位の松下は私の同期です。これからも彼らと一緒にインカレを戦い、より楽しいレースができるように皆で努力できればと思います。来年度のインカレは私にとって最後の年です。悔いのない走りができるようにこれから一年トレーニングを積んでいきたいです。

第4位 宮西 優太郎（東北大 2年）

富士のインカレロングでは十分な準備ができず、不甲斐ない結果となり悔しい思いをしました。その後一ヶ月ほどは順調にトレーニングを継続できました。しかしテスト期間などで走れない日が続きいつからかインカレに対して気持ちを向けられなくなっていました。春休みに入ってしまふにだらだらとしたまま時間だけが過ぎ、次第にインカレで入賞することは諦めていました。

当日はできるだけのことはして自分のレースに徹しようと考えていました。前半はミスがありつつも落ち着いてこなし、後半で2分前に出走の関さんが見えてからは全力で走りました。スペクター区間では東北大の応援のおかげで最後の力を振り絞ることができました。特に僕の名前を叫んでいるのが聞こえてとても嬉しかったです。

結果的に昨年より良い4位で入賞することができましたが、インカレに対する準備は今回も思うように進みませんでした。次回こそは、より計画的に走りこんで優勝を狙います。

最後になってしましましたが、運営の皆様や応援してくださった方々にお礼申しあげます。そして、インカレという舞台にふさわしい取り組みができず申し訳ありませんでした。

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

第5位 細川 知希（名古屋大学 4年）

今までの過去7回のインカレとはまったく別のインカレが最後の最後に待っていました。悔しさは正直、残ってしまいましたが、その悔しさを上回るやり切ったという清々しい想いで最後のインカレを終えることができました。やってもやつても勝てず、ずっと負け続けてきて、泣いて挫けそうになんて踏ん張って、気持ちを切らさず努力だけはし続けてきました。そして迎えた最後のミドルで自分のレースができたという事実を残せて良かったです。やってきたことを出し切れました。目標の優勝には及びませんでしたが、結果として5位入賞を掴み取ることができました。初めての入賞はおろか初めてのインカレ個人メダル。1から4年間かけて積み重ねてきて得た実力で勝ち取りました。努力が報われて素直に嬉しいです。

最後になりましたが、大学を問わず、いつも気にかけて声かけてくださったOBOGの方々、一緒に切磋琢磨してきた松下と全国のライバルたち、名帽のみんな、本当にありがとうございました。

第6位 深田 恒（東京大学 2年）

今回のインカレミドルで入賞できたことは素直に嬉しく思っています。初のインカレ入賞を果したインカレロングなど、秋ごろの好調によりシード選手に選んでいただきました。しかし、年明

け頃からなかなか思うようにオリエンテーリングが伸びない、また、天候不良によりオリエンテーリングをできないことが続きました。そのような中でも、東大OLKのOB・OGの方々、先輩や同期、後輩といった様々なサポートの中で、気持ちを切らすことなくインカレに挑むことができました。このような素晴らしい環境で競技をすることができるに感謝の念が絶えません。

今回のレースは、スピードが上がり、見通しのきかない我慢のレースでした。そのようなレースをしてきてからのスペクテーターズコントロール～フィニッシュでは、ラストスタートで入賞圏内争いをしていたこともあり、仲間から悲鳴のような大声援をもらい、おかげで7位と8秒差で入賞することができました。本当に応援ありがとうございました。

今年のインカレミドル・リレーは、個人としても東大としても、昨年のリベンジマッチでした。個人としては、両日ともに悔しい思いをした昨年をはるかに上回る成績を得ることができ、また、何より嬉しいのは、東大としても昨年奪われてしまった団体戦優勝というタイトルを奪還することができました。

最後になりましたが、このような素晴らしい舞台を用意していただいたインカレ実行委員会の皆さんに感謝をしたいと思います。



イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

女子選手権

優勝 宮川 早穂（立教大学 2年）

矢板インカレで、ミドル選手権優勝カップを持ち帰ることができました。この結果は、いつも一緒にオリエンテーリングをして時間を共に過ごしたOLKのメンバー、私のことを見守ってくださった大学の先輩・後輩、小さい時から育ててくださったES関東Cの方々、オリエンテーリングの熱さを教えてくれたトータスの方々、怪我をした時に多くのアドバイスをしていただいた京葉の宮本さん、ほかたくさんの方々のオリエンティアの皆さまのおかげです。本当に、ありがとうございました。そして、叶わなかったインカレ個人戦優勝という両親の夢を叶えることができました。（メダル数では敵いませんが。笑）いつも応援してくれて、本当に感謝しています。

この春インカレは、お茶の水女子大学の稻毛選手と岩手大学の高橋選手との戦いになると思っていました。この2人とは、2度のJWOCと一緒に経験しています。2人の強さは私が一番よく知っているといつても過言ではありません。稻毛さんのWOCミドル決勝進出を、一番近くで見ていました。そんな2人や、同期の守屋選手（相模）、松田選手（岩手）と戦うために、スタート前自信を持ってスタート枠に入れるよう準備をして臨みました。

レースは、程よい緊張状態でスタートしました。特に意識したつもりはなかったのですが、ルートは守りのレースをしていました。秋のロングで攻めに攻めすぎてコントロールスルーをしてペナだったので、着実な走りは心がけていました。微地形ではアタックポイントをしっかり決めてこなすことができました。10番コントロールのアタックで少しミスがありましたが、絶対に最後まで諦めないと自分に言い聞かせ、最後はボロボロになるまで走りました。ゴール後、インタビューで優勝という言葉を聞いた瞬間、本当に信じられませんでしたが、自分を信じて走ることで優勝を掴み取ることができたのかなと思います。

最後になりましたが、このような素晴らしい舞台を用意していただいたインカレミドルリレー実行委員会の皆様、ありがとうございました。これからももっともっとオリエンテーリングが速くなるよう精進して参りますので、どうかよろしくお願いいたします。



イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

準優勝 高橋 美誉（岩手大学 4 年）

4 年間ありがとうございました

先日、私にとっては最後となるインカレミドル・リレーが終わりました。大会直前はどんな心境で臨んでいいのかわからず、優勝してお世話になった人に恩返ししたい気持ちや、優勝できなかつたらどうしようという不安、変にプレッシャーをかけずに楽しもうという気持ちなど、様々な気持ちが渦巻いていました。ミドルでは、特に緊張することなく集中してできましたが、結果はこれまで励ましあい、競い合ってきた早穂と 20 秒差で負け、準優勝でした。何と言ったらいいか、やっぱり自分はここぞという場面で決めることができないのかとしみじみ思い、逆に早穂は本当に一生懸命努力して優勝を勝ち取ったのだなと感じました。準優勝で一番悔しかったのは、負けたという事実よりも、これまで応援しててくれた人たちに優勝という報告ができずに終わることの方が残念でした。みんなにどんな顔でなんて言おう、と思ったことが強く印象に残っています。しかし、残念なことだけではありませんでした。ビジュアルを通った時とゴール直前に聞こえてきた声援の大きさに、改めて自分は多くの人に支えられてきたのだなと感じ、何とも言い表すことのできない嬉しい気持ちになり、その大きな声援を聞いただけで、4 年間やってきて良かったと強く感じました。結果は、私の臨むものではありませんでしたが、今までお世話になった方々には本当に感謝しています。最後の最後まで、何が起こるかわからない楽しいインカレでした。4 年間たくさんの方々のおかげでおもいきり楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。最後に、後輩のみなさん、心から応援しています。

第 3 位 横山 理恵（金沢大学 4 年）

今年は私にとって最後の年であったため、「どんとこい、任せとけ。と言える 3 走になる」という言葉を年度当初から自分の中のスローガンにしてトレーニングを続けてきましたほど、リレーのことばかり考えていて、個人戦に関してはさほど思い入れがありませんでした。A 選手権に決まった後も、「わがままだけど、個人戦はただその舞台を楽しみたい」とずっと思っていました。

迎えたインカレ、私は巡回が遅くミス率の低い

タイプでよくパックの標的になるので前の方のスタートが苦手なのですが、スタート抽選で最初に名前が出ました。嫌だなと思いましたが、後ろ 3 人が走り屋? タイプになって「足の遅い私をパックしないだろ」と思え、逆に気持ちが楽になりました。また、当日のスタート待機所では、同じ A ワリートでチームメイトの五味が、「自分の枠は自分で取ります!」と心強いことを言ってくれたおかげで、自分が枠を取らなければという強迫観念も一切無くなり、「多分リレーは死ぬ気でもがくことになつて矢板を満喫する余裕も無い。最後の個人戦、選手権という最高の舞台・コースを最高の状態で走れるのだから、今日だけは自分のために走ろう」という思いがさらに強くなりました。また、月 200km 前後の走り込み、8kg の減量、遠征・合宿・平日トレなど部の行事への積極的な参加など、これまで 4 年間自分が続けてきた・やり遂げてきたたくさんの事を考えれば、自分に強く自信を植えつけられる持ち駒はいくらでもありました。

そのおかげかレースはほどよい緊張状態で、かつ堂々とした気持ちでスタートできました（昔の私を知る人からすれば信じられないほどの落ち着きようだったでしょう）。序盤は、楽しいぞと思いつながら走っていましたが、途中から枠や後ろの選手たちのことがやはり気になってきてしまい、1 か所で 1 分ほど大きくミスし、その他でも細かくミスを重ねてしまい、いらつきを我慢しながらのレースとなってしまいました。

そのためゴール後には、感じていたよりタイムが良いことに驚きました。そしてその後あれよあれよという間に入賞が決まる、レース自体にはあまり満足が行きませんでしたが、自身とレースを分析して「課題だった巡回が飛躍的に上がったことが勝因だなあ、自分がこれまでやってきたことに間違いは無かったんだ!」と翌日のリレーに向けて大きな自信をつけることができて、素直に嬉しかったです。

リレーばかり見ていて、個人戦に関してはコース予想なども十分にせずに臨んだ本番でしたが、入賞という結果はこれまで 4 年間ひたすらに頑張り続けてきたご褒美のようなものだと思います。4 年間支えてくれた・関わった全ての皆さん、本当に、ありがとうございました。

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

第4位 星 美沙（桜山女学園大学 3年）

インカレという大きな大会で4位に入賞することができ、今やっとこの結果を実感し、嬉しく思っています。当日は目標以上の結果に実感が持てず、心から喜ぶまでに至りませんでした。レース自体も特別上手くいったと感じることもなく、いつも通りミスの多い自分らしいレースだったなあと思います。今回のレースは難易度の高いレッグに不安になることが多く、スピードが落ちてしまったり、ビジュアル後に焦ってミスをしたりと技術力、精神力ともに実力不足を感じるものでした。それでもこの結果を得ることができたのは、やはり皆さんの応援のおかげです。ラップを見ると最後のレッグで5位から4位になっていたことが分かりました。ゴールまでずっと応援してくれて、一緒に走ってくれた名前の方々がいなければこの結果は出せていなかっただと思います。ありがとうございました。今回の結果を一度きりのものにしないよう、次のインカレに向けて努力を続けていきます。

最後に、このような素晴らしい大会を準備してくださった運営者の方々に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

第5位 大河内 恵美（横浜市立大学 4年）

選手権Aを走る先輩に憧れたあの日から3年。本番2週間前に股関節周りの筋肉を痛め、ジョグすらできず歩くのがやっとという状態で現役最後のインカレミドルを迎えるました。翌日はリレーのため出走するかすら迷っていたのですが、オフィシャルさんとリレーメンバーに背中を押され、走り出すことができました。不思議とレース中はほとんど痛みを感じず、今年もまたインカレを走れる喜びを噛みしめていました。怪我を抱えながらの入賞も素直に嬉しいですが、「先輩みたいになれるよう頑張ります」という言葉を後輩からもらつた時、ああ、私が先輩から受け取ったバトンが次の代へと確実に繋がったのだと感じ、何よりも嬉しかったです。今まで参加した中で1番楽しいインカレとなりました。

最後になりましたが、最高の舞台を用意してくださった運営者の方々、共に過ごしインカレでも声が枯れるまで応援してくれたKOLCの仲間たち、この1年しっかりと支えてくださったオフィシャルさんや丘の上のみなさま、応援してくださ

った全ての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

第6位 松田 沙也加（岩手大学 2年）

今年の春インカレでは、思い出せばきりがないくらいに沢山のことを感じ、楽しいことも嬉しいことも悔しいことも経験しました。振り返ると、本当に充実した2日間だったなと思います。

ミドルでは小さなミスが何回かありましたが、後半は尾根走りが気持ちよく、爽快感のあるレースを楽しむことが出来ました。もともとレース中に競技者に合うと動搖してミスしてしまう傾向がありました。今回のミドルでは落ち着いて対処し自分のレースが出来たと思います。自分の6位入賞の確定報告を聞いたときは、嬉しい反面、自分でも驚くほど冷静だったなと思います。1月に行われたJC大会では不甲斐ないレースをしてしまい、その後に技術面や精神面での修正をしたくてもなかなか天候に恵まれず、ミドルプログラムのWE出場者リストを眺めてはやたらと緊張し、今思えば、このインカレミドルという大舞台で一つ結果を残せたことで、自分を安心させていたのかもしれません。2日目に控えていたリレーで、気持ちの面で余裕を持ってスタートすることができたのは、この入賞の影響が大きかったと思います。入賞が決まってからは、たくさんの方々がおめでとうと声をかけてくださいました。今まで共に練習をしてきた仲間がまるで自分のことのように喜んでくれたり、目に涙を浮かべ喜んでくださる先輩がいたり、結果を実感するとともに改めて自分は周囲に恵まれているなど感じました。

2日目のリレーは本当に悔しい結果となってしまいました。インカレが終わりだいぶ日はたちましたが、あの時のつらくて悔しい気持ちはこの先忘れる事はないと思います。4年生の先輩は卒業しましたが、また来年がある私たちはこの気持ちをうまくモチベーションにつなげていかなければいけないなと思います。

最後に、今年の春インカレでは最高も最悪も味わいましたが、素晴らしい先輩や同期、やる気のある後輩たちから沢山の刺激を受け、真剣にオリエンテリングに向き合うことが出来ました。大会開催に尽力してくださった方々や当日の運営に携わって下さった関係者の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66



4 ミドル・ディスタンス競技部門 コース解説

ミドル・ディスタンス競技部門 コース設定者 宮本 佳記（京都大学 2007 年入学）

1 はじめに

今回のインカレミドル選手権 A のコースをセッティングする上で、以下の三点を心がけました。

- ① 正確なナビゲーションのための高い集中力を最後まで必要とする
- ② なるべく多彩な課題を盛り込む
- ③ 会場での応援が盛り上がるようとする

今回のテレインは矢板地区で典型的な大きい地形と見通しの良い林の範囲に加えて、微地形かつ見通しの悪い場所をところどころに含んでいるため、それを活かしたコースにすることで①②は達成できたと考えています。また、そうすると MEB・WEB としては難易度が高くなりすぎると感じたため、それらのクラスは山の中でショートカットや回しの変更を行いました。

会場として矢板中央高校サッカーグラウンドを使用させていただけたため、③も簡単に達成できました。このコントロールは選手権 A のみで使用することとし、これと山の中でのコース回しをあわせ、選手権 A と選手権 B に明確な差を設けることにしました。選手権 A は学生チャンピオンを決めるレースであり、特別扱いされて然るべきだという考え方から、今年はこのようにさせていただきました。

2 男子選手権 解説

S→1

スタート直後、直進したい衝動に駆られるが、藪が行く手を阻む。その後も尾根・沢を切る際に適当に進むとコントロールのある平らな沢の中で位置を見失う可能性が高い。リズムをつかむため、ここは慎重にいきたいところ。最速の細川選手（名古屋 4）は鞍部・尾根・沢の上部を使ったムダのないルートをとっている。

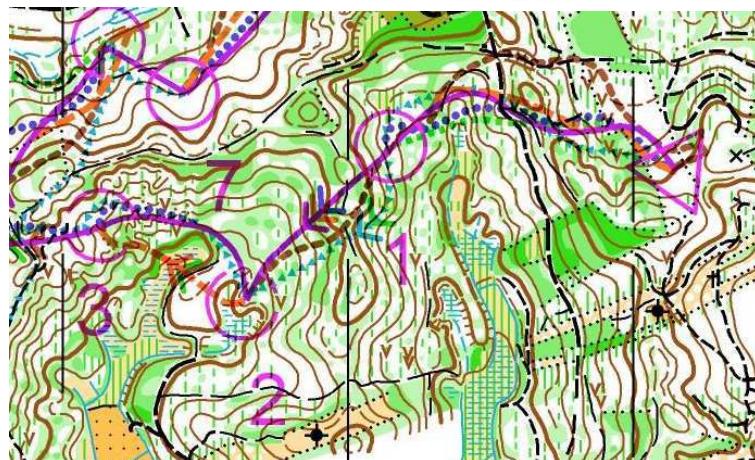
1→2

尾根切りのレッグ。下る際に方向を確認し、一つ北の尾根にパラレルしないことが肝心。上位選手は皆、無難にこなしている。最速は渡仲選手（名古屋 4）。

2→3

このコースの中で唯一、登りのアタックが課題。藪・微地形の中、尾根筋を正しく読んアタックするレッグ。最速の松下選手（京都 3）は藪と湿地を物ともせずに直進し、特徴的に張り出した尾根を効果的に使ってアタックしている。

	優勝 杉村俊輔(東北3)	32:00
	準優勝 松下睦生(京都3)	32:34
	3位 尾崎弘和(早稲田3)	32:37
	4位 宮西優太郎(東北2)	33:16
	5位 細川知希(名古屋4)	33:19
	6位 深田恒(東京2)	33:47



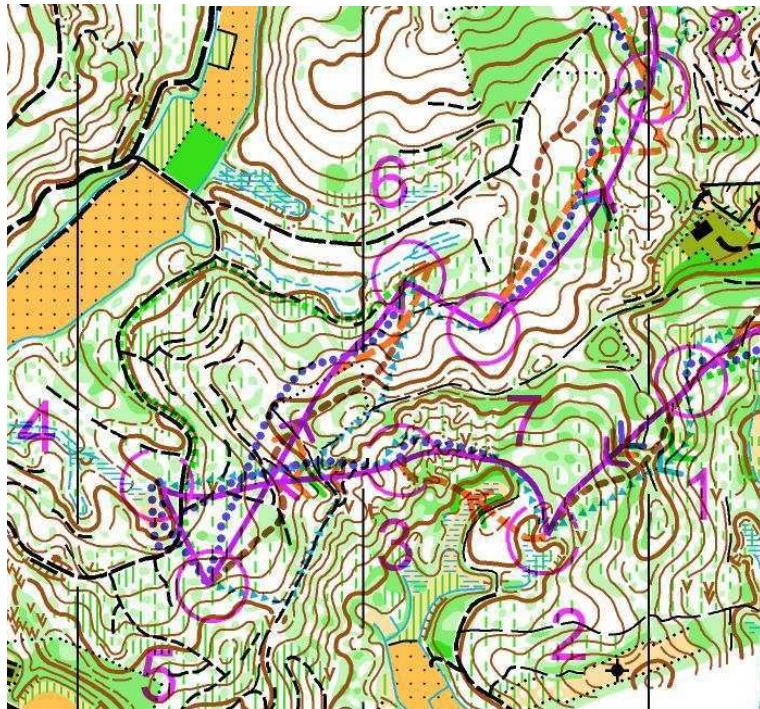
→→ 優勝 杉村俊輔(東北3)	32:00
→→ 準優勝 松下睦生(京都3)	32:34
→→ 3位 尾崎弘和(早稲田3)	32:37
→→ 4位 宮西優太郎(東北2)	33:16
→→ 5位 細川知希(名古屋4)	33:19
→→ 6位 深田恒(東京2)	33:47

3→4→5

3までとはうってかわって、スピードの出るレッグ。見通しが良いので、方向を確かめつつ遠くを見ていれば問題なく行ける。最速は3→4 松下選手、4→5 堀江選手(名古屋4)。

5→6→7

北側の道を大きく回るか、直進気味に尾根を越えていくか、南の尾根上の道まで出るかのルートチョイス。入賞者は直進した人が多いが、尾根上の道を走った宮西選手(東北2)がトップラップを出している。アタックはポストが傾斜変換にあることを読めていればそれほど難しくない。6→7はつなぎ。トップラップは杉村選手(東北3)と山本選手(新潟3)。



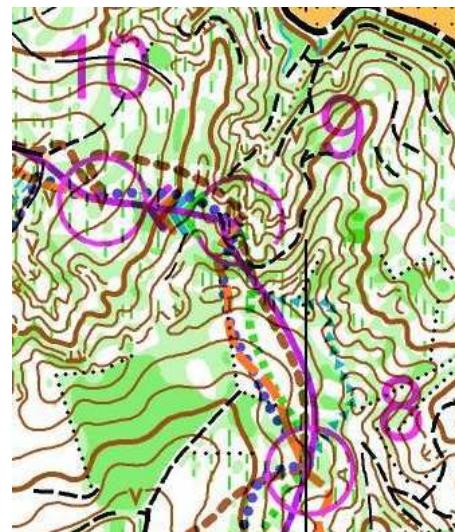
7→8

緩斜面を直進するレッグ。スピードを落とさないためには、藪の切れ目や小さい尾根といった特徴物をきちんと設定できたかどうかが重要だ。コントロール南の尾根が張り出していて比較的わかりやすい。トップラップは尾崎選手(早稲田3)。

8→9 (第1中間ラジコン)

微地形地帯の沢にアタックするレッグ。8までとは違い、かなり慎重なアタックが求められる。9のある大きな沢の手前の鞍部やピークが目印だが、似たような鞍部やピークが前後に存在する。最速は直進し、鞍部からアタックするルートだが、そこまで自信を持って行けるかどうかでタイムが大きく変わってくる。

入賞者の中でも杉村選手、宮西選手はここでそれぞれ40秒、80秒といった大きいミスをして、一旦順位を5位、11位に落としている。深田選手(東京2)はここで18位から8位へと、一気に順位を上げている。その一方で、ここまで入賞圏内の争いをしていた真保選手(東京4)、福井選手(大阪4)は一気に後退し、苦しい立場に立たされることになる。トップラップは堀江選手。



9→10

見通しの悪い緩斜面の穴にアタックするレッグ。9同様に慎重なアタックが求められる。尾根上でしっかり位置を確認してからアタックすることが必要だ。ここでもトップラップは堀江選手。

イベント・アドバイザー報告
P.4-6

将来への提言
P.7-10

ミドル入賞者コメント
P.11-17

ミドルコース解説
P.18-22

リレー入賞校コメント
P.23-30

リレーコース解説
P.31-37

成績・各種資料
P.38-66

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

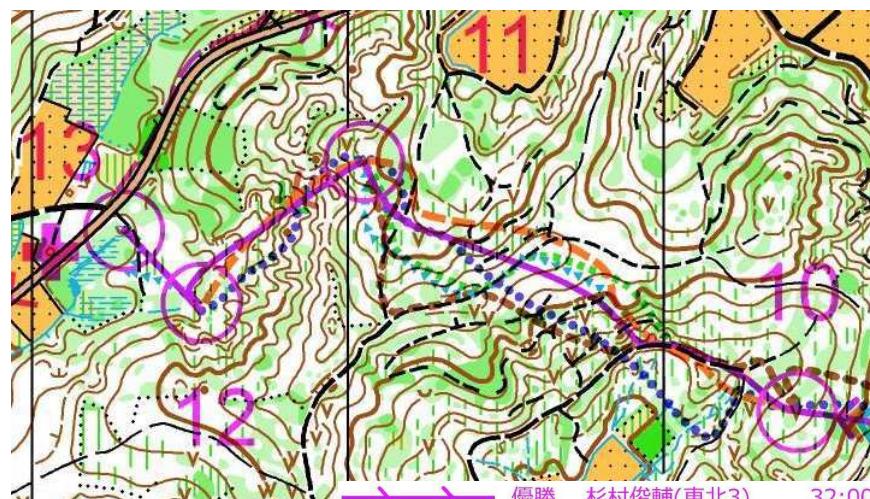
リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

10→11

10と11の間にある尾根をどのように越えるかという、ルートチョイスの課題。入賞者はほぼ直線的ルートをとり、レッグ線上の急斜面で尾根を登っている。プランナーとしてはその手前の緩斜面を走った方がスピードが出せるという考えだったが。トップラップは真保選手。



優勝	杉村俊輔(東北3)	32:00
準優勝	松下睦生(京都3)	32:34
3位	尾崎弘和(早稲田3)	32:37
4位	宮西優太郎(東北2)	33:16
5位	細川知希(名古屋4)	33:19
6位	深田恒(東京2)	33:47

11→12→13（第2中間ラジコン）

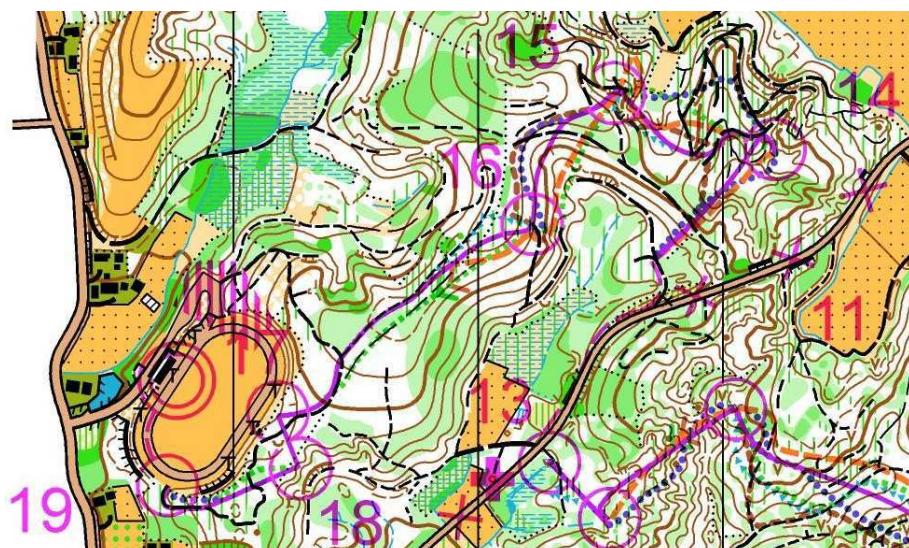
12の周囲は一見するとごちゃごちゃしているが、コントロール南側斜面がわかりやすいストッパーとなるため、そこを読み切ることができればスピードが出せる。トップラップは松下選手。

13→14→15

ここからレースも終盤に突入する。終盤になっても登りで走る体力と精神力があるか、というのも一つの課題と考え、ここであえて登りの多い区間を設けた。

14はピークを越える際に右手の尾根に流されないことだけ

注意していれば良い。15は崖の上のコントロール。直進した場合は右手前の崖に騙されやすく、しかもアタックでかなり急な斜面を登る必要があり、スピードが殺される。プランナーとしては宮西選手のように南側の尾根を登ってアタックする方が早いと想定していた。しかし直進ルートでもほぼ同タイムが出ている。

**15→16→17**

ゆるい沢を横切るルートチョイス、アタックの高さ感覚を問うレッグ。プランナーの想定ベストは杉村選手のルート。

17→18→19→F

方向を確かめて沢に落ちるだけだが、ビジュアルの直後に平静を保ってアタックするのはかなりメンタルの強さを必要とする。隣の沢に落ちて少しロスした選手も多かったことだろう。ここで尾崎選手が10秒のミス、2位の座を明け渡すことになってしまった。

5 女子選手権 解説

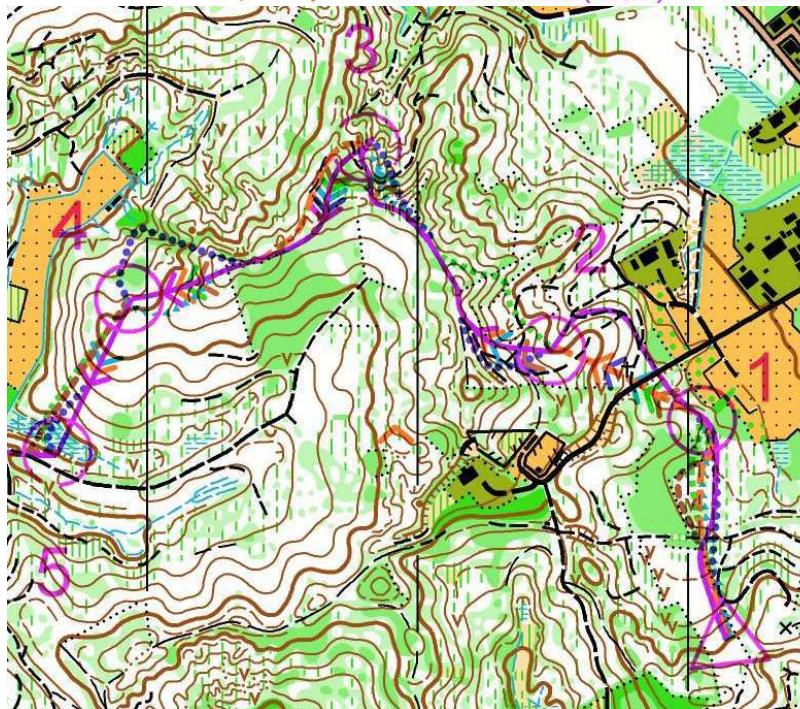
S→1

スタート直後、平らな沢を直進する。左前方に藪い尾根が見えたなら藪をよけつつその先端付近に登ってアタックする。トップラップは宮川選手（立教2）。

	優勝 宮川早穂(立教2)	31:50
	準優勝 高橋美薔(岩手4)	32:09
	3位 横山理恵(金沢4)	34:17
	4位 星美沙(相山女学園3)	34:50
	5位 大河内恵美(横浜市立4)	34:51
	6位 松田沙也加(岩手2)	36:53

1→2

直進して尾根を越えるか、道を使うかの二択だが、尾根上とコントロールと同じ高さなのでわざわざ道をまわることにメリットは無い。トップラップは稻毛選手（お茶の水女子3）



2→3 (第1中間ラジコン)

本コースの最難関レッグ。プランナー想定ベストルートは宮川選手らのルートだ。このレッグでは似たような形のピークや鞍部が続くため、パラレルエラーを起こしやすくなっている。しかも、間違えて降りた先の地形まで似通っているので、ミスが大きくなりやすい。

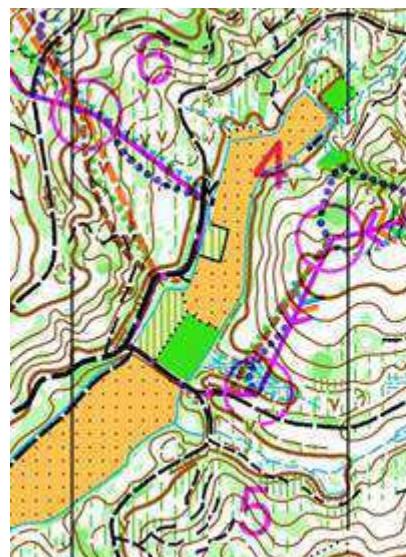
MEA の 8→9 でも言えることだが、ミスを誘いややすくするために簡単なレッグの後に難しいレッグを持ってくることは、よくあることだ。そういう状況にきちんと対処するのもオリエンテーリングという競技の一つの要素だと思う。

ここで守屋選手（相山女学園2）、稻毛選手、千明選手（横浜市立3）といった有力選手が大きく遅れ、波乱の展開となる。

3→4→5

さらに尾根辿りが続く。プランナーとしては星選手（相山女学園3）のルートを想定していたが、ピーカから直進するのも良いルートだと思う。ここで横山選手（金沢4）が大きくミスルートをとっているように見えるが、時間にして 1 分弱で、前述の有力選手のミスに比べると軽い方だ。

5 へは 4 からただ降りるだけだが、斜面に流されて西に降りてしまった人が多かったようだ。



5→6

道を離れるタイミングが早いか遅いかで、ルートは大きく2つに分かれた。入賞者のラップを見る限り、どちらも大差ないようだ。

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

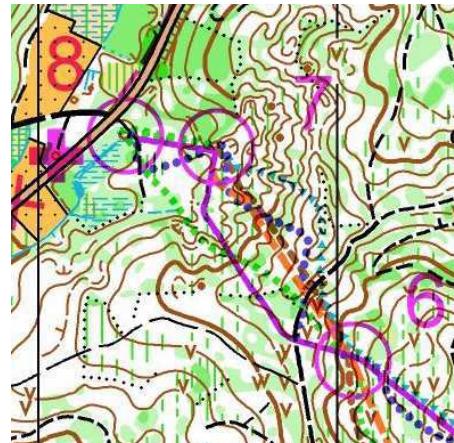
リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

6→7→8（第2中間ラジコン）

この考え方は MEA11→12 と同じ。コントロールの先にわかりやすいストッパーがあるため、途中の微地形ゾーンを細かく読む必要は無い。宮川選手のルートのように、すぐに沢底まで降りてしまうのが効率的だろう。

→→	優勝 宮川早穂(立教2)	31:50
-→-→	準優勝 高橋美薫(岩手4)	32:09
....→....→....	3位 横山理恵(金沢4)	34:17
....→....→....	4位 星美沙(帽山女学園3)	34:50
....→....→....	5位 大河内恵美(横浜市立4)	34:51
....→....→....	6位 松田沙也加(岩手2)	36:53



8→9→10

MEA の 13→14→15 とほぼ同じ課題。9 は斜面に流されず直進で当てることを要求した。10 はルートが大きく分かれ、入賞者の中でも大きくタイム差が出たようだ。

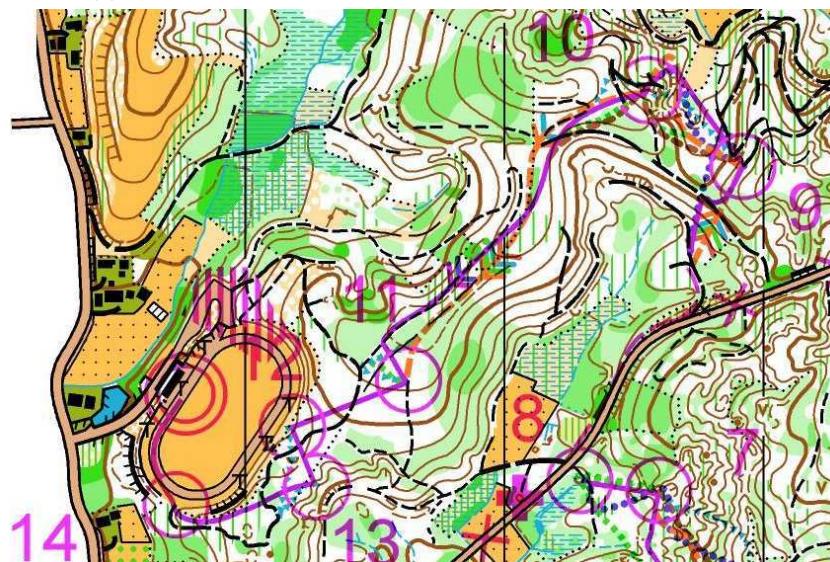


10→11→12

11 はこの終盤にアタックポイントの不明瞭なコントロールにどうアタックするか、という課題。切り開きをうまく使い、藪の切れ目を的確にとらえた高橋選手(岩手4)が好タイム。

12→13→14→F

MEA と全く同じ。13 での逆転劇も一部では起こったようだ。



4 総評

優勝想定時間 35 分に対し、実際の記録は MEA、WEA ともに 32 分でした。ミドル一般の部やリレーとの兼ね合いもあり、力及ばずこれ以上の距離にできなかったのは悔やまれます。

MEA、WEA ともにレース全体を見ると、どんな人でも大なり小なりミスがありますが、致命的ミスになる前に対処出来た人や、ミスを繰り返さなかつた人が上位に来ている印象です。一方、大きなワンミスで入賞を逃した人も数名います。

ミドル一般の部に関しては、コース全体の難易度は低めにし、一部の難しいレッグで順位差がつくように設定したつもりです。優勝設定時間を大きく上回ったクラスもありました。優勝・入賞された方には物足りなかったかもしれません。更に上のクラスでより良い走りを見せてくれることを期待しています。

5 おわりに

当日はプランナー自身予想していないくらい盛り上がる展開が続き、とても楽しく見させてもらいました。走り終わった選手から「難しかったけど楽しかった」という感想が聞けた時は、本当に嬉しく思いました。熱戦を繰り広げたすべての選手に心から敬意を表します。最後に、この大会を成功に導いた運営者、参加者の皆さん、協力してくださった地元の方々に深く感謝を申し上げます。

5 リレー競技部門 入賞校コメント

男子選手権

優勝 東京大学

1走 石野 夏幹

長かったようで短かった1年間、いや4年間を、最高の形で締めくくることが出来て、本当に嬉しく思っています。

ただ個人の走りとしては、チームに迷惑をかけてしまいました。結果的に優勝出来たのは二走の糸賀と三走の真保のお陰です。

四連覇を逃した昨年度末から、このインカレで優勝を奪還することを最大の目標に、練習してきました。ただ、自身の実力は思うように伸びず、特に10月頃から年明けにかけて、もう自分は選手権リレーを走れないのではないかと思うことが増えました。しかしその度に、去年の三走が、日光所野の山から下りてくる情景が頭に浮かび、自らを奮い立たせることができました。

さて今回、再び東大の元に優勝杯が戻ってきました。女子では、OLKと共に活動しているお茶の水女子大学が、四半世紀振りに優勝しました。後輩達には、OLKの伝統を守り、新たな伝説を創つてほしい。今年はその新たな1ページになったと自負しています。

2走 糸賀 翔大

去年、圧倒的な強さを誇っていた当時の4年生がいたにも関わらず、東北大に負けてしまい、今年は絶対にリレーで優勝しようと思って1年間やってきました。正直無理そうだなと思ったこともありましたが、負けた悔しさがモチベーションとなり、トレーニングを続けてくることができました。

当日は、1年間やることはやってきたという思いと、3走の真保さんが何とかしてくれるだろうという安心感のおかげで特に緊張することなく、本当に楽しいレースをすることが出来ました。

優勝したという事実をOLKのみんなや、OB,OGの方々が喜んでくれたことが何よりもうれしかったです。

来年は去年の自分たちのように悔しさを糧にして他大も優勝を目指してやってくると思うので、それに負けないよう一から鍛えなおしてまた優勝したいなと思います。

インカレ最高！

3走 真保 陽一

所野で4連覇を逃してから1年間、最後のリレーで勝つことだけを考えてトレーニングを積んできました。去年悔しい思いをした分、優勝できて喜びもひとしおです。皆でしたウイニングランは最高に幸せな時間でした。

実際にリレーを走ったのは3人ですが、この優勝はチーム力で勝ち取ったものだと思います。石野はキャプテンとしてチームマネージメントをし、自分は競技面で東大を引っ張り、ある人は応援に全力を注ぎ、ある人は急激な伸びを見せて周りに刺激を与え…、皆がそれぞれの形で優勝に貢献しようと努力した結果の優勝です。

この1年、速い32期が抜けた東大の中で、「エース」として自分が結果で東大を引っ張る覚悟を決めたものの、怪我や学業で思うように行かず、投げ出したくなったりました。それでも最後まで走り続けることができたのは、互いに切磋琢磨しあう仲間がいて、支えてくれる人がいて、そして何よりチームとして一緒に優勝を目指す東大生がいてくれたおかげです。本当にありがとうございました！来年の優勝も期待しています！

最後になりましたが、今大会の運営者の方々、オフィシャルの方々、コーチの方々、それ以外のOB・OGの方々、OLK内外の同期や後輩、インカレに関わった全ての皆様にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました！

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66



準優勝 名古屋大学

3走 細川 知希

去年の名大は完全に東大と東北を見上げていました。口先だけ優勝って言ってるだけで、そんなの嘘っぽちで走る前から負けていました。走って勝負で負けたのではなく走る前から負けていたという悔しさを感じました。悔しさを通り越した情けなさが残りました。この所野を経て、今年は挑みかかって本気で優勝を掴みに行くんだという想いを胸に名古屋大学は1年間一丸となってやってきました。そして渡仲—前田—細川で挑みかかりました。結果2分届きませんでした。正直悔しいです。本気で狙っていって勝負で負けたのだから。でも、たった一つの優勝に向けて一緒に立ち向かっていって、その結果、準優勝を掴み取れました。この掴み取った準優勝は誇りに感じています。来年は今年のリレーメンバーは全員抜けていません。まだリレーに向けての1年はいま始まったばかりです。後輩に名大の夢は託します。期待しています。

第3位 早稲田大学

3走 藤村 陸

学生にとって最高の舞台で、大好きなオリエンテーリングをすることが出来るなんて、こんなに幸せなことがあるのだろうか！無事に2日間の競技を滞りなく運営してくださった方々、森の中で競い合った他の競技者、声を枯らして応援してく

れた早大OCの仲間。これら全員の力なくして、あの夢のような2日間は無かったでしょう。春インカレに関わったすべての方々に感謝いたします。

さて今回のインカレリレー、下馬評では早稲田大学は4番手くらいではないかと言われていましたが、私たちの目標は3位以上を取ることでした。2002年度の愛知インカレで準優勝して以来、早稲田大学は長らく3位以上から遠ざかっていました。3人制リレーになって以降は、最高でも4位。この「4位の壁」を破ることこそが、先輩方の目標であり、そして私たちの目標となっていました。

1走は1年生の澤口。初めてのインカレリレーで大きなプレッシャーのかかる中、最終的に2位で帰ってきました。2走の尾崎は中盤で5分の大ミスをしながらも、前にいた名古屋大を抜いて、1位の東京大とほぼ同時にチャンジオバー。3走の私は他大学のエースとタイマンを張る実力はありませんでしたが、なんとか澤口尾崎の作ったリードを守り、そして逃げ切ることだけを考えて走りました。結果的には名古屋大学に抜かれてしまいましたが、間違いなくほぼベストのレースが出来たと思います。

そして、ようやく、「4位の壁」を破ることができました。3位という結果は大変嬉しく思います。しかし、私たちは決して満足はしていません。今回あと少しで手が届きそうだった優勝を、必ず来年は掴みにいきます。来年の表彰台で誰の首に金メダルがかかっているか、期待して見ていてください。

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

第4位 京都大学

1走 倉本 竜太

今までのインカレでは選手権の経験が2年のミドルのBクラスのみで、しかもミスも多く結果を出せなかつたので最後のインカレこそはという気持ちでした。緊張やミスもしましたが、自分らしいレースが出来て満足です。しかし、結果としてはやはり悔しい内容になってしまいました。来年の京都大学はもっと成長して、僕の分も頑張ってくれるでしょう。なので今は入賞常連校としての入賞を再び出来たことを素直に喜ぼうと思います。応援ありがとうございます。

2走 五百倉 大輔

ミドルの晩、37度6分の熱があったのですが、リレーの朝には幾分元気になっていましたので、自分の団体戦走りたい気持ちもあって、選手変更せずに2走を走ることになりました。レース前やレース中は思ったより落ち着いていたと思います。しかし、何個も大きなミスを重ねてしまいました。今回のインカレは、本当に悔しい、申し訳ないものになってしまいました。ただ、こういう結果だったからこそ、これからやる気も出てきました。来年の団体戦では優勝できるよう、頑張っていきたいと思います。

3走 松下 瞳生

昨年共に走った2人が抜け優勝を目指すにはかなり厳しいというのが現状でした。それでも目標は変えずに1年間取り組んできました。本番は得意の違う展開で回ってきたので後は自分のレースをするだけでした。結局順位を一つも上げることができず悔しい思いをしましたがミドル同様全てを出し切ることができました。来年こそは優勝してみせます。

第5位 一橋大学

1走 太田 晶久

昨年度の1走を終えてからほぼ年明けまで競技を離れており、糸余曲折を経て臨んだレースでした。実力不足であることは重々承知の上でしたが、当日はスタートからゴールまで本当に楽しく走ることができ、一橋の入賞を引き寄せる走りをすることができたと自負しています。運営に関わってくださった皆様は本当にありがとうございました。

2走 衣川 浩輔

良くも悪くも自分の実力が出たレースでしたが、入賞圏内で繋ぐことができて嬉しかったです。来年は自分が強い一橋を引っ張っていけるよう精進します。運営に関わって下さった方々ありがとうございました。

3走 細淵 晃平

一橋が3年連続入賞だったことから、今年も絶対に入賞したいという気持ちで臨みました。1,2走の後輩たちが全力を出し切ってくれたお陰で安心して自分のレースをすることができ、現役最後のインカレを気持ち良く終えることができました。

いい先輩・同期・後輩に恵まれてたなーと思います。大学でもずっとオリエンテーリングを続けてきて本当に良かったです。インカレ最高!

第6位 東京工業大学

1走 古林 琢

なんとかいい位置で2走の塚越に繋ごうと思って走りました。最後の方で脚をつてしまって東大の石野さん、京大の倉本さんに抜かれてしまったのは悔しかったですが、結果的には5位でつなげてホッとしました。来年はさらにレベルアップして、自分自身としては最後に脚をつって見苦しくゴール、なんてしないように。そしてチームとしては部内セレでも自分が出られるかどうか怪しいくらいにみんなが強くなり、その中でも自分が選手権リレーメンバーとして出場し、もっと上の順位を目指したいです。

2走 塚越 航

他の2人とは違い、個人でエリートになった事がない自分がどれほどチームに貢献できるかが心配でした。レース中はいつも通りの自分を出し切ること、また無難にまとめて後に繋げる事を目標に望んでおりました。実際には自分の番で順位を落してしまうなど、悔やまれることもありましたが、最終的にはリレー入賞という結果になり、とても嬉しく思います。来年度は個人としても全国に通じるような戦力となれるように、また同時に東工大のリレー連続入賞を目指し、部の仲間と共に精進していきたいと思います。

3走 戸上 直哉

去年、自分の力不足で逃したインカレリレーME入賞という栄誉を今回はしっかりと掴み取ることができます。6位入賞という結果は今後の東工大OLT躍進の第一歩だと考えています。次の目標は、まずは、自分が三度目のリレーMEメンバーになること。そして、東工大OLTのME連続入賞とその順位をさらに上げることです。今回のメンバーは次回も誰も抜けないし、他にもメンバー候補はおり、新2年生も有望なので実現可能な目標だと思います。努力を惜しまず、切磋琢磨することによってこれから東工大OLTはもっと強くなります。

最後になりましたが、このような素晴らしい舞台を用意していただいたインカレ実行委員会の皆様に感謝をしたいと思います。

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

女子選手権

優勝 お茶の水女子大学

1走 田中 千晶

今年は去年と同じメンバーでの出走でしたが、去年のチームよりも格段に良いチームとなってインカレの舞台に帰ってくることができました。入賞を目指すということについて3人でちゃんと話したことはなかったので、不安になった時期もありましたが、最後の半年間は3人全員が同じ方向を見ているという安心感に包まれたとても満たされたものでした。そんなチームで走れた最後のインカレリレー、優勝という最高の結果が返ってきたことには驚きましたが、それ以上に嬉しい気持ちでいっぱいです。このような結果で最後のインカレを締めくくることができたのは、共に走った2人が一緒にリレーの表彰台を目指してくれたことだけなく、お茶大の先輩・後輩たちの応援やOLKの皆の協力があったからこそです。4年間本当にありがとうございました。私はもう卒業ですが、後輩たちがそれぞれのやり方でお茶大を、OLKを盛り上げていってくれることを願っています。

2走 小山 奈月

去年の春インカレから、ずっと、優勝したかったので、今はとても満足しています。去年も2走を走らせて頂いたのですが、その当時はオリエンに対してマイルドに関わっていくつもりで、競技としてはまったく向上心を持っていなかったので、完全に経験不足。先輩方の足をひどく引っ張ってしまいました。それがとても悔しくて、ふがいなくて。こんな情けない気持ちはもう二度と味わいたくはない、先輩たちにどうや顔を向けてバトンを受け渡したいと、強く思って、この一年間は私にしてはそこそこ頑張っていました。ランニングなぞしたこともなかったのに、走ってみたり。今日は…3kmでいいかな…とか思ってからふと、Fさんと稻毛さんが思い浮かんで、3月にはリレー走らなきや、とか考えてみたり。あ、そういうえば地図読み用の地図を山上さんからもらったんだっけ、とか帰宅中に思い出して読み始めたり。愛の力って偉大だと、改めてそう思います。気持ち次第で入って色々なことができるものなのですね。インカレを通して、新たな可能性の再発見をしてしまったようです。

優勝校、という輝かしい栄冠を手にしたわけですが、私自身を振り返って感じる感慨はちっぽけなもので、それというのも、私自身の競技面での大きな成長はさしてなかったが故のものと思います。結局、Fさんと稻毛さんという先輩方二人によるおんぶにだっこ状態での優勝です。「すごいね！」とおっしゃってもらうことがあるのですが、曖昧な笑みを浮かべるしかなくて、そこはやはり悔しいかもしれません。でもいいやとも思います。Fさんと稻毛さんはもう、私の中で憧れの存在にするんです。超えようという気概よりも、憧憬を抱いて近づきたいと思う慕の方が、私にはずっと似合う気がする。こういうオリエンスタイルもいいよね、と私はマイオリエンロードを行こうと思います。

最後になりましたが、応援くださった皆様、拍手くださった皆様、ありがとうございました。

3走 稲毛 日菜子

個人的には、これまで2回のインカレリレーでは内容的に納得のいく走りができずにいたのですが、今回やっと魂の快走ができる良かったです。皆の応援が、仲間を信じる力が、どれほど強い力になるかを証明できたレースだったと思います。お茶大としては、去年とメンバー走順は変わっていませんが、新たな仲間が増えチーム全体で進化した1年間でした。オフィシャルさん含め皆でつくりあげたこのチームだからこそ、それぞれ良い走りができる今回の結果があったのだと思います。また、印象的だったのは学校、年代問わずたくさんの方がお茶大の優勝と一緒に喜んでくれたことでした。OLKという団体に出会えた幸せと、脈々と受け継がれるインカレの熱さを噛み締め、本当に素晴らしい1日となりました。猪のごとく駆けてきた3年間はあっという間で、気がつけば最後の1年を迎えようとしています。来年度も、更に多くの仲間を迎えて（新歓がんばろう！）また新しいチームをつくりながら、オリエンテーリングを存分に楽しんでいきたいと思います。



準優勝 横浜市立大学

1走 千明 瑞希

最後のインカレリレーは自分のレース、チームの結果共に納得できるものだったので、とても満足しています。今年度はリレーで優勝することを目標に掲げ、横市女子全員で頑張ってきました。私は1走で力が出し切れるようにファシュタやリレーの大会で練習を積んできたので、本番にも自信を持って臨むことができたと思います。また前日のミドルの失敗を振りきってよい走りができるのも、KOLC の仲間、サポートしてくれたオフィシャルさん、またこれまで応援してくれた沢山の人のお陰です。3年間、ありがとうございました。

2走 富家 遼子

今回が、大河内さん・千明さんと走る3回目のインカレリレーでした。どのインカレも思い出深いものですが、過去2回は悔しさの残る結果で終わっていました。今年度は目標としていた優勝こそ果たせませんでしたが、1年間を通してチーム一丸となってインカレリレーを目指すことができ、また、インカレを通してKOLC全員で一つになれたと感じたことが何よりも嬉しく、しあわせでした。4年間ご指導してくださった先輩方、一緒に頑張ってきたKOLCのみんな、今まで本当にありがとうございました。

3走 大河内 恵美

この1年間、横市女子は優勝を目指して努力してきました。目標には届きませんでしたが、間違いなく最高の“チーム”だったと胸を張って言えます。個人的には、抱えていた怪我のためレース中盤から足が動かず歩いてしまったのが唯一の心残りです。それでも諦めずに前へ前へと進めたのは、ずっと支えてくださったオフィシャルや丘の上の方々、KOLC の仲間たちや応援してくださったみなさまのおかげです。本当にありがとうございました。私たちは引退ですが、頼もしい後輩たちが更に強くなった横市を見せてくれるでしょう。心から応援しています。

第3位 桐山女学園大学

1走 星 美沙

1走としての私の役割は、優勝候補の大学と少しでも差をつけ、3走への貯金をつくることでした。しかし結果は横浜市立大学に大差をつけられ、自分の役割を果たせなかつたことに悔しさを感じます。それでも、その後優勝を信じて待つことができたのは、2走、3走の2人がとても心強かつたおかげです。3位は悔しい結果ですが、来年に向けてさらに頑張る理由ができました。来年は自分がチームを引っ張る存在になれるよう尽力に努めます。

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

この1年間コーチの方々に支えられ、部員同士で切磋琢磨できる素晴らしい環境の中、リレーに向けて準備ができました。本当にありがとうございました。この感謝はやはり優勝杯でしか返せないと思います。来年こそは優勝します。

2走 小島 優

去年のインカレが終わってから私の目標は2つありました。一つ目は帽山の優勝。次にそのレースを私が走ることでした。後輩がめきめきと伸びてきており、誰が走ってもおかしくない中で競り合い、高め合える状況は悔しさに涙することもありつつ、結果を出す仲間を喜べる最高の環境でした！

結果は3位と悔しいものでしたが優勝を目指すことができたのは、アナリシスを添削してくださるコーチ、誰が本場を走るのか競ったり、部活を楽しくしてくれる仲間、一緒に活動してくれる名古屋大学の存在がとても大きかったです。私は選手権リレーを走るのは3度目にかかわらず、エース的存在になれなかつたのは心残りですがインカレ入賞の賞状とメダル凄く嬉しいです！次！来年こそ、帽山が優勝！私はその場面を見に来ます。

3走 守屋 舞香

去年は、応援しか出来なくて、受け入れ難い結果を見て、悔しくて仕方なくて、来年は自分が走る！ってことだけ考えていました。リレーに向けて優勝を目標にして準備し、本番に臨みました。私は当日のレースで思うようなレースができず、悔しい思いをしましたが、帽山というチームとして三位という結果を残せたことに嬉しく思います。来年こそ、優勝しよう！という気概で帽山一丸となって力を見せつけたいと思います。

第4位 金沢大学

先輩の最後のインカレについて
金沢大学 五味あづさ

今回のインカレは金大女子にとって、少なくとも私にとって、「先輩の最後のインカレ」でした。私が入学した時、当時三年生だった三人の先輩は私たちの先生でした。毎日のトレーニングもどう地図を読むかも、現地での地形も、たくさんのことと先輩に学び、先輩を追いかけてオリエンテリングをしてきました。金大女子にとってそんな先輩方の最後のインカレは大きな舞台であり、そ

して先輩方の卒業は大きな転換期でした。

一年前、二年生になり先輩方が四年生になった時、私は「先輩と同じ舞台に立って競えるのはこれが最後だ」と強く感じ、追いかけるのではなく勝てるように頑張ろうと思うようになりました。リレメンを決める時、尊敬してきた先輩だから、最後は三人で走ってほしい、と思いました。でも同時に、最後だからこそ金大女子のイチバンで出走したい、とも思いました。自分の実力を認めてもらえるならリレーを走り、先輩の最後に貢献したいと強く思ったのです。

インカレまでの数日間を先輩と三人で過ごし、二人の思いを感じました。待っていてくれる二人の先輩のために走ろう、そう決意しました。当日は、会場から一番に走り出したものの、リズムをつかめずのろのろとした序盤となりました。誘導前で大きくツボリ、スピード感の無いオリエンテーリングに「どうして！？自分？！」と思いました。先輩が会場で待っていてくれるのに遅い自分が悔しかったです。それでも、走るしかない。二人のことを思い、二人のいる会場に走りました。会場が見えた時、私に叫ぶ横山さんが見えました。必死に「大丈夫だよ」と叫んでくれていました。一秒でも早くと思ったことを思い出します。

池嶋さん、横山さんの出走を見届けてからは、必死に応援しました。待って行ってくれた先輩に最後の走りを楽しんでほしかったです。横山さんが帰ってきたとき、本当にうれしかったです。自分の走りにふがいない部分はありましたが、三人で走れた、先輩の最後のインカレを走れた、それがうれしかったです。インカレリレーを走れたことに横山さん、池嶋さんの二人、一緒に頑張った金大のみんな、このインカレを走る機会を与えてくださったすべての皆さんに感謝します。本当にかけがえのない時間でした。

インカレは終わり、先輩方は卒業し、新しい年が始まりました。もう、先輩たちと一緒に現役としてトレーニングをすることはできません。卒業した先輩方が呆れないように強くなっていくことが今の自分の使命だと思っています。先輩方の最後のインカレは終わりましたが、先輩方の作った金大女子は終わりません。来年、再来年と強い金大をつくりていけるよう頑張りたいと思います。

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

第5位 新潟大学

1走 福井 莉子

今年のリレーは波乱のセレで、去年とは違うメンバーで臨むことになりました。そんな中、2つ下の後輩にかかるプレッシャーはとても大きかったです。私自身、1走の集団の中で、2走の不破に貯金をつくれるほどの実力はないし自分のレースをするしかないと割り切って走っていましたが、最後にミスって集団から離れてしまったことは本当にふがいなく、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかし、私の心配と予想を見事に裏切り実力を発揮してくれた後輩と、普段とは別人の顔で誰よりも全力の走りを見せてくれた同期のおかげで、今年も表彰台に立つことができました。本当にありがとうございました。4年生は卒業しますが、インカレリレーの楽しさを後輩に引き継ぐことができたら嬉しいです。

2走 不破 美沙

一度もエリートの経験がなかった自分が、新潟大学の女子リレーチームの一員としてリレー選手権クラスを走ることになりとても不安でした。しかしリレーセレクション後からインカレ当日まで、新大オリエン部の女子3人やオフィシャルをはじめとする多くの方に支援していただき、当日は万全の態勢で走ることが出来ました。一緒にリレーを走ってくれた四年生の2人の予想を良い意味で裏切る結果を出し、2人にとって最後のインカレを良い思い出とすることに貢献できてよかったです。当日まで支援してくださった方々、一緒にリレーを走ってくれた2人にこの場を借りて御礼申し上げます。

3走 大関 幸穂

初めてのインカレリレーはあの伝説の新井宏美さんと一緒にチーム、超絶へっぽこティアの私は緊張に足が震え結果はボロボロ、新井さんの最後のインカレで彼女を表彰台に乗せることができなくて自分の実力のなさが悔しくて泣きました。そんな私の最後のインカレリレーは、二つ下の後輩と一緒にチーム。不破さんに私と同じ思いをさせたくない一心で、一人で背負い込むなよ～的な事ばっか言ってました。不破さんは私よりずっと真面目んティアで、私の心配なんかよそに、心強い走りをしてくれました。ゴール後に、ずっと心にひつかかってたへっぽこだった頃の私が手を振つ

ていなくなりました。そして最後に、かわいいかわいい後輩に表彰台からの景色を見せることが出来て、本当に嬉しかったです。同期の福井と名塚も今まで付き合ってくれてありがとうございました！オリエンテーリングで関わりを持った皆さん、4年間ありがとうございました、これからもよろしくねーっ！

最後に、運営者の方々をはじめ、今回のインカレ開催のためにご尽力をしてくださった全ての方にこの場を借りて御礼申し上げます。

第6位 東北大

3走 堀口 奈保

インカレが終わって一ヶ月近くが過ぎようとしています。徐々に山に入りたくてうずうずしている堀口です。

今年度の東北大の選手権メンバーは全員が4年生で、長年一緒に過ごした仲間たちと最高の舞台に立つことができました。昨年度の辛酸があったからこそ、今年のメンバーの結束が強まり、心から入賞を喜べる準備が出来たのだと思います。

去年の選手権リレーでは、就活の時期とかぶり、私含め同期たちはなかなかオリエンに打ち込めない状況でした。それもあってか結果は7位と、私が見てきた中で初めて入賞を逃しました。自分のいる代で記録を途切れさせてしまったことは本当に情けなかったです。

その結果を受けて、今年度はロング後から本格的にリレーに向けて準備を重ねました。今まで少しずつ競技から離れそうになっていた同期が、普段の練習、合宿や一人一人との会話の中で、また徐々に競技に戻っていくのを感じました。

現実はそんなに甘いものではなく、どんなに頑張っても結果がついてこない、報われないときはあります。最終的に個人の実力は決して満足のいくものではなかったと思いますが、チームとしての実力、リレーへの思いは十分なものであったと思います。私の自慢のチームです。

思い返すとありすぎて書ききれないでこの辺りで留めておきます。支えてくれた女子部員、応援してくれた先輩方、同期、後輩達、運営者の方々、全国のライバル校、一緒に走ってくれた二人に感謝。これらのどれが欠けても試合として成り立たない、かけがえのないものです。本当に幸せな時

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

間を過ごさせてもらいました。最後に皆の努力が形になって良かったです。

今年度のメンバーは全員もうすぐ社会人となり住む場所もバラバラとなります、また集まってオリエンできたらいいなと思います。

今までありがとうございました！！これからもよろしくお願ひします！！！

特別表彰 立教・東京医科歯科混成

1走 高田 奈緒（東京医科歯科大学）

所野インカレで見た立教、早稲田混成の優勝を間近で見て、次は自分があのリレーを走りたいと思って1年間やってきました。同期でありオリエンテーリングとしては先輩の宮川、いつも笑顔でゴールに帰ってくる松島と走れてとても幸せでした。今回こうして特別表彰頂けたのは、1年間様々な場面で応援してくださった本当に多くの人のお陰でした。この経験を糧に精進していきたいと思います。

2走 松島 彩夏（立教大学）

奈緒さんからタッチしてもらって出走、奈緒さんが先頭集団から遅れをとることなく帰還し、がんばらねばと思いつつ、走り出しました！レース自体は第1誘導辺りまではフワフワした感じで、沢間違えるし、あきらかに違う隣ポ取りに行って

みたり、2ポから現口スして4ポでるし、第2誘導まで、自分のプラン信じて走れず、へー。そして忘れもしない10ポ、めっちゃ人の声がするから、今日サッカーの試合あるのか、どこ対どこだろって考えるくらいには頭巻いてました、スペクターズでしょ、はー、さっき下から見てたでしょ。

私がこんな走りをしても入賞できたのは奈緒さん、さほさん2人の先輩のおかげだと思ってます、いや間違いないですだから表彰式でも言ったように来年は強くなって帰ってきます！ありがとうございました！

3走 宮川 早穂（立教大学）

インカレリレーの舞台を、大好きな同期と後輩と走ることができて本当に楽しかったです。レース内容は未熟な点ばかりでしたが、私はチームの中での役割を果たすことができたと思っています。このような経験をさせていただくことができたのも、特別に混成チームの選手権リレー出場を認めてくださった日本学連の方々のご尽力のお陰かと思います。本当にたくさんの方に感謝することのできたインカレだったなと改めて思います。ありがとうございました。



イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

6 リレー競技部門 コース解説

リレー競技部門 コース設定者 小林 遼（東京大学 2007 年入学）

1 はじめに

例年ない大雪で何度も最終試走が延期されたこともあり、無事に競技が終わったことにホッとしています。当日は天気にも恵まれ、運営していることを忘れてしまうくらい面白い展開でレースが進み、素晴らしい盛り上がりのインカレになったことを嬉しく思っています。このインカレを準備してきた運営者の皆さん、大いに盛り上げてくれた参加者の皆さん、地元の方々に心から感謝いたします。

2 コースコンセプト

「選手権校を決めるにふさわしい心・技・体の総合力を問うコース」をコンセプトにコースを設定しました。具体的には以下のことを考慮しています。

- ・高いスピードが要求される
- ・注意力を必要とする勝負レッグを含む
- ・視界が比較的良いため、周りのチームを意識し、競い合いができる
- ・応援が盛り上がるスペクターターズコントロールを含む

3 コース概要

男女選手権とも、上記コンセプトの元、以下の様なコースとしました。

【序盤】（スタート～誘導①）

他と比べて見通しがきづらい部分もあり、足場の悪い北側エリアを使用。我慢しつつ、集団を見失わないように走れるかがポイント。

【中盤】（誘導①～誘導②）

道路南側エリアを使用。見通しがきくようになりスピードも出せるようになる。しかし、要所ごとに正確なナビゲーションが必要となる部分を含む。スピードの切り替えがポイント。

【終盤】（誘導②～スペクターターズコントロール～フィニッシュ）

会場周りのエリアを使用。できるだけ長時間応援が聞こえるような回しとし、仲間の力も借りながら最後まで走りきれるかを問うようにした。

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

4 男子選手権 解説

S→1 (A/B/C パターン)

いきなり難易度は高め。小径を離れて部分・アタックポイントを自分で決めて進めるかがポイントになる。集団レースとなるので、ここで他パターンに引きずられてしまうと大きなロスとなるとなるので注意すべきところ。

1→2 (共通)

藪のかかった尾根たどり。コントロール位置は小径と切り開きの分岐なので、無理にショートカットしようとせず、一気に先に切り開きに出てしまうほうが速い。

2→3 (X/Y/Z パターン)

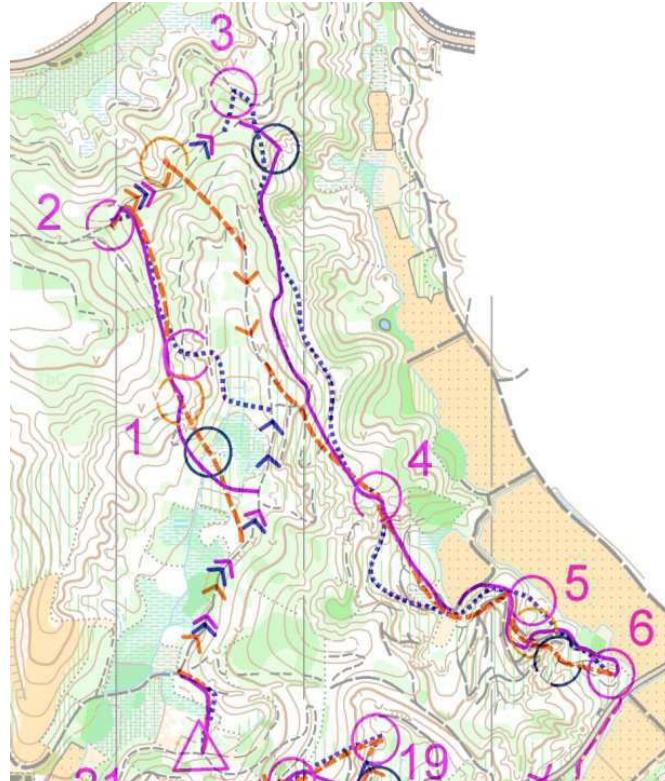
切り開きをたどりつつ、周りの地形を見てアタックしていくレッグ。

3→4 (共通)

スピードの切り替えどころ。尾根たどりや小径をつなぐなどいくつかのルートが考えられる。どのルートでも大差はないので、素早く判断し実行できるかがポイント。

石野・糸賀・真保は、プランナー想定の3ルートに分かれている。

- 1走 石野 夏幹 (4年) ME-CY 52:26
- 2走 糸賀 翔大 (3年) ME-AX 49:03
- 3走 真保 陽一 (4年) ME-BZ 45:59



4→5 (X/Y/Z パターン) →6 (共通) →誘導①

小径の発達した部分で、道の乗り換えとアタックをスムーズにこなすのが課題。

誘導①→7 (共通・第1中間) →8 (共通)

尾根たどりと地形的な特徴に乏しい斜面にある点状特徴物へのアタック。尾根が細く、たどるのはそれほど難しくないが、勢いでアタックしてしまうと大きなミスになる。コントロール位置北東側にあるC藪の塊が比較的わかりやすいので、そこを目指して進むとミスなく速く進める。



イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

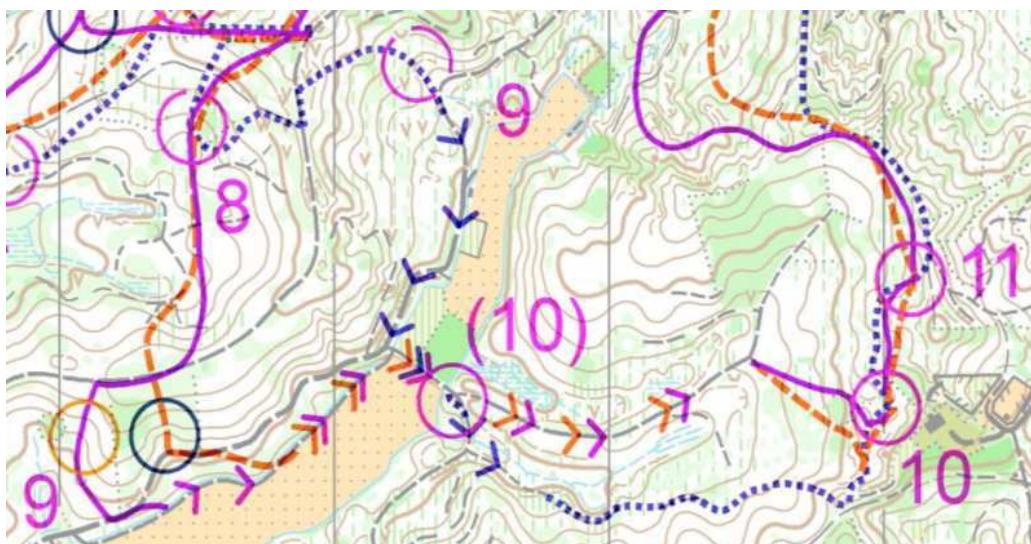
ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66



8→9 (A/B/C パターン) → (10・A パターンのみ)

意図的にパターンを大きく振ったレッグ。脱出方向が大きく2つに別れるため、集団でいても自分で脱出方向を定められるかがポイント。また、集団から離れる時の不安感は減速の原因にもなるので、「自分のルートに自信を持って進めるか」という心理的な課題を問うレッグとした。

9→10 (共通) (以降、番号は BC パターンで解説します)

道走りを主体とし、斜面上の地形にアタックするレッグ。スピードを上げたいところ。

糸賀は、先行していた名大前田を追いかけたため南の小径をたどっているが、石野・真保のよう北の小径の分岐をアタックポイントとするのが正解。

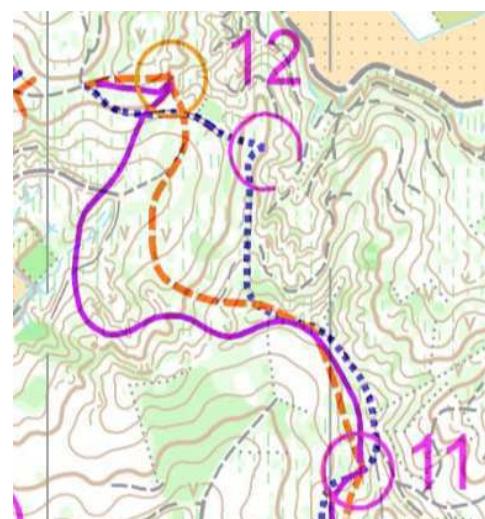
10→11 (共通)

斜面上のショートレッグ。尾根・沢それぞれの地形をチェックしつつほぼ真っすぐ進む。

11→12 (X/YZ パターン)

このレース一番の勝負レッグ。北に向かう尾根を降りていけば良いのだが、他と比べて視界が悪いエリアであるため、尾根上からは正しい方向に向く尾根を認識しづらい。南側の植生界の位置を気にしながらピークまで進み、方向を確認して下っていくのがいいのではないだろうか。

1走では先頭集団がこのレッグで大きく口をし、名大渡仲のトップでのエンジオーバーを決定づけた。



イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

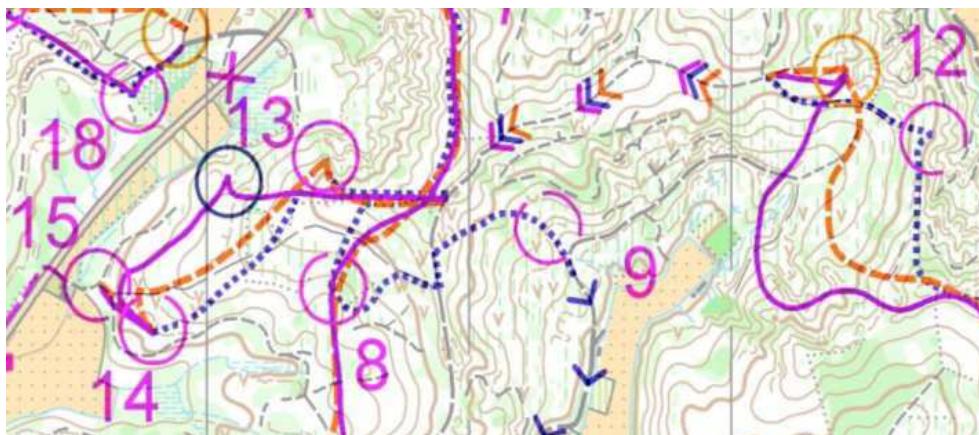
ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

12→13(XZ/Y パターン) →14(共通・第2中間) →15(共通) →誘導②



道と下り緩斜面が続く。ここもスピードを上げたいところではあるが、14番の下りながらの直進レッグは油断すると方向を誤ってしまうので注意が必要。石野・真保はここで10~20秒のロスをしている。

誘導②→16（共通）→17（共通）

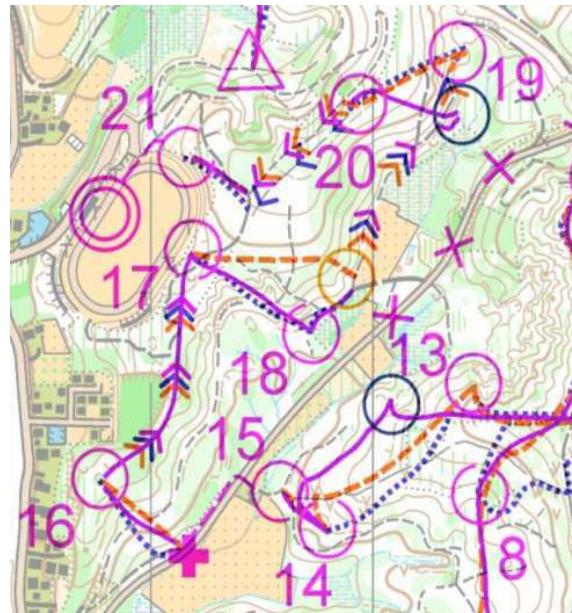
スペクテーターズコントロールに向かうレッグ。足場はあまり良くないが、会場からの声援が聞こえ始めるので踏ん張りどころ。

17（共通）→18（AC/B パターン）

→19（AB/C パターン）→20（共通）

→21（共通）→F

ビジュアル後の最終ループ。競っている場合でも、落ち着いてパターン振りへの対処が必要。最後に少しまとまとた登りも設け、フィジカル要素も問うようにした。



男子選手権・総評

50分を切ってくる選手が7名、60分を切ってくる選手は全体の1/3でした。若干難しめで、力の差がはっきりとあらわれるコースだったように思います。

レース展開としては、1走から中間ごとに上位集団が入れ替わっていく白熱した展開となりました。1走で3分遅れてエンジオーバーした東京大学が2走で逆転し、3走がトップを守り切るレースで優勝。ルート図を見ても分かる通り、ミスしても最小限に抑え、3人でカバーできれば優勝できるというリレーならではの面白さを示す形となりました。入賞チームは50分代前半の選手が2名以上いる結果となっており、正確なナビゲーションはもちろん、スピード・走り切る体力が充実したチームが好成績を残したかと思っています。

5 女子選手権 解説

S→1 (A/B/C パターン)

スタートから小径を外れ、北の小径に乗りかえる。コントロールは東側にある大きな沢の近辺なので、落ち着いてプランニングし、実行できるかがポイント。

- 1走 田中 千晶 (4年) WE-BY 47:40
- 2走 小山 奈月 (2年) WE-AS 41:46
- 3走 稲毛 日菜子(3年) WE-CX 38:01



1→2 (共通)

沢を詰めた先の鞍部まで出て、アタックするレッグ。鞍部からは見通しが良く、コントロール方向の地形が見やすいので、コントロール北西側のコブと尾根を確認し、回りこむようにすればスムーズに行ける。

2→3 (A/B/C パターン) →4 (共通) →誘導①

男子とほぼ共通。小径の発達した部分で、道の乗り換えとアタックをスムーズにこなすのが課題。

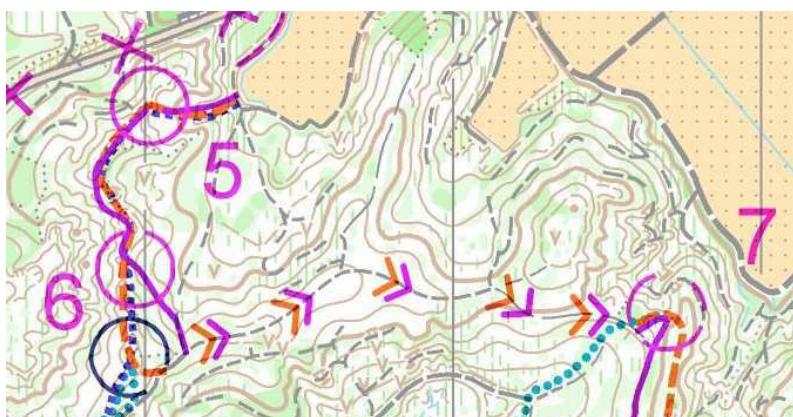
誘導①→5 (共通・第1中間) →6 (X&S / Y パターン)

尾根たどりの課題。ピークや鞍部などチェックできるところはいくつかあるので、正確な位置を把握しつつアタックする。

【1/3 走 (X/Y パターン)】

6→7 (共通)

道走りでスピードを上げたいレッグ。コントロール西側の藪を捉えてアタック。



イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

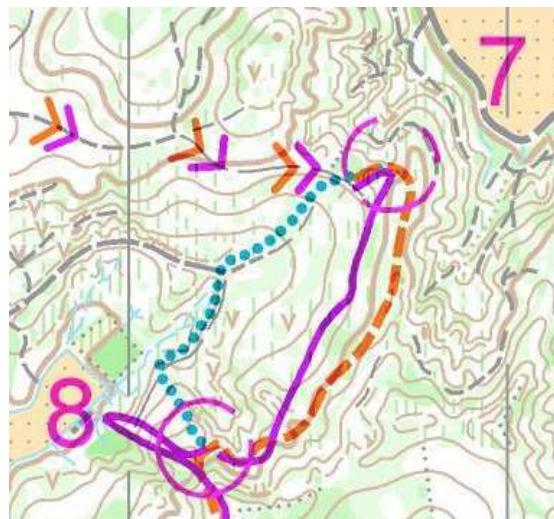
7→8（共通）

WE1/3走のポイントとなるレッグ。

特徴のない緩斜面の先にある沢。**田中・稻毛**のルートのように尾根沿いにほぼまっすぐ進むルートと**点線のルート**の2つを用意した。

直進ルートは、足場が悪く、見通しもあまり良くないためスピードを上げにくく、距離・アップでは有利だが、難易度はかなり高い。

一方で、**点線ルート**は切り開きを使えるため難易度は低い。登りはあるが比較的緩やかであり、スピードも上げやすい。



オリエンテーリングという競技の性質上（インカレリレーという緊張感のある状況を踏まえるとなおさら）、技術的に難しいが速そうなルートを攻めるのではなく、少し遠回りになっても自分の実力で簡単に進行するルートをとる方が速いこともある。そんなことを考えながらこのレッグは設定している。

8→9（X/Yパターン）→10（X/Yパターン）→11（共通・第2中間）→12（共通）→誘導②

リレーらしくスピードを上げる部分。フィジカルが問われる。

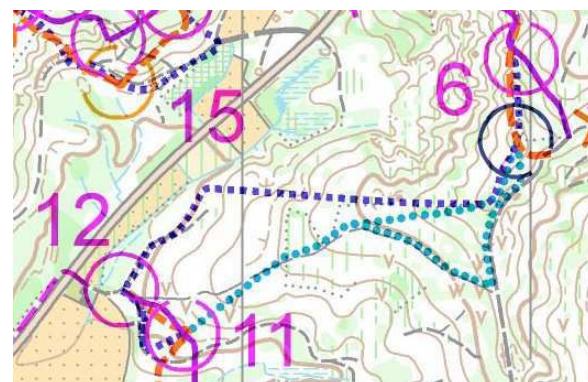


【2走（Sパターン）】6番までを共通とし、1/3走の11へショートカットするコースとした。

6→11（共通・第2中間）→12（共通）→誘導②

2走の勝負レッグ。**点線ルート**のように、切り開きにのり、植生界との交差からアタックすることを想定していた。

小山ルートは想定していなかったが、わかりやすいオープンの際まで一気に下り、12番を通過して回りこむプランは大胆だが確実で素晴らしいルートだと思う。



イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

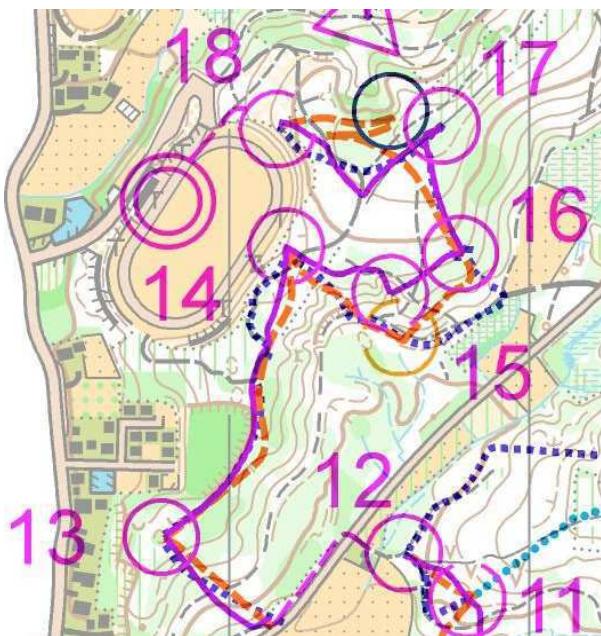
誘導②→13（共通）→14（共通）

男子と共に。スペクテーターズコントロールに向かうレッグ。足場はあまり良くないが、会場からの声援が聞こえ始めるので踏ん張りどころ。

14→15（AC/B パターン）→16（共通）

→17（AB/C パターン）→18（共通）→F

パターン振りが近接していて、注意が必要な最終ループ。最後までは油断できない。



女子選手権・総評

今回のコースは1/3走のトップ層が45分、2走のトップが35分となるように設定しました。1/3走については45分を切る選手が3名、60分を切る選手は全体の40%弱でした。2走もトップは35分、50分を切る選手が40%弱でした。男子と同様にリレーにしては若干難しめのコースだったようですが、ミスパンチなどによる失格を除けば競技時間オーバーによる失格チームがなかったのは非常に良かったと思っています。

レースは上位3チームが激しく順位を入れ替えながら進む展開となりました。その中で、2走エンジオーバー時点で3位だったお茶の水女子大学が3走で5分差を逆転し、25年ぶりの優勝を果たしました。入賞ラインは1/3走が60分程度、2走は50分程度でまとめてきたチームになつておらず、メンバー3人ともに安定したナビゲーションができていたかが鍵になっていたと思います。

6 おわりに

大学・チームそれぞれの1年を締めくくるレースとして、リレーに臨んだ選手も多かったことだと思います。特に、4年生にとってはこれが最後のレースとして望んだ人もいたことでしょう。そんな人達にも「楽しかった」と思ってもらえるようなコース、インカレになつたら、というのがリレープランナーの仕事を始めた時に思っていたことです。これをいい思い出の一つとして、OBOGになつても「また大会に顔を出してみようかな」とか「後輩の応援に行こう」とか、そんな思いを持ってもらえたなら、これ以上嬉しい事はありません。

熱いレース展開、たくさんの笑顔や感動の涙を見てくれた参加者の皆様、雪にもまげず準備をしてきた運営者の皆様、最高の舞台となった「矢板日新」の地元の皆様に改めて感謝の意を表して、コースプランナー解説を終わります。本当にありがとうございました。

7 全コントロール図、ディスクリプション一覧

縮尺
等高線間隔 5m
作成年 2014



矢板日新つつじの里

栃木県矢板市



©日本学生オリエンテーリング連盟

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

2013 年度
日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス競技部門

2014年3月8日 (土)

全コントロール 61

ICM2013		
▷	S1	▶ ←
▷	S2	↗ ×
31	V	↑ ↓
32	▶	
33	▶	▶
34	▶ ←	
35	▶ ←	
36	▶	
37	▶	
38	▶	
39	▶ ←	
40	V	↑ ↓ O
41	▶	
42	↖ ↗	→
43	▶	

44	III	▶		
45	III	▶		
46	/		◀	
47	III	▶		
48	▶ ←			
49	III	▶		
51	V	↑ ↓ O		
52	▶			
53	▶			
54	▶ ←			
55	↖ ↗	↗		
56	▶ ←			
57	↖ ↗	L		
58	↖ ↗	→		
59	/	✓		
100	← ↖ ↗	↑		
101	/		T	
102	U	↑ ↓ O		
103	III	▼	↑ ↓ O	
104	U	↑ ↓ O		
105	▶ ←			
106	III	▶		
107	▶			
108	↑ ▶			
109	/		→	
110	V	↑ ↓ O		
111	/	Y		
112	U	↑ ↓		
113	↗		L	
114	III	V	↑ ↓	
115	/		↗	
116	▶			

class	lenth	cilmb	S	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
MEA	3.9	215	S1	31	32	33	34	35	39	37	38	175	40	41	42	125	44	100	46	48	49	115
MEB	3.6	205	S1	31	32	33	35	34	39	37	40	41	42	125	44	100	46	48	115			
WEA	2.9	170	S1	36	52	175	54	141	56	57	125	59	100	101	48	115						
WEB	2.6	140	S1	36	52	141	56	57	125	59	100	101	48	115								
MUA1	2.6	150	S2	58	105	102	108	51	104	47	125	120	119	118	143	115						
MUA2	2.5	160	S2	142	105	102	108	51	104	122	125	120	119	118	124	115						
MUA3	2.5	160	S2	53	105	102	108	51	104	45	125	120	119	118	55	115						
WUA	2	110	S2	110	51	107	103	122	125	106	124	115										
MUF1	2.1	110	S2	116	107	121	117	45	125	106	151	111	115									
MUF2	2.1	110	S2	109	107	121	117	122	125	112	151	111	115									
MUB	2	90	S2	114	51	121	113	125	106	151	111	115										
WUF	1.5	70	S2	114	113	125	112	151	111	115												
WUB/OB	1.5	75	S2	128	113	125	112	151	111	115												
OAL1	3.5	200	S2	102	37	38	103	51	109	128	45	125	118	55	126	115						
OAL2	3.5	200	S2	127	37	38	103	51	109	128	122	125	118	143	126	115						
OAM	2.5	120	S2	104	107	127	105	116	45	47	125	106	43	115								
OAS	1.4	60	S2	45	57	125	106	151	101	115												

2013 年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会 リレー競技部門 2014年3月9日(日)

ICR2013		
▷	S1	/ Y
31	← ▲	
32	○ ○	
33	↙ ▲	
35	○ ○	
36	▶ ▲	■
37	↑ ⚫	—
38	▶	
39	▼	10 ○
40	▶	
42	■ ▶	
43	▶ ↖	◀
44	/ ■ Y	
45	▲	
46	→ ▲	—
47	▲	—
48	▲ —	
49	▶	

51	/ / Y	
52	→ ▶	
53	▶	
54	■ ▲	
55	▲ ■	■
56	▲	
57	▼ 10 ○	
58	↓ ▼ 10 ○	
59	■ ■ ■ L	
100	/ —	—
101	❖ >	
102	▲	
103	■ ▶	
104	▶	
105	▲	
106	❖ ↖	◀
107	▼ 10 ○	
108	▲	
109	▶	

110	→ ▶	—
111	→ ▲	
112	▶	
113	▼ 10 ○	
114	▶ —	
115	> > Y	
116	↖ ▲	
117	○ ○	
118	▶	
119	▲	
120	▲ ■	
121	→ ▲	
122	▶	
123	▶	
124	/ —	—
125	↓ ▼ 10 ○ \$	
126	▲ ■	
127	▲	
128	❖ ❖ Y	

129	← ■ ▶ Y	
130	↖ ▶	
131	▲	
132	↓ ▲	
133	↘ ▲	
134	— L	
135	▼ 10 ○	
136	◀ ▲	
137	■ ▲	
138	/ / Y	
139	↑ ▲	
140	◀ — L	
141	● 10 Q	
142	▲ —	
143	○ ✓	
151	/ —	—
175	● 10 Q \$	

全コントロール
72

class/course	length	cilmbs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
ME-AX	6.2	295	132	138	134	139	119	141	175	58	56	32	52	38	36	109	125	51	35	48	43	112	46	115
ME-AY	6.1	300	132	138	137	139	59	141	175	58	56	32	52	38	103	116	125	51	35	48	43	112	46	115
ME-AZ	6	290	132	138	131	139	44	141	175	58	56	32	52	38	103	109	125	51	35	48	43	112	46	115
ME-BX	6.1	295	129	138	134	139	119	141	175	58	127	52	38	36	109	125	51	35	48	42	112	46	115	
ME-BY	6.1	300	129	138	137	139	59	141	175	58	127	52	38	103	116	125	51	35	48	42	112	46	115	
ME-BZ	6	290	129	138	131	139	44	141	175	58	127	52	38	103	109	125	51	35	48	42	112	46	115	
ME-CX	6.2	300	135	138	134	139	119	141	175	58	102	52	38	36	109	125	51	35	48	42	106	46	115	
ME-CY	6.1	305	135	138	137	139	59	141	175	58	102	52	38	103	116	125	51	35	48	42	106	46	115	
ME-CZ	6	295	135	138	131	139	44	141	175	58	102	52	38	103	109	125	51	35	48	42	106	46	115	
WE-AX	4.1	225	133	140	119	141	175	117	121	54	31	105	125	51	35	48	49	101	143	115				
WE-AY	4	230	133	140	119	141	175	45	121	54	37	53	125	51	35	48	49	101	143	115				
WE-AS	2.8	150	133	140	119	141	175	45	125	51	35	48	49	101	143	115								
WE-BX	4.1	225	136	140	44	141	175	117	121	54	31	105	125	51	35	48	49	101	143	115				
WE-BY	4.1	230	136	140	44	141	175	45	121	54	37	53	125	51	35	48	49	101	143	115				
WE-BS	2.8	150	136	140	44	141	175	45	125	51	35	48	111	101	143	115								
WE-CX	4.1	230	130	140	59	141	175	117	121	54	31	105	125	51	35	48	49	101	55	115				
WE-CY	4	235	130	140	59	141	175	45	121	54	37	53	125	51	35	48	49	101	55	115				
WE-CS	2.8	155	130	140	59	141	175	45	125	51	35	48	49	101	55	115								
MUR/ORL/OSL-A	3.3	180	118	141	57	42	108	40	104	142	51	123	33	124	115									
MUR/ORL-B	3.3	175	151	141	57	42	108	39	104	110	51	123	114	124	115									
MUR/ORL-C	3.3	170	100	141	57	42	107	39	104	142	51	123	128	124	115									
WUR/XUR/ORS/OSS-A	2.2	120	118	120	141	47	113	110	51	123	33	124	115											
WUR/XUR/ORS-B	2.2	120	151	120	141	47	122	110	51	123	114	124	115											
WUR/XUR/ORS-C	2.2	110	100	120	141	47	113	142	51	123	128	124	115											
OFFICIAL	1.7	80	118	120	112	111	128	123	35	48	115													

8

ミドル選手権 A スタートリスト

- ・選手権 A のスタート時刻抽選は 3 月 7 日(金)の開会式で行いました。
- ・★印はシード選手です。

MEA 参加人数 54		
スタート時刻	氏名	学校・学年
11:45	閑 淳	東北大学 4
11:47	宮西 優太郎	東北大学 2
11:49	松澤 卓也	金沢大学 3
11:51	館野 瑞樹	東京大学 3
11:53	青木 洸則	北海道大学 3
11:55	澤口 弘樹	早稲田大学 1
11:57	久保田 雄起	東京大学 3
11:59	戸上 直哉	東京工業大学 2
12:01	堀 裕多	大阪大学 4
12:03	松本 佳也	北海道大学 3
12:05	橋場 良太	東北大学 2
12:07	佐藤 雄太郎	東北大学 2
12:09	福井 直樹	大阪大学 4
12:11	門口 昌宣	東北大学 3
12:13	福井 悠太	東京大学 2
12:15	糸賀 翔太	東京大学 3
12:17	石野 夏幹	東京大学 4
12:19	長谷部 達也	京都大学 3
12:21	古林 琢	東京工業大学 3
12:23	平野 弘幸	東北大学 4
12:25	田森 有好	東京大学 3
12:27	五百倉 大輔	京都大学 2
12:29	大井 真	東京大学 2
12:31	見目 裕之	東北大学 4
12:33	松下 瞳生	京都大学 3
12:35	小島 拓也	東京大学 3
12:37	岩田 健太郎	東京大学 3
12:39	原田 龍馬	東北大学 2
12:41	山本 遼平	新潟大学 3
12:43	★菅野 敬雅	東北大学 4
12:45	平木 達也	東京大学 3
12:47	祐谷 大輝	東京大学 2
12:49	新井 悠功	新潟大学 4
12:51	★尾崎 弘和	早稲田大学 3
12:53	石井 伸明	新潟大学 4
12:55	小倉 暁	京都大学 4
12:57	村田 祐貴	新潟大学 3
12:59	★細川 知希	名古屋大学 4
13:01	阿部 一樹	東北大学 4
13:03	堀江 悟	名古屋大学 4
13:05	高橋 純貴	新潟大学 4
13:07	★杉村 俊輔	東北大学 3
13:09	鈴木 蒼	京都大学 4
13:11	嶋岡 雅浩	名古屋大学 3
13:13	藤村 陸	早稲田大学 3
13:15	★細淵 晃平	一橋大学 4
13:17	長友 悠	東京大学 3
13:19	山本 淳史	東京大学 4
13:21	宇井 賢	京都大学 3
13:23	★真保 陽一	東京大学 4
13:25	渡仲 祥太	名古屋大学 4
13:27	前田 悠作	名古屋大学 4
13:29	高嶋 健伍	金沢大学 3
13:31	★深田 恒	東京大学 2

WEA 参加人数 24		
スタート時刻	氏名	学校・学年
11:46	小松 陽子	筑波大学 2
11:48	横山 理恵	金沢大学 4
11:50	星 美沙	柏山女学園大学 3
11:52	柳川 梢	筑波大学 4
11:54	千明 瑞希	横浜市立大学 3
11:56	中村 聖美	東北大学 4
11:58	齋藤 菜津美	宮城学院女子大学 3
12:00	名塚 晴香	新潟大学 3
12:02	田中 千晶	お茶の水女子大学 4
12:04	野島 貴子	京都女子大学 3
12:06	松田 沙也加	岩手大学 2
12:08	★大河内 恵美	横浜市立大学 4
12:10	渡邊 彩子	早稲田大学 3
12:12	伊東 瑞美子	東京大学 2
12:14	★守屋 舞香	柏山女学園大学 2
12:16	堀口 奈保	東北大学 4
12:18	關 明日香	岩手大学 4
12:20	★稻毛 日菜子	お茶の水女子大学 3
12:22	五味 あづさ	金沢大学 2
12:24	高田 奈緒	東京医科歯科大学 2
12:26	★高橋 美薫	岩手大学 4
12:28	山口 遼子	津田塾大学 3
12:30	小野 萌	岩手大学 3
12:32	★宮川 早穂	立教大学 2

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

9 成績

1 ミドル・ディスタンス競技部門

MEA 3.9 km ↑ 215 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	杉村 俊輔	東北大学 3	0:32:00
2	松下 睦生	京都大学 3	0:32:34
3	尾崎 弘和	早稲田大学 3	0:32:37
4	宮西 優太郎	東北大学 2	0:33:16
5	細川 知希	名古屋大学 4	0:33:19
6	深田 恒	東京大学 2	0:33:47
7	渡仲 祥太	名古屋大学 4	0:33:55
8	真保 陽	東京大学 4	0:34:23
9	糸賀 邦大	東京大学 3	0:34:49
10	関淳	東北大学 4	0:35:13
11	石野 夏幹	東京大学 4	0:35:24
12	福井 悠太	東京大学 2	0:35:36
13	原田 龍馬	東北大学 2	0:35:46
14	堀江 悟	名古屋大学 4	0:35:52
15	小島 拓也	東京大学 3	0:36:09
16	細淵 晃平	一橋大学 4	0:36:20
17	祐谷 大輝	東京大学 2	0:36:46
18	平野 弘幸	東北大学 4	0:37:05
19	山本 遼平	新潟大学 3	0:37:10
20	菅野 敏雅	東北大学 4	0:37:11
20	高橋 祐貴	新潟大学 4	0:37:11
22	嶋岡 雅浩	名古屋大学 3	0:37:33
23	前田 悠作	名古屋大学 4	0:37:38
24	小倉 賢	京都大学 4	0:38:11
25	藤村 陸	早稲田大学 3	0:38:33
26	松本 佳也	北海道大学 3	0:38:54
27	山本 淳史	東京大学 4	0:39:56
28	石井 伸明	新潟大学 4	0:40:08
29	松澤 卓也	金沢大学 3	0:40:34
30	阿部 一樹	東北大学 4	0:41:13
31	田森 有好	東京大学 3	0:41:15
32	福井 直樹	大阪大学 4	0:41:19
33	見目 裕之	東北大学 4	0:41:22
33	高嶋 健伍	金沢大学 3	0:41:22
35	門口 昌宣	東北大学 3	0:41:23
36	大井 真	東京大学 2	0:41:45
37	澤口 弘樹	早稲田大学 1	0:41:52
38	五百倉 大輔	京都大学 2	0:41:59
39	佐藤 雄太郎	東北大学 2	0:42:41
40	鈴木 蒼	京都大学 4	0:43:03
41	村田 祐貴	新潟大学 3	0:44:07
42	平木 達也	東京大学 3	0:44:41
43	橋場 良太	東北大学 2	0:44:45
44	長谷部 達也	京都大学 3	0:45:52
45	久保田 雄起	東京大学 3	0:46:16
46	青木 洋則	北海道大学 3	0:47:53
47	古林 琢	東京工業大学 3	0:48:39
48	岩田 健太郎	東京大学 3	0:48:55
49	戸上 直哉	東京工業大学 2	0:49:38
50	新井 悠功	新潟大学 4	0:50:00
51	長友 悠	東京大学 3	0:51:35
52	宇井 貢	京都大学 3	0:53:31
53	館野 瑞樹	東京大学 3	0:58:54
54	堀 裕多	大阪大学 4	1:09:17

WEA 2.9 km ↑ 170 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	宮川 早穂	立教大学 2	0:31:50
2	高橋 美瑠	岩手大学 4	0:32:09
3	横山 理恵	金沢大学 4	0:34:17
4	星 美沙	相模女子学園大学 3	0:34:50
5	大河内 恵美	横浜市立大学 4	0:34:51
6	松田 沙也加	岩手大学 2	0:36:53
7	柳川 梢	筑波大学 4	0:37:42
8	守屋 舞香	相模女子学園大学 2	0:38:37
9	小松 陽子	筑波大学 2	0:39:05
10	稻毛 白菜子	お茶の水女子大学 3	0:40:01
11	伊東 瑠美子	東京大学 2	0:40:35
12	小野 茗	岩手大学 3	0:41:24
13	渡邊 彩子	早稲田大学 3	0:41:42
14	山口 遼子	津田塾大学 3	0:42:40
15	野島 貢子	京都女子大学 3	0:44:12
16	齋藤 菜津美	宮城学院女子大学 3	0:46:31
17	五味 あすか	金沢大学 2	0:47:28
18	高田 奈緒	東京医科歯科大学 2	0:49:09
19	田中 千晶	お茶の水女子大学 4	0:49:45
20	千明 瑞希	横浜市立大学 3	0:53:03
21	中村 聖美	東北大学 4	0:54:29
22	堀口 奈保	東北大学 4	1:06:27
23	名塚 晴香	新潟大学 3	1:06:38
	關 明日香	岩手大学 4	DISQ

MEB 3.6 km ↑ 205 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	近藤 康満	名古屋大学 4	0:33:57
2	橋本 知明	東京大学 1	0:35:09
3	倉本 竜太	京都大学 4	0:35:52
4	野本 圭介	筑波大学 3	0:36:01
5	糸井川 壮太	京都大学 2	0:36:24
6	牧 宏優	名古屋大学 3	0:36:27
7	平野 大輔	名古屋大学 3	0:36:35
8	西村 駿	東京工業大学 1	0:36:38
9	小向 和希	岩手大学 3	0:36:49
10	小菅 一輝	京都大学 3	0:36:50
11	佐藤 順太	新潟大学 3	0:37:38
12	徳増 宏基	東京工業大学 3	0:38:00
13	吉江 一樹	千葉大学 4	0:38:43
14	大久保 宗典	東京大学 2	0:38:55
15	泰井 宙輝	東京大学 2	0:39:08
16	熊見 弘一	早稲田大学 2	0:39:32
17	渡辺 幸	山形大学 2	0:39:41
18	阿部 稲	東北大学 2	0:40:04
19	石山 良太	名古屋大学 1	0:40:07
20	関根 慧	早稲田大学 3	0:40:14
21	柄 晃裕	東京農工大学 4	0:40:30
22	折原 行希	東北大学 3	0:40:38
23	笠原 朋樹	関西大学 4	0:40:43
24	金 和也	金沢大学 4	0:40:44
25	猪俣 祐貴	東京大学 1	0:41:17
26	井倉 幹大	東京大学 1	0:41:21
27	松尾 遼	横浜市立大学 3	0:41:33
28	桜井 創	大阪大学 2	0:41:47
29	後藤 優輝	東北大学 2	0:41:58
30	森 一樹	金沢大学 2	0:42:05

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

31	坂口 祐生	大阪大学 4	0:42:08
32	北条 洋樹	静岡大学 4	0:42:30
33	津高 剛	大阪大学 4	0:42:41
34	小山 達之	駿河台大学 4	0:42:52
35	根本 直人	千葉大学 4	0:43:00
36	新谷 国隆	名古屋大学 4	0:43:04
37	岩切 泰和	神戸大学 1	0:43:31
38	小松 和輝	新潟大学 3	0:43:37
39	三浦 孝之	福島大学 2	0:43:49
40	佐藤 大典	東北大大学 4	0:44:11
41	清水 健司	新潟大学 2	0:44:35
42	鈴木 良広	東京大学 4	0:44:43
43	山下 晃右	静岡大学 4	0:45:02
44	中西 基裕	大阪大学 3	0:45:05
45	高橋 亮	東北大大学 4	0:45:08
46	相場 高平	東北大大学 3	0:45:10
47	山内 司	岩手大学 4	0:45:34
48	土田 俊泰	岩手県立大学 1	0:45:47
49	岡部 晋佑	大阪大学 2	0:45:51
50	衣川 浩輔	一橋大学 2	0:46:21
51	藤橋 涼	東北大大学 2	0:46:56
52	猪倉 陸	東北大大学 2	0:47:55
53	小松 宗輝	東北大大学 1	0:47:56
54	田中 基成	筑波大学 1	0:48:03
55	名倉 慎吾	横浜国大大学 2	0:48:23
56	鈴木 宏明	金沢大学 2	0:48:24
57	吉田 真悟	東京工業大学 3	0:48:44
58	辻上 裕之	東北大大学 4	0:49:12
59	上松 遼	一橋大学 2	0:50:49
60	中原 悠太	北里大学 2	0:51:35
61	後藤 孔要	筑波大学 3	0:51:37
62	高水 陽介	名古屋大学 2	0:51:50
63	樋口 広樹	岩手県立大学 3	0:52:41
64	丸山 朋樹	新潟大学 4	0:54:25
65	山口 敦貴	慶應義塾大学 1	0:54:33
66	石川 仁弥	名古屋大学 1	0:55:05
67	清水 敏太	東北大大学 1	0:57:22
68	今 正寛	金沢工業大学 1	1:00:50
69	長谷部 敏之	茨城大学 3	1:18:08
70	立川 大輝	関東学院大学 1	1:21:44

WEB 2.6 km ↑140 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	中村 由紀子	堀山女学園大学 4	0:32:21
2	福井 利子	新潟大学 4	0:32:47
3	荒井 清美	金沢大学 2	0:33:56
4	佐藤 あかね	堀山女学園大学 2	0:34:11
5	砂田 莉紗	横浜市立大学 2	0:35:17
6	多田 智美	岩手大学 3	0:36:07
7	松井 恵理子	名古屋大学 3	0:36:45
8	本間 実季	東北大大学 1	0:36:47
9	伊東 佑子	堀山女学園大学 2	0:37:09
10	熊野 ひとみ	京都女子大学 3	0:38:12
11	犬塚 千尋	津田塾大学 4	0:38:31
12	菅野 美里	福島大学 2	0:38:43
13	新坂 歩	東京農工大学 2	0:40:19
14	岩瀬 万実	実践女子大学 2	0:40:37
15	葭葉 歩未	東北大大学 2	0:40:46
16	森田 桜織	横浜市立大学 1	0:41:50
17	富家 遼子	横浜市立大学 4	0:42:03
18	武居 礼夏	千葉大学 3	0:42:34
19	郷田 侑希	奈良女子大学 2	0:43:26
20	上野 優	宮城学院女子大学 2	0:43:35
21	大賀 美見佳	相模女子大学 2	0:43:52
22	坂井 あんず	京都大学 4	0:43:54

23	市之瀬 春佳	日本女子大学 4	0:44:36
24	小野澤 清楓	群馬大学 1	0:45:57
25	小島 優	堀山女学園大学 4	0:47:12
26	本間 安莉	実践女子大学 3	0:47:30
27	伊藤 充紀	奈良女子大学 4	0:47:37
28	田中 圭	武蔵野大学 1	0:48:41
29	池嶋 美佳	金沢大学 4	0:52:40
30	井川 慧美	奈良女子大学 4	0:53:43
31	山岸 史佳	実践女子大学 4	0:58:48
32	尾形 奈津季	宮城学院女子大学 1	1:00:00
	細野 詩穂	茨城大学 4	DISQ
	阿部 ちひろ	大阪大学 2	DISQ

MUA1 2.6 km ↑150 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	村瀬 貴紀	筑波大学 2	0:22:20
2	島倉 侑志	金沢大学 2	0:24:29
3	川上 雅人	名古屋大学 3	0:25:33
4	安中 勇大	京都大学 3	0:26:12
5	當坂 康祐	京都大学 3	0:26:24
6	佐々木 克海	岩手大学 2	0:26:31
7	内藤 一平	京都大学 3	0:26:41
8	太田 裕士	京都大学 2	0:26:44
9	後藤 建	千葉大学 3	0:27:05
10	山口 雅弘	名古屋大学 2	0:28:07
11	和田 康佑	東北大大学 3	0:28:23
12	新粥 文哉	千葉大学 2	0:28:29
13	鎌山 純	東北大大学 3	0:28:47
14	河村 裕太	東京農工大学 2	0:29:01
15	山本 匠毅	名古屋大学 3	0:29:14
16	久須美 裕	新潟大学 2	0:29:23
17	青木 飛翔	東北大大学 2	0:29:28
18	乳井 草太	東北大大学 2	0:29:43
19	富田 英幸	千葉大学 4	0:29:58
20	栗栖 怜央	大阪大学 3	0:30:13
21	大坪 和貴	茨城大学 4	0:30:26
22	森 友宏	名古屋大学 2	0:30:54
23	二川 湧星	大阪大学 2	0:31:00
24	宮川 太志	北海道大学 3	0:31:24
25	泉 修平	北海道大学 2	0:31:26
26	石井 岳	慶應義塾大学 3	0:31:34
27	遠藤 彰	名古屋大学 2	0:31:40
28	井鍋 寛伸	東北大大学 3	0:32:01
29	金田 隆聖	静岡大学 2	0:32:03
30	畠野 哲明	早稲田大学 4	0:32:33
31	井上 憲輝	東北大大学 3	0:33:05
32	廣瀬 文明	大阪大学 3	0:33:35
33	高橋 稔弥	岩手大学 2	0:33:51
34	出口 真行	名古屋大学 4	0:34:14
35	向嶋 宏記	名古屋大学 3	0:34:34
36	増田 翔太	名古屋大学 2	0:34:54
37	野村 龍生	新潟大学 4	0:35:21
38	大沢 良太	静岡大学 4	0:36:30
39	小栗 真哉	茨城大学 3	0:36:50
40	荒明 遼一	名古屋大学 3	0:36:54
41	中野 真司	東京工業大学 3	0:37:14
42	小石原 噴	東京大学 4	0:37:30
43	山本 信彰	千葉大学 3	0:39:00
44	齋藤 拓也	名古屋大学 2	0:39:08
45	根岸 岳	東京工業大学 3	0:39:18
46	弓削田 権一	駿河台大学 3	0:39:21
47	今井 祐太	名古屋大学 2	0:39:25
48	島澤 勇人	新潟大学 4	0:39:37
49	北川 太一	神戸市外国語大学 2	0:39:59
50	田中 大貴	早稲田大学 4	0:40:40

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

51	片田 裕太	新潟大学 2	0:40:58
52	宮島 長太郎	名古屋大学 3	0:41:42
53	橋本 熏樹	名古屋大学 3	0:42:51
54	村吉 誠之	東京大学 2	0:42:56
55	橋本 英明	東北大 4	0:44:26
56	畠佐 豪記	名古屋大学 2	0:45:12
57	園田 一樹	静岡大学 3	0:45:21
58	佐藤 謙太	東京大学 2	0:45:33
59	川越 啓文	茨城大学 3	0:45:34
60	野口 宇宙	筑波大学 2	0:46:44
61	河野 浩典	早稻田大学 3	0:47:12
62	川村 佳愛	横浜市立大学 3	0:47:44
63	吉竹 淳人	静岡大学 2	0:48:33
64	林 俊太	東京大学 3	0:49:01
65	吉川 輝	東京工業大学 2	0:50:21
66	木村 友佳	長野工業高等専門学校 2	0:50:24
67	栗山 拓己	茨城大学 2	0:50:50
68	伊藤 和也	東北大 3	0:52:09
69	田村 祐馬	東北大 4	0:58:44
70	福田 元輝	横浜市立大学 3	1:02:36
71	清水 嶺之	京都大学 2	1:05:24
72	星野 朗広	名古屋大学 3	1:05:48
73	小林 功直	筑波大学 2	1:09:25
	橋内 勇一郎	東京農工大学 3	DISQ
	近藤 陽祐	新潟大学 4	DISQ
	岸 祥太郎	北海道大学 2	DISQ
	小川 丈彰	大阪大学 2	DISQ

36	田渕 棟二	早稻田大学 3	0:32:13
37	藏田 裕介	名古屋大学 2	0:32:29
38	仲田 宗平	大阪大学 2	0:32:51
39	横山 朋弘	北海道大学 3	0:33:08
40	矢吹 俊哉	東北大 4	0:33:43
40	増川 武志	東京農工大学 4	0:33:43
42	堀田 隼人	東京農工大学 2	0:33:55
43	横山 智裕	岩手大学 2	0:34:29
44	岩沢 翔平	早稻田大学 4	0:34:31
45	栗原 佑典	筑波大学 2	0:34:51
46	川岸 敏生	名古屋大学 2	0:34:58
47	藤田 宇	岩手大学 2	0:35:05
48	木間 光	筑波大学 4	0:35:09
49	堀野 太郎	大阪大学 2	0:35:50
50	小林 洋平	東北大 4	0:36:21
51	太田 明光	東北大 2	0:36:28
52	楠瀬 智己	大阪大学 2	0:37:28
53	末続 文正	横浜国立大学 2	0:38:08
54	依田 健志	福島大学 4	0:38:34
55	水本 駿介	横浜国立大学 2	0:38:47
56	小室 裕貴	福島大学 2	0:39:04
57	堀 淑司	名古屋大学 3	0:39:26
58	岡山 将也	名古屋大学 2	0:39:57
59	高橋 亮太	東北大 4	0:40:05
60	井口 翔太	京都大学 2	0:41:29
61	松山 聰史	名古屋大学 3	0:41:43
62	番場 葵	東北大 2	0:42:17
63	小川 裕太	東京農工大学 3	0:46:24
64	伊波 俊	静岡大学 4	0:47:06
65	水野 淳	東京工業大学 4	0:50:05
66	山田 康太	東北大 2	0:51:28
67	横山 大輔	東京工業大学 3	0:51:32
68	蛭田 善大	茨城大学 2	0:57:06
69	横山 凌靜	早稻田大学 4	1:01:19
	松島 真之	京都大学 2	DISQ
	中村 浩之	新潟大学 4	DISQ
	今野 直人	新潟大学 3	DISQ
	藤浦 圭一	横浜国立大学 2	DISQ
	望月 優希	静岡大学 2	DISQ
	石田 洋	大阪大学 2	DISQ
	蜂須賀 久晴	東京大学 3	DISQ
	柳澤 鷗太	名古屋大学 3	DISQ

MUA2 2.5 km ↑150 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	小山 健司	金沢大学 3	0:23:03
2	犬山 諒洋	横浜国立大学 3	0:23:43
3	勝原 大樹	岩手大学 2	0:24:02
3	昆野 郁	北海道大学 3	0:24:02
5	金野 隼希	岩手大学 2	0:24:05
6	大村 幸一郎	名古屋大学 2	0:24:06
7	小野 真嗣	京都大学 2	0:24:35
8	境沢 勇人	東北大 4	0:24:58
9	松井 俊	筑波大学 3	0:25:26
10	伊藤 陵	京都大学 2	0:25:45
11	増田 曜	金沢大学 2	0:25:54
12	稻葉 翔也	名古屋大学 2	0:25:56
13	鈴木 祥太	東北大 2	0:25:57
14	関根 桂介	一橋大学 2	0:26:33
15	加藤木 悠	東京農工大学 3	0:26:35
16	林 千尋	名古屋大学 2	0:26:36
17	村山 宗理	東京農工大学 3	0:26:51
18	馬場 泰光	静岡大学 2	0:27:50
19	牧野 達哉	東京大学 4	0:27:51
20	竹下 和希	筑波大学 3	0:27:52
21	中村 陽二	京都大学 4	0:28:35
22	齋藤 真	東北大 2	0:29:20
23	前田 卓哉	東北大 3	0:29:34
24	那須 佳祐	筑波大学 2	0:29:42
25	長洲 卓	早稻田大学 4	0:29:46
26	小柴 混平	筑波大学 2	0:30:25
27	伊藤 奎悟	京都大学 4	0:30:30
28	高橋 和輝	早稻田大学 2	0:30:37
29	小橋 正明	新潟大学 2	0:30:42
30	茂木 俊之	東北大 3	0:30:44
31	川崎 壮人	岩手大学 3	0:30:47
32	長谷部 量紀	名古屋大学 2	0:31:15
33	杉田 勤之助	大阪大学 2	0:31:19
34	高橋 建輔	新潟大学 4	0:31:48
35	榊原 健太	名古屋大学 2	0:32:08

MUA3 2.5 km ↑150 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	東 将央	横浜国立大学 2	0:22:41
2	濱田 佑	京都大学 2	0:22:58
3	渡邊 祐司	東北大 3	0:23:27
4	西本 昌史	東北大 3	0:24:07
5	斎藤 健太朗	東北大 2	0:24:28
6	小林 裕太	名古屋大学 3	0:24:41
7	森 泰二郎	東京大学 2	0:24:46
8	稻垣 淳斗	東北大 3	0:24:48
9	塙越 航	東京工業大学 3	0:25:35
10	五月女 貴平	東北大 3	0:25:52
11	木村 優治	新潟大学 2	0:25:55
12	木村 雄大	大阪大学 2	0:25:59
13	白石 祐太	北海道大学 2	0:26:23
14	穂崎 康良	名古屋大学 4	0:26:43
15	本山 翔太	横浜市立大学 2	0:26:48
16	町田 直樹	東北大 2	0:26:53
17	五十嵐 悠	東北大 3	0:27:03
18	松田 士郎	大阪大学 4	0:27:05
19	伊藤 悠葵	大阪大学 2	0:27:29
20	平井 伸治	東北大 2	0:27:53

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

21	笠間 悠輔	京都大学 2	0:28:07
22	木所 佑斗	東京工業大学 2	0:28:30
23	綱嶋 俊一	東北大大学 4	0:28:39
24	市谷 優太	東京農工大学 4	0:28:42
25	太田 晶久	一橋大学 3	0:28:47
26	高橋 遼	東京農工大学 3	0:29:01
27	大川 貴聖	東北大大学 2	0:29:11
28	坂本 泰一	東京農工大学 2	0:29:41
29	松井 俊樹	京都大学 2	0:29:54
30	鈴木 豪仁	名古屋大学 3	0:30:20
31	三上 琳皇	茨城大学 3	0:30:23
32	高橋 和弘	北海道大学 2	0:30:29
33	石川 智之	大阪大学 2	0:30:36
34	飯島 隼人	横浜市立大学 2	0:30:41
35	佐藤 大樹	東京工業大学 3	0:30:54
36	藤井 邦俊	東京農工大学 3	0:31:16
37	赤尾津 翔大	東北大大学 3	0:31:23
38	春日 直也	金沢大学 2	0:31:43
38	武田 憎	名古屋大学 2	0:31:43
40	中林 祥基	大阪大学 2	0:32:11
41	河井 航	東北大大学 3	0:32:32
42	柳沢 稜	早稲田大学 2	0:32:44
43	横井 和樹	筑波大学 4	0:33:11
44	山崎 健太郎	東北大大学 3	0:33:45
45	南 勇太	東京農工大学 2	0:34:10
46	小室 祐貴	新潟大学 3	0:34:50
47	長坂 侑亮	東京工業大学 4	0:35:03
48	大坂 久登	東北大大学 3	0:36:05
49	大倉 辰興	東京工業大学 3	0:36:29
50	岩尾 朋洋	東京大学 3	0:36:54
51	勝間田 駿	茨城大学 2	0:37:00
52	朝野 桂太	京都大学 2	0:37:12
53	石澤 衛	岩手大学 2	0:37:13
54	村川 拓也	東京大学 2	0:37:44
55	山下 晋平	慶應義塾大学 2	0:37:48
56	山岡 由和	東北大大学 3	0:38:18
57	原田 崇史	静岡大学 2	0:38:56
58	横田 幸也	新潟大学 3	0:39:17
59	祖父江 佑斗	京都大学 2	0:39:35
60	杉山 泰斗	名古屋大学 2	0:40:52
61	加藤 拓	東北大大学 3	0:41:21
62	石坂 勇人	静岡大学 2	0:42:02
63	豊永 恒平	東京工業大学 4	0:45:29
64	戸田 篤希	静岡大学 2	0:46:55
65	中港 信之介	千葉大学 2	0:46:56
66	茂木 大介	東北大大学 3	0:47:09
67	宗本 健太郎	名古屋大学 3	0:49:12
68	加賀美 智史	東北大大学 3	0:49:16
69	天羽 光介	千葉大学 2	1:14:26
	今井 健人	名古屋大学 2	DISQ
	高橋 秀明	金沢大学 2	DISQ
	坂田 真	東北大大学 2	DISQ
	仲野 雄大	東北大大学 3	DISQ
	春原 広河	東北大大学 2	DISQ
	南條 広記	東北大大学 4	DISQ
	小山 智弥	金沢大学 3	DISQ

MUB 2.0 km ↑90 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	大宮 尚貴	横浜国立大学 3	0:17:54
2	佐々木 裕一	東北大大学 2	0:19:00
3	室田 健人	東京大学 4	0:23:55
4	小池 拓真	新潟大学 2	0:29:25
5	大西 健夫	名古屋大学 4	0:33:18
6	藤原 吉高	一橋大学 4	0:34:05
7	渡辺 登	駿河台大学 4	0:37:26
8	山田 晃司	静岡大学 4	0:43:34
9	中村 爽太	電気通信大学 2	1:05:06
	池田 航也	電気通信大学 2	DISQ

MUF1 2.1 km ↑110 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	滝川 真弘	東北大大学 1	0:15:07
2	菅野 栄斗	新潟大学 1	0:15:56
3	葛野 力	京都大学 1	0:16:56
4	橋本 正毅	東北大大学 1	0:17:14
5	半沢 守	東北大大学 1	0:17:15
6	田口 茂樹	岩手大学 1	0:17:23
7	橋本 航汰	東北大大学 1	0:17:40
8	樋口 圭祐	名古屋大学 1	0:17:48
9	牧内 祐介	京都大学 1	0:18:24
10	高野 桀人	東北大大学 1	0:19:22
11	吉崎 薫登	静岡大学 1	0:19:38
12	吉野 拓海	新潟大学 1	0:20:32
13	小畑 祐介	金沢工業大学 1	0:20:50
14	佐藤 真悟	大阪大学 1	0:21:04
15	篠地 孝和	神戸大学 1	0:21:06
16	芳賀 太史	東京工業大学 1	0:21:09
17	田邊 京平	新潟大学 1	0:21:17
18	谷田 幸隆	筑波大学 1	0:21:19
19	海沼 修平	大阪大学 1	0:21:24
20	橋本 修志	京都大学 1	0:21:58
21	小室 慎也	東北大大学 1	0:22:27
22	田村 明宏	早稲田大学 1	0:22:42
23	犬塚 真太郎	早稲田大学 1	0:22:43
24	細 正隆	東北大大学 1	0:23:01
25	田中 求	金沢大学 1	0:23:10
26	尾形 季彦	岩手大学 1	0:23:16
27	田中 悠	慶應義塾大学 1	0:23:18
28	日隈 友也	東北大大学 1	0:23:20
29	彦坂 諭志	名古屋大学 1	0:23:47
30	佐藤 弘基	福島大学 1	0:24:07
31	細川 公平	東京工業大学 1	0:24:16
32	村木 拓眞	慶應義塾大学 1	0:24:22
33	橋 孝祐	横浜国立大学 1	0:24:26
34	池田 慧	名古屋大学 1	0:24:46
34	前田 悠佑	名古屋大学 1	0:24:46
36	猪又 光太郎	東北大大学 1	0:24:49
37	熊谷 光起	名古屋大学 1	0:24:51
37	山崎 大輔	大阪大学 1	0:24:51
37	岡本 仁志	北海道大学 1	0:24:51
40	大田 拓穂	東京工業大学 1	0:25:17
41	清水 浩太	新潟大学 1	0:25:25
42	山口 雄太	東京大学 1	0:25:31
43	君成田 智裕	岩手大学 1	0:25:39
44	久保田 将行	東京農工大学 1	0:25:42
45	稻田 優幸	茨城大学 1	0:25:44
46	田中 大貴	一橋大学 1	0:25:50
47	佐藤 充晃	名古屋大学 1	0:25:54
48	大神 優祐	京都大学 1	0:26:05
49	下村 怜	東京農工大学 1	0:27:42

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

50	上田 聖也	筑波大学 1	0:27:46
51	前中 健人	東京大学 1	0:28:00
52	中浴 広樹	千葉大学 1	0:28:21
53	井上 裕義	金沢大学 1	0:28:23
54	伊坂 太一	茨城大学 1	0:29:17
55	河井 悠佑	名古屋大学 1	0:29:57
56	岩崎 郷史	金沢大学 1	0:30:01
57	松本 拓也	名古屋大学 1	0:31:01
58	天沼 博耀	岩手大学 1	0:31:53
59	榎本 有作	千葉大学 1	0:31:59
60	伊藤 健太	岩手大学 1	0:32:28
61	長谷川 充	東京農工大学 1	0:32:40
62	佐藤 建志	東北大学 1	0:33:13
63	尾崎 公亮	岩手大学 1	0:33:44
64	北村 優志	金沢工業大学 1	0:34:46
65	藤田 真汐	静岡大学 1	0:35:30
66	小口 拓海	北里大学 1	0:35:54
67	廣木 幹太	京都大学 1	0:36:35
68	岡田 悠馬	茨城大学 1	0:38:08
69	佐東 一輝	千葉大学 1	0:38:10
70	松本 直大	筑波大学 1	0:57:11
71	榎 智弘	一橋大学 1	1:11:28
	太田 好洋	岩手大学 1	DISQ
	松本 崇志	東京農工大学 1	DISQ
	寺田 侑司	静岡大学 1	DISQ

MUF2 2.1 km ↑110 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	栗本 開	東京大学 1	0:17:06
2	竹内 孝	京都大学 1	0:17:29
3	野崎 信介	金沢大学 1	0:18:25
4	段塚 裕貴	名古屋大学 1	0:18:47
5	三上 剛弘	東京工業大学 1	0:18:55
6	大川 拓哉	東北大学 1	0:18:56
7	浅井 迅馬	京都大学 1	0:19:03
8	中里 優理	東京農工大学 1	0:19:15
9	実藤 俊太	京都大学 1	0:19:26
10	天野 良樹	京都大学 1	0:19:52
11	大野 貴紀	横浜国大 1	0:19:56
12	横田 望	筑波大学 1	0:19:59
12	田島 和明	筑波大学 1	0:19:59
14	秋山 周平	大阪大学 1	0:20:06
15	遠藤 駿典	名古屋大学 1	0:21:05
16	林 浩平	筑波大学 1	0:21:22
17	木村 晃世	名古屋大学 1	0:21:25
18	大西 正倫	東京大学 1	0:21:56
19	山内 崇弘	名古屋大学 1	0:22:12
20	鈴木 拓弥	京都大学 1	0:22:37
21	荒若 潤哉	千葉大学 1	0:22:39
22	土川 翔伍	京都大学 1	0:22:42
23	秦 大樹	東京大学 1	0:22:52
24	塚澤 謙士郎	岩手県立大学 1	0:23:06
25	明石 孝平	千葉大学 1	0:23:08
26	乙部 博章	東北大学 1	0:23:10
27	牧野 剛士	千葉大学 1	0:23:28
28	村杉 英昭	東北大学 1	0:23:30
29	照井 雄大	東北大学 1	0:23:31
30	木島 佑輔	東京大学 1	0:23:33
31	本多 貴祐	名古屋大学 1	0:23:39
32	瀬尾 峻汰	京都大学 1	0:23:57
33	小泉 知貴	慶應義塾大学 1	0:24:25
34	加藤 健太	東北大学 1	0:24:35
35	神谷 周作	名古屋大学 1	0:25:14
36	稻吉 勇人	名古屋大学 1	0:25:20
37	村上 拓哉	千葉大学 1	0:25:36

38	山下部 諒	東京工業大学 1	0:25:52
39	福澤 佑哉	名古屋大学 1	0:26:02
40	柏本 雄士朗	大阪大学 1	0:26:18
41	羽山 恭平	京都大学 1	0:26:26
42	滝澤 紳	北海道大学 1	0:26:31
43	佐々木 聰	北海道大学 1	0:27:00
44	長塚 啓悟	名古屋大学 1	0:27:33
45	桑原 大樹	東京大学 1	0:27:41
46	榎原 啓人	北海道大学 1	0:27:45
47	藤瀬 翔太	金沢工業大学 1	0:27:55
48	見目 慧秋	早稲田大学 1	0:28:07
49	中西 侑人	金沢工業大学 1	0:28:25
50	三本杉 武大	福島大学 1	0:29:35
51	庄司 大輔	福島大学 1	0:29:40
52	伊藤 雅哉	東北大学 1	0:30:22
53	松岡 慧	名古屋大学 1	0:32:23
54	相馬 智敦	福島大学 1	0:32:51
54	久世 大城	福島大学 1	0:32:51
56	木下 貴裕	筑波大学 1	0:33:39
57	砂原 和允	東京工業大学 1	0:34:11
58	林 龍之介	北海道大学 1	0:34:20
59	高久 匠	岩手大学 1	0:37:11
60	吉川 拓寿	東北大学 1	0:38:12
61	磯山 高志	東京農工大学 1	0:38:16
62	野中 豪仁	電気通信大学 1	0:39:06
63	菅原 涼太	岩手大学 1	0:39:48
64	濱 健一郎	東京農工大学 1	0:45:18
65	佐藤 大心	筑波大学 1	0:54:22
66	久保田 詩也	新潟大学 1	0:57:12
67	芦崎 衡	金沢工業大学 1	0:57:24
68	大宮 雅智	横浜市立大学 1	1:00:15
69	足立 将城	名古屋大学 1	1:09:42
	小栗 淳之介	静岡大学 1	DISQ
	大竹 達也	金沢大学 1	DISQ

WUA 2.0 km ↑110 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	鹿志村 美帆	東北大学 4	0:22:30
2	山田 陽子	早稲田大学 3	0:22:45
3	大関 幸織	新潟大学 4	0:22:54
4	松岡 里沙	金沢大学 3	0:23:55
5	鈴木 彩心	東京農工大学 2	0:24:46
6	藤原 智晴	実践女子大学 4	0:24:55
7	野澤 麻乃	金沢大学 3	0:25:07
8	呂田 優花	筑波大学 2	0:25:18
9	根岸 真衣子	筑波大学 4	0:26:01
10	豊澤 香澄	相模女子大学 2	0:26:15
11	山梨 茜	金沢大学 2	0:26:23
12	磯田 みつき	実践女子大学 4	0:27:18
13	藤 美加子	堀山女学園大学 3	0:28:01
14	佐藤 望	十文字学園女子大学 3	0:28:13
15	大井 綾	京都女子大学 3	0:28:16
16	菊地 健美	宮城学院女子大学 2	0:28:20
17	大橋 朋未	日本女子大学 3	0:28:22
18	前之園 知江	京都女子大学 3	0:28:35
19	渡邊 彩香	東北大学 4	0:28:38
20	松下 未来	東京農工大学 4	0:28:54
21	田村 美香	津田塾大学 3	0:28:55
21	内海 春菜	宮城学院女子大学 2	0:28:55
23	西澤 奈美	京都大学 2	0:29:10
24	板倉 理夏	十文字学園女子大学 3	0:29:29
25	八十島 桑	京都女子大学 3	0:29:49
26	大塚 千夏子	東京農工大学 3	0:29:51
27	菅野 仁美	福島大学 2	0:29:57
28	樋口 みゆき	奈良女子大学 4	0:30:06

29	小山 奈月	お茶の水女子大学 2	0:30:16
30	横戸 歩美	実践女子大学 3	0:30:51
31	神谷 玲花	堀山女子学園大学 2	0:31:02
32	不破 美沙	新潟大学 2	0:31:09
33	輿 織江	金沢大学 2	0:31:26
34	伊藤 沙恵	堀山女子学園大学 2	0:31:51
35	増田 美穂子	奈良女子大学 2	0:32:01
36	海福 朋子	津田塾大学 2	0:32:02
37	横山 莉沙	堀山女子学園大学 2	0:32:18
38	石井 明子	実践女子大学 2	0:32:21
39	岡 礼華	千葉大学 3	0:32:34
40	千葉 史子	実践女子大学 2	0:33:08
41	関東 夏樹	福島大学 2	0:33:16
42	千葉 聰美	宮城学院女子大学 2	0:33:26
43	渡辺 菜央美	名古屋大学 2	0:34:00
44	小島 菜帆	堀山女子学園大学 3	0:34:08
45	藤田 更	千葉大学 2	0:34:24
46	吉田 あかり	堀山女子学園大学 3	0:34:28
47	大島 風子	奈良女子大学 4	0:34:30
48	加地 沙綾子	堀山女子学園大学 4	0:34:37
49	福吉 桜子	十文字学園女子大学 4	0:34:48
50	下川 千春	奈良女子大学 2	0:35:05
51	井上 望	一橋大学 2	0:35:42
52	上杉 早有美	実践女子大学 2	0:35:46
53	魚住 詩織	堀山女子学園大学 4	0:36:00
54	星島 志保	堀山女子学園大学 2	0:36:38
55	毛塚 智晶	奈良女子大学 2	0:36:50
56	林 梨花	実践女子大学 4	0:36:52
57	調 歩美	相模女子大学 2	0:37:02
58	島田 紀子	奈良女子大学 3	0:38:12
59	大沼 春香	宮城学院女子大学 3	0:38:37
59	横井 里美	堀山女子学園大学 2	0:38:37
61	河越 奈沙	東京工業大学 3	0:38:49
62	榎本 梨乃	実践女子大学 3	0:39:01
62	堀山 えり	実践女子大学 3	0:39:01
64	田畠 柚紀子	千葉大学 2	0:39:03
65	西垣 裕希	堀山女子学園大学 2	0:39:36
66	澤口 綾	宮城学院女子大学 3	0:39:40
67	井原 梨衣奈	日本女子大学 2	0:40:13
68	山本 菜津美	宮城学院女子大学 3	0:40:57
69	伴 佳美	奈良女子大学 2	0:41:05
70	岩崎 彩香	相模女子大学 4	0:41:11
71	高橋 佳代	奈良女子大学 2	0:41:13
72	近都 有沙	奈良女子大学 3	0:41:23
73	今井 香澄	実践女子大学 3	0:41:28
74	四元 理香子	千葉大学 3	0:41:51
75	安田 理紗	宮城学院女子大学 3	0:42:43
76	藤井 美樹	奈良女子大学 2	0:42:49
77	伊藤 舞子	奈良女子大学 2	0:42:50
78	平井 はるな	千葉大学 2	0:43:23
79	佐々木 菜摘	宮城学院女子大学 2	0:44:17
80	平戸 優美	実践女子大学 4	0:45:33
81	守屋 好恵	実践女子大学 4	0:45:38
82	高橋 理恵	奈良女子大学 2	0:46:33
83	佐藤 友理	東北大学 4	0:46:41
84	筒井 緑生	堀山女子学園大学 4	0:48:23
85	早野 智音	日本女子大学 2	0:48:49
86	宮田 理紗	実践女子大学 4	0:49:32
87	阿部 恭子	宮城学院女子大学 3	0:49:42
88	玉井 亜里沙	堀山女子学園大学 2	0:52:10
89	大井川 仁美	奈良女子大学 3	0:53:31
90	秋吉 美里	津田塾大学 4	0:54:07
91	井上 アカリ	堀山女子学園大学 3	0:59:09
92	杉浦 春菜	堀山女子学園大学 3	1:01:38
93	秋原 夏生	千葉大学 2	1:03:48
94	荻原 美乃莉	実践女子大学 2	1:06:43

95	今野 夏好	宮城学院女子大学 2	1:06:57
96	清水 花菜	相模女子大学 3	1:17:40
WUB 1.5 km ↑75 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	新井 智夏	お茶の水女子大学 2	0:21:31
2	板澤 李子	岩手県立大学 3	0:25:48
3	平井 可奈子	相模女子大学 4	0:26:11
4	横田 愛実	岩手県立大学 3	0:32:19
5	黒木 結花	津田塾大学 2	0:33:02
6	熊野 恒子	津田塾大学 2	0:37:43
7	氏家 円佳	岩手県立大学 2	0:40:17
8	藤澤 優	岩手県立大学 3	0:46:55
	有賀 奈津美	津田塾大学 2	DISQ
WUF 1.5 km ↑70 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	川島 実紗	名古屋大学 1	0:14:22
2	針生 佳奈	宮城学院女子大学 1	0:15:39
3	斎藤 里紗	岩手大学 1	0:15:55
4	土田 美和	横浜市立大学 1	0:16:06
5	木村 史依	金沢大学 1	0:16:13
6	帶金 未歩	大阪大学 1	0:16:54
7	松島 彩夏	立教大学 1	0:17:13
8	但木 香澄	堀山女子学園大学 1	0:17:31
9	八田 秋奈	実践女子大学 1	0:18:16
10	大友 花菜子	宮城学院女子大学 1	0:18:17
11	石神 愛海	実践女子大学 1	0:18:34
12	藤田 麻矢	岩手大学 1	0:18:59
13	梶原 裕希	東京大学 1	0:19:13
14	中村 茉菜	早稲田大学 1	0:19:25
14	保坂 拡香	宮城学院女子大学 1	0:19:25
16	吉岡 梨花子	北海道大学 1	0:19:30
17	山崎 祐実	相模女子大学 1	0:19:57
18	西方 美羽	北海道大学 1	0:20:05
19	田中 なみ	堀山女子学園大学 1	0:20:09
20	井上 佳南	奈良女子大学 1	0:20:21
20	田代 あゆみ	東京農工大学 1	0:20:21
22	寺沢 花	相模女子大学 1	0:20:23
23	佐藤 祐香	京都大学 1	0:20:28
24	竹之内 里咲	津田塾大学 1	0:20:31
25	大山 祐未	実践女子大学 1	0:20:34
26	中村 里奈	筑波大学 1	0:20:54
27	石野 陽子	京都大学 1	0:21:23
28	久保 実穂子	堀山女子学園大学 1	0:21:25
29	東又 みのり	京都女子大学 1	0:21:27
30	堀内 かほる	東京農工大学 1	0:21:30
31	七夕 あかり	千葉大学 1	0:21:57
32	八重柏 美緒	千葉大学 1	0:22:28
33	藏並 祥子	横浜市立大学 1	0:22:30
34	市場 彩花	東京農工大学 1	0:22:32
35	平入 麻衣	横浜市立大学 1	0:22:33
35	椎名 麻美	茨城大学 1	0:22:33
37	新井 梨子	東北大学 1	0:22:55
38	田中 美穂	相模女子大学 1	0:22:58
39	直井 明香	筑波大学 1	0:23:16
40	曾木 泉美	堀山女子学園大学 1	0:23:28
41	土池 佳那	実践女子大学 1	0:23:32
42	山田 祐理子	奈良女子大学 1	0:23:54
43	武田 紗知	東京農工大学 1	0:24:22
44	小川 莉乃	茨城大学 1	0:25:22
45	鈴木 咲帆	お茶の水女子大学 1	0:25:44
46	成田 真優	宮城学院女子大学 1	0:26:04
47	立目 美栄	東京農工大学 1	0:26:34

目次

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

48	有尾 実紗	相模女子大学 1	0:26:47
49	日比野 司奈子	奈良女子大学 1	0:27:45
50	鈴木 明日香	宮城学院女子大学 1	0:27:51
51	野田 桃子	大阪大学 1	0:27:58
51	平渡 友理	奈良女子大学 1	0:27:58
53	大石 真唯	宮城学院女子大学 1	0:28:18
54	増田 七彩	東京大学 1	0:28:37
55	林 奈々	相模女子大学 1	0:28:40
56	稻垣 亜希乃	東京農工大学 1	0:28:42
57	和田 郁佳	実践女子大学 1	0:28:56
58	満井 唯奈	武蔵野大学 1	0:29:08
59	久保 志穂子	堀山女子学園大学 1	0:29:16
60	藤井 奏子	岩手県立大学 1	0:29:20
61	小谷 麻緒	奈良女子大学 1	0:29:30
62	中口 典子	京都女子大学 1	0:29:48
63	門口 実加	津田塾大学 1	0:29:51
64	番匠 遥	京都女子大学 1	0:30:04
65	野内 瑞生	奈良女子大学 1	0:30:10
66	笛木 充穂	十文字学園女子大学 1	0:30:16
67	中神 志穂	岩手大学 1	0:30:29
68	多田 泰子	奈良女子大学 1	0:30:44
69	中村 友香	名古屋大学 1	0:31:39
70	山本 邙香	津田塾大学 1	0:32:38
71	小村 彩葵	実践女子大学 1	0:33:00
72	飯塚 えりか	十文字学園女子大学 1	0:33:15
73	岡野 仁美	十文字学園女子大学 1	0:33:18
74	程 紀嘉	東京農工大学 1	0:34:12
75	熊谷 美幸	福島大学 1	0:35:36
76	星 萌華	宮城学院女子大学 1	0:38:26
77	小林 佳奈	愛知淑徳大学 1	0:39:39
78	竹内 美樹	堀山女子学園大学 1	0:39:44
79	黒宮 綾子	堀山女子学園大学 1	0:41:07
80	西條 志歩	宮城学院女子大学 1	0:41:54
81	千葉 みづ季	相模女子大学 1	0:47:57
82	曾根 ちあき	相模女子大学 1	0:48:32
83	中丸 祝子	実践女子大学 1	0:51:46
84	宇佐見 里緒菜	堀山女子学園大学 1	0:53:14
85	谷口 由実	十文字学園女子大学 1	1:26:40
	中山 静来	茨城大学 1	1:30:33
	平川 百佳	北里大学 1	DISQ
	村上 莉沙	津田塾大学 1	DISQ
	佐藤 加奈子	宮城学院女子大学 1	DISQ
	中島 希実	堀山女子学園大学 1	DISQ
	岩井 真恵美	宮城学院女子大学 1	DISQ

2 リレー競技部門

ME 6.0 - 6.2 km ↑290 - 300 m

			石野 夏幹	糸賀 翔大	真保 陽一	
1	東京大学	2:27:28	ME-CY (2)	0:52:26 4男	0:49:03 3 3男	0:45:59 1 4男
	名古屋大学	2:29:11	渡仲 祥太	ME-BX (3)	0:49:02 4男	0:44:55 2 4男
2	早稲田大学	2:34:10	澤口 弘樹	ME-AZ (8)	0:52:00 1男	0:55:14 1 4男
3	京都大学	2:35:12	倉本 竜太	ME-CY (5)	0:52:27 4男	0:52:03 1 3男
4	一橋大学	2:47:07	太田 晶久	ME-AX (4)	0:53:41 3男	0:44:55 1 2男
5	東京工業大学	2:51:37	古林 琢	ME-AY (9)	0:52:41 3男	0:52:03 1 3男
6	金沢大学	2:56:41	高嶋 健伍	ME-CX (7)	0:54:30 3男	0:44:55 1 2男
7	新潟大学	2:59:37	石井 伸明	ME-BX (10)	1:08:23 4男	0:44:55 1 3男
8	大阪大学	3:12:31	福井 直樹	ME-AY (11)	1:08:23	0:44:55 1 3男
9	北海道大学	3:15:00	松本 佳也	ME-AZ (12)	0:59:47 3男	0:44:55 1 3男
10	千葉大学	3:15:07	後藤 建	ME-AX (14)	1:03:50 3男	0:44:55 1 3男
11	東北大学	3:21:59	藤橋 涼	ME-BZ (1)	1:21:22 2男	0:44:55 1 3男
12	横浜国立大学	3:36:35	橘 孝祐	ME-BY (15)	1:13:37 1男	0:44:55 1 3男
13	岩手大学	3:44:32	藤原 大樹	ME-CY (19)	1:03:54 2男	0:44:55 1 3男
14	横浜市立大学	4:13:06	飯島 隼人	ME-BX (6)	0:59:48 3男	0:44:55 1 3男
15	福島大学	4:15:26	佐藤 弘基	ME-AZ (31)	1:05:03 2男	0:44:55 1 3男
16	東京農工大学	4:16:08	依田 健志	ME-AY (17)	1:22:28 2男	0:44:55 1 3男
17	慶應義塾大学	4:24:40	柄 晃裕	ME-CX (18)	1:12:04 3男	0:44:55 1 3男
18	茨城大学	4:41:24	小栗 真哉	ME-AZ (20)	1:27:32 2男	0:44:55 1 3男
19	駿河台大学	4:52:38	弓削田 権一	ME-BZ (21)	1:27:07 3男	0:44:55 1 3男
20			4:41:24	ME-BX (21)	1:43:04 4男	0:44:55 1 3男
					4:52:38	0:44:55 20

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

	北里大学	平川 百佳	中原 悠太	小口 拓海			
	DISQ	ME-BY (33)	1:55:39 1女	8 ME-CX 22 2男	1:25:48 3:21:27	5 ME-AZ 21 1男	DISQ
	金沢工業大学	中西 侑人		小畠 祐介		今 正寛	
	DISQ	ME-CZ (32)	2:53:14 1男	8 ME-BY 23 1男	2:11:58 5:05:12	9 ME-AX 22 1男	DISQ
	筑波大学	田中 基成		野本 圭介		村瀬 貴紀	
	DISQ	ME-CZ (13)	1:24:42 1男	6 ME-AY 19 3男	DISQ	ME-BX 2男	1:04:57 4
	静岡大学	北条 洋樹		山下 恵右		金田 隆聖	
	DISQ	ME-CZ (16)	4男	ME-BX 4男	1:06:56	6 ME-AY 4男	1:28:08 5 2男

WE 4.0 - 4.1 km ↑ 225 - 235 m / 2.8 km ↑ 150 - 155 m

1	お茶の水女子大学 2:07:27 (56)	田中 千晶 WE-BY 4女	小山 奈月 1 WE-AS 2 2女	稻毛 日菜子 3 WE-CX 3 3女	0:38:01 2:07:27	1
2	横浜市立大学 2:15:00 (54)	千明 瑞希 WE-BX 3女	富家 遼子 1 WE-CS 1 4女	大河内 恵美 3 WE-AY 2 4女	0:47:13 2:15:00	3 2
3	堀山女学園大学 2:18:37 (89)	星 美沙 WE-AY 3女	小島 優 4 WE-BS 3 4女	守屋 舞香 1 WE-CX 1 2女	0:54:19 2:18:37	3 3
4	金沢大学 2:26:12 (53)	五味 あづさ WE-CX 2女	池嶋 美佳 4 WE-BS 5 4女	横山 理恵 2 WE-AY 5 4女	0:43:39 2:26:12	1 4
	立教・東京医科歯科混成 2:34:52 (91)	高田 奈緒 WE-CX 2女	松島 彩夏 5 WE-BS 6 1女	宮川 早穂 4 WE-AY 8 2女	0:45:48 2:34:52	2 5
5	新潟大学 2:41:21 (51)	福井 莉子 WE-AX 4女	不破 美沙 1 WE-CS 4 2女	大関 幸織 2 WE-BY 4 4女	1:02:35 2:41:21	6 6
6	東北大學 2:49:24 (57)	中村 聖美 WE-CX 4女	鹿志村 美帆 5 WE-AS 6 4女	堀口 奈保 6 WE-BY 6 4女	1:02:16 2:49:24	5 7
7	宮城学院女子大学 2:51:01 (58)	針生 佳奈 WE-AX 1女	菊地 健美 3 WE-BS 13 2女	斎藤 菜津美 3 WE-CY 11 3女	0:54:01 2:51:01	2 8
8	早稲田大学 2:51:14 (85)	山田 陽子 WE-BX 3女	中村 茉菜 7 WE-CS 18 1女	渡邊 彩子 1 WE-AY 13 3女	0:50:44 2:51:14	5 9
9	名古屋大学 3:03:07 (88)	川島 実紗 WE-AX 1女	渡辺 菜央美 2 WE-CS 8 2女	松井 恵理子 10 WE-BY 16 3女	0:57:56 3:03:07	2 10
10	奈良女子大学 3:06:40 (63)	郷田 侑希 WE-BY 2女	伊藤 充紀 3 WE-CS 9 4女	樋口 みゆき 5 WE-AX 10 4女	1:10:30 3:06:40	5 11
11	京都女子大学 3:07:28 (90)	前之園 知江 WE-AY 3女	熊野 ひとみ 7 WE-CS 15 3女	野島 貴子 6 WE-BX 14 3女	1:06:10 3:07:28	5 12
12	実践女子大学 3:07:51 (60)	山岸 史佳 WE-CY 4女	藤原 智晴 5 WE-AS 19 4女	本間 安莉 1 WE-BX 9 3女	1:12:59 3:07:51	6 13
13	津田塾大学 3:09:58 (55)	田村 美香 WE-AY 3女	犬塚 千尋 9 WE-CS 21 4女	山口 遼子 7 WE-BX 18 3女	0:57:32 3:09:58	3 14
14	京都大学 3:19:26 (62)	西澤 奈美 WE-BX 2女	内海 真弓 8 WE-CS 20 4女	坂井 あんず 4 WE-AY 17 4女	1:10:19 3:19:26	8 15

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

15	東京農工大学	鈴木 彩心		新坂 歩		松下 未来		
	3:19:27	WE-BX	1:02:39	4 WE-AS	0:45:26	5 WE-CY	1:31:22	6
(84)		2女	1:02:39	12 2女	1:48:05	7 4女	3:19:27	16
16	東京大学	増田 七彩		梶原 裕希		伊東 瑠実子		
	3:22:17	WE-AX	1:10:03	4 WE-BS	1:22:52	8 WE-CY	0:49:22	1
(83)		1女	1:10:03	17 1女	2:32:55	22 2女	3:22:17	17
17	日本女子大学	市之瀬 春佳		早野 智音		大橋 朋未		
	3:43:09	WE-BY	1:00:52	4 WE-CS	1:03:12	8 WE-AX	1:39:05	7
(61)		4女	1:00:52	10 2女	2:04:04	15 3女	3:43:09	18
18	福島大学	関東 夏樹		菅野 仁美		菅野 美里		
	3:47:58	WE-CX	1:32:41	8 WE-BS	0:58:39	6 WE-AY	1:16:38	10
(81)		2女	1:32:41	23 2女	2:31:20	21 2女	3:47:58	19
19	大阪大学	蒂金 未歩		野田 桃子		阿部 ちひろ		
	3:56:08	WE-AX	1:46:39	8 WE-BS	1:09:21	7 WE-CY	1:00:08	3
(64)		1女	1:46:39	24 1女	2:56:00	23 2女	3:56:08	20
20	十文字学園女子大学	板倉 理夏		佐藤 望		福吉 桜子		
	4:03:34	WE-CY	1:05:24	4 WE-BS	0:54:54	5 WE-AX	2:03:16	9
(65)		3女	1:05:24	14 3女	2:00:18	12 4女	4:03:34	21
21	相模女子大学	豊澤 香澄		大貫 芙見佳		山崎 祐実		
	4:18:31	WE-BX	1:24:45	9 WE-AS	0:54:46	7 WE-CY	1:59:00	7
(86)		2女	1:24:45	22 2女	2:19:31	19 1女	4:18:31	22
千葉大学	武居 礼夏	藤田 更				平井 はるな		
	DISQ	WE-CX	1:07:33	7 WE-AS	1:19:01	8 WE-BY	DISQ	
(59)		3女	1:07:33	16 2女	2:26:34	20 2女		
岩手大学	松田 沙也加	小野 萌				高橋 美薗		
	DISQ	WE-AY	1:02:25	6 WE-BS	DISQ	WE-CX	0:45:08	2
(52)		2女	1:02:25	11 3女		4女		
茨城大学	椎名 麻美	小川 茉乃				細野 詩穂		
	DISQ	WE-BY	DISQ	WE-CS	1:03:41	9 WE-AX	1:33:17	6
(87)		1女		1女		4女		
筑波大学	柳川 梓	宮田 優花				小松 陽子		
	DISQ	WE-CY	DISQ	WE-AS	0:42:53	4 WE-BX	0:56:17	2
(82)		4女		2女		2女		
北海道・群馬混成	西方 美羽	小野澤 清楓				吉岡 梨花子		
	DISQ	WE-CX	DISQ	WE-AS	0:39:31	2 WE-BY	1:18:07	7
(92)		1女		1女		1女		

MUR 3.3 km ↑ 170 - 180 m

1	東京大学MA	小島 拓也		深田 恒		福井 悠太		
	1:14:25	MUR-C	0:26:49	10 MUR-B	0:23:10	2 MUR-A	0:24:26	1
(156)		3男	0:26:49	7 2男	0:49:59	2 2男	1:14:25	1
2	東北大学MA	平野 弘幸		関 淳		菅野 敬雅		
	1:14:36	MUR-C	0:26:52	11 MUR-B	0:23:02	1 MUR-A	0:24:42	2
(105)		4男	0:26:52	8 4男	0:49:54	1 4男	1:14:36	2
3	東北大学MB	佐藤 雄太郎		西本 昌史		原田 龍馬		
	1:17:42	MUR-A	0:26:14	6 MUR-B	0:26:13	11 MUR-C	0:25:15	1
(106)		2男	0:26:14	6 3男	0:52:27	6 2男	1:17:42	3
4	東京大学MB	山本 淳史		大井 真		平木 達也		
	1:18:17	MUR-C	0:26:55	12 MUR-B	0:24:17	5 MUR-A	0:27:05	9
(157)		4男	0:26:55	9 2男	0:51:12	3 3男	1:18:17	4
5	京都大学MA	安中 勇大		糸井川 壮大		宇井 賢		
	1:18:25	MUR-B	0:25:29	8 MUR-C	0:25:47	3 MUR-A	0:27:09	10
(220)		3男	0:25:29	2 2男	0:51:16	5 3男	1:18:25	5
6	東京大学MC	祐谷 大輝		長友 悠		田森 宥好		
	1:19:48	MUR-B	0:25:11	7 MUR-A	0:26:04	5 MUR-C	0:28:33	17
(158)		2男	0:25:11	1 3男	0:51:15	4 3男	1:19:48	6
7	新潟大学MA	佐藤 颯太		新井 悠功		高橋 祐貴		
	1:20:54	MUR-A	0:26:02	4 MUR-C	0:31:21	34 MUR-B	0:23:31	3
(137)		3男	0:26:02	4 4男	0:57:23	14 4男	1:20:54	7

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

			半沢 守	橋本 正毅			滝川 真弘				
7	東北大学MO	1:20:54 (119) 新人	MUR-B 1男	0:25:59 0:25:59	9	MUR-A 3 1男	0:27:00 0:52:59	8	MUR-C 7 1男	0:27:55 1:20:54	14 7
9	名古屋大学MA	1:21:06 (193)	堀江 悟			嶋岡 雅浩			近藤 康満		
10	東京大学ME	1:21:15 (160) 新人	猪俣 祐貴			井倉 幹大			橋本 知明		
11	東北大学MM	1:23:55 (117)	境沢 勇人			佐藤 大典			見目 裕之		
12	京都大学MD	1:24:31 (223)	長谷部 達也			小倉 暢			鈴木 蒼		
13	東北大学MP	1:24:33 (120) 新人	清水 敬太			高野 祢人			照井 雄大		
14	東北大学MG	1:24:41 (111)	折原 行希			相場 高平			門口 昌宣		
15	東京大学MD	1:25:06 (159)	蜂須賀 久晴			岩田 健太郎			久保田 雄起		
16	東北大学MC	1:25:29 (107)	高橋 亮			辻上 裕之			阿部 一樹		
17	京都大学MC	1:27:29 (222)	小菅 一輝			伊藤 陵			當坂 康紘		
18	金沢大学MA	1:28:31 (135)	増田 晓			鈴木 宏明			島倉 侑志		
19	東京大学MI	1:28:44 (164)	森 泰二郎			大久保 宗典			泰井 宙輝		
20	東京大学MK	1:32:04 (166)	鈴木 良広			牧野 達哉			小石原 晖		
21	早稲田大学MA	1:32:14 (174)	関根 慧			柳沢 稜			畠野 哲明		
22	京都大学MF	1:32:16 (225)	MUR-C 3男	0:26:13 0:26:13	6	MUR-B 5 2男	0:35:09 1:01:22	67	MUR-A 28 4男	0:30:52 1:32:14	32 21
23	大阪大学MB	1:33:11 (214)	廣瀬 文明			栗栖 恵央			小野 真嗣		
24	北海道大学MA	1:33:17 (129)	白石 祐太			高橋 和弘			枚田 士郎		
25	京都大学MB	1:33:43 (221) 新人	MUR-B 1男	0:31:02 0:31:02	33	MUR-C 40 1男	0:30:05 1:02:17	27	MUR-C 30 1男	0:31:51 1:33:43	36 25
26	新潟大学MB	1:33:45 (138)	小橋 正明			清水 健司			丸山 朋樹		
27	東京工業大学MF	1:34:06 (185) 新人	MUR-B 1男	0:30:19 0:31:56	28	MUR-C 52 1男	0:33:22 0:59:18	46	MUR-A 21 1男	0:30:04 1:34:06	25 27
28	東北大学ML	1:34:28 (116)	芳賀 太史			西村 駿			三上 剛弘		
			坂田 真			齋藤 真			平井 伸治		
			MUR-A 2男	0:31:18 0:31:18	35	MUR-B 44 2男	0:31:28 1:02:46	40	MUR-C 32 2男	0:31:42 1:34:28	35 28

29	東北大學MV 1:35:28 (126)	渡邊 祐司 MUR-C 3男	0:30:16	25 MUR-B 31 3男	0:30:04 1:00:20	26 MUR-A 23 3男	0:35:08 1:35:28	54	
30	東京農工大學MA 1:36:55 (168)	加藤木 悠 MUR-B 3男	0:31:56 0:31:56	46 MUR-A 52 3男	0:28:38 1:00:34	18 MUR-C 24 4男	0:36:21 1:36:55	63	
31	名古屋大學MC 1:37:01 (195)	向嶋 宏記 MUR-C 3男	0:29:42 0:29:42	22 MUR-B 28 3男	0:26:38 0:56:20	12 MUR-A 10 2男	0:40:41 1:37:01	81	
32	一橋大學MA 1:37:16 (178)	閑根 桂介 MUR-B 2男	0:30:51 0:30:51	31 MUR-C 38 1男	0:31:16 1:02:07	33 MUR-A 29 2男	0:35:09 1:37:16	55	
33	筑波大學MA 1:37:41 (150)	竹下 和希 MUR-B 3男	0:29:12 0:29:12	19 MUR-A 22 3男	0:34:18 1:03:30	49 MUR-C 33 3男	0:34:11 1:37:41	49	
34	名古屋大學MF 1:39:11 (198)	荒明 遼一 MUR-A 3男	0:34:51 0:34:51	52 MUR-C 73 2男	0:30:21 1:05:12	26 MUR-B 35 2男	0:33:59 1:39:11	58	
35	京都大學MG 1:39:16 (226)	松井 俊樹 MUR-A 2男	0:32:04 0:32:04	41 MUR-C 56 2男	0:38:21 1:10:25	77 MUR-B 50 2男	0:28:51 1:39:16	17	
36	大阪大學MG 1:39:44 (219)	小川 丈彰 MUR-A 2男	0:31:39 0:31:39	37 MUR-B 48 2男	0:37:23 1:09:02	80 MUR-C 45 2男	0:30:42 1:39:44	31	
37	東北大學MQ 1:40:03 (121)	後藤 優輝 MUR-C 2男	0:29:07 0:29:07	21 MUR-B 21 2男	0:37:20 1:06:27	79 MUR-A 40 2男	0:33:36 1:40:03	47	
38	早稻田大學MB 1:40:06 (175)	熊見 弘一 MUR-A 2男	0:30:18 0:30:18	26 MUR-B 32 4男	0:36:53 1:07:11	75 MUR-C 43 4男	0:32:55 1:40:06	42	
39	名古屋大學MR 1:40:48 (210) 新人	石川 仁弥 MUR-C 1男	0:33:00 0:33:00	45 MUR-A 61 1男	0:36:01 1:09:01	60 MUR-B 44 1男	0:31:47 1:40:48	44	
40	東北大學MD 1:41:35 (108)	五月女 貴平 MUR-A 3男	0:34:37 0:34:37	50 MUR-C 69 3男	0:35:55 1:10:32	58 MUR-B 53 3男	0:31:03 1:41:35	34	
41	筑波大學ME 1:41:37 (154) 新人	田島 和明 MUR-B 1男	0:29:31 0:29:31	20 MUR-C 24 1男	0:36:09 1:05:40	61 MUR-A 36 1男	0:35:57 1:41:37	58	
42	千葉大學MA 1:41:40 (146)	新粥 文哉 MUR-C 2男	0:30:33 0:30:33	29 MUR-A 34 3男	0:35:51 1:06:24	57 MUR-B 39 3男	0:35:16 1:41:40	69	
43	新潟大學MC 1:43:55 (139) 新人	吉野 拓海 MUR-C 1男	0:37:43 0:37:43	74 MUR-A 88 1男	0:36:19 1:14:02	62 MUR-B 60 1男	0:29:53 1:43:55	24	
44	京都大學ME 1:43:57 (224)	内藤 一平 MUR-C 3男	0:32:57 0:32:57	44 MUR-B 60 4男	0:34:10 1:07:07	60 MUR-A 42 4男	0:36:50 1:43:57	66	
45	早稻田大學MC 1:44:19 (176)	高橋 和輝 MUR-C 2男	0:37:18 0:37:18	68 MUR-A 84 3男	0:33:09 1:10:27	46 MUR-B 51 4男	0:33:52 1:44:19	57	
46	京都大學MJ 1:46:18 (229) 新人	大神 優祐 MUR-C 1男	0:41:25 0:41:25	84 MUR-A 98 1男	0:30:20 1:11:45	27 MUR-B 56 1男	0:34:33 1:46:18	62	
47	横浜國立大學MB 1:46:23 (173)	大宮 尚貴 MUR-B 3男	0:31:53 0:31:53	45 MUR-A 50 2男	0:34:12 1:06:05	48 MUR-C 38 2男	0:40:18 1:46:23	81	
48	名古屋大學MT 1:46:55 (212) 新人	熊谷 光起 MUR-B 1男	0:34:02 0:34:02	59 MUR-C 67 1男	0:36:48 1:10:50	65 MUR-A 54 1男	0:36:05 1:46:55	61	

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

			河井 航		仲野 雄大		大坂 久登		
49	東北大学MF	1:49:18 (110)	MUR-B 3男	0:30:53 0:30:53	32 MUR-A 39 3男	0:42:08 1:13:01	85 MUR-C 59 3男	0:36:17 1:49:18	62 49
50	東北大学MU	1:49:34 (125)	MUR-C 2男	0:36:00 0:36:00	59 MUR-B 78 2男	0:40:39 1:16:39	93 MUR-A 66 2男	0:32:55 1:49:34	44 50
51	名古屋大学MI	1:49:38 (201)	榎原 健太 2男	0:35:51 0:35:51	72 MUR-A 77 2男	0:39:11 1:15:02	77 MUR-C 64 1男	0:34:36 1:49:38	51 51
52	静岡大学MA	1:49:44 (189)	原田 崇史 2男	0:39:21 0:39:21	86 MUR-A 93 2男	0:30:50 1:10:11	31 MUR-C 47 4男	0:39:33 1:49:44	80 52
52	東北大学ME	1:49:44 (109)	高橋 亮太 4男	0:34:41 0:34:41	64 MUR-A 71 4男	0:37:22 1:12:03	69 MUR-C 57 4男	0:37:41 1:49:44	73 52
54	大阪大学MD	1:50:22 (216)	石川 智之		石田 洋		二川 淳星		
55	横浜国立大学MA	1:50:33 (172)	名倉 慎吾 2男	0:28:37 0:28:37	18 MUR-A 18 2男	0:38:26 1:07:03	75 MUR-B 41 2男	0:43:19 1:50:22	97 54
56	筑波大学MB	1:50:42 (151)	谷田 幸隆		木間 光		横井 和樹		
57	新潟大学MF	1:51:33 (142)	高橋 建輔 4男	0:35:27 0:35:27	56 MUR-B 76 2男	0:38:43 1:14:10	85 MUR-A 61 1男	0:36:23 1:50:33	64 55
58	東京工業大学ME	1:52:50 (184) 新人	細川 公平 1男	0:41:26 0:41:26	85 MUR-A 99 1男	0:36:23 1:17:49	64 MUR-B 68 1男	0:35:01 1:52:50	65 58
59	大阪大学MA	1:53:52 (213)	桜井 創 2男	0:32:45 0:32:45	41 MUR-B 59 2男	0:45:07 1:17:52	99 MUR-A 70 3男	0:36:00 1:53:52	59 59
60	北海道大学MB	1:54:03 (130)	宮川 太志 3男	0:33:09 0:33:09	52 MUR-A 63 2男	0:44:53 1:18:02	91 MUR-C 71 3男	0:36:01 1:54:03	60 60
61	北海道・山形混成	1:54:48 (233)	滝澤 純 1男	0:46:53 0:46:53	104 MUR-C 110 2男	0:29:50 1:16:43	23 MUR-A 67 1男	0:38:05 1:54:48	72 61
62	早稲田大学MD	1:55:06 (177) 新人	見目 憲秋		田村 朋宏		犬塚 真太郎		
62	東京大学MG	1:55:06 (177) 新人	木島 佑輔 1男	0:34:35 0:34:35	50 MUR-A 68 1男	0:43:16 1:17:51	89 MUR-B 69 1男	0:37:15 1:55:06	78 62
63	東京大学MF	1:55:18 (162) 新人	山口 雄太		秦 大樹		大西 正倫		
63	東京大学MF	1:55:18 (161) 新人	MUR-A 1男	0:33:08 0:33:08	45 MUR-C 62 1男	0:45:07 1:18:15	92 MUR-B 72 1男	0:37:03 1:55:18	77 63
63	筑波大学MF	1:55:26 (155) 新人	横田 望 1男	0:32:01 0:32:01	24 MUR-C 27 1男	0:50:16 1:19:52	105 MUR-B 77 1男	0:35:26 1:55:18	71 63
65	東京工業大学MC	1:55:26 (182)	MUR-A 2男	0:32:01 0:30:44	40 MUR-C 37 3男	0:38:27 1:05:48	78 MUR-B 37 2男	0:44:58 1:56:31	98 66
66	名古屋大学MM	1:56:31 (205)	宗本 健太郎 3男	0:30:44 0:32:15	30 MUR-C 42 MUR-C	0:35:04 0:46:07	53 MUR-A 95 MUR-B	0:50:43 0:39:45	102 88
67	岩手大学MB	1:58:07 (102)	川崎 壮人		松岡 慧		吉川 輝		
68	名古屋大学MS	1:58:35 (211) 新人	MUR-A 3男	0:31:02 0:31:02	33 MUR-C 40 2男	0:47:50 1:18:52	100 MUR-B 75 2男	0:39:43 1:58:35	87 68
69	名古屋大学MS	1:59:17 (211) 新人	山内 崇弘		遠藤 駿典		前田 悠佑		
			MUR-A 1男	0:46:26 0:46:26	97 MUR-C 108 1男	0:37:36 1:24:02	70 MUR-B 81 1男	0:35:15 1:59:17	68 69

			那須 佳祐		小柴 淩平		栗原 佑典				
70	筑波大学MC	1:59:36 (152)	MUR-B 2男	0:32:05 0:32:05	49 57	MUR-C 2男	0:42:50 1:14:55	89 62	MUR-A 2男	0:44:41 1:59:36	90 70
71	静岡大学MB	2:00:37 (190) 新人	吉崎 薫登		小栗 淳之介		寺田 侑司				
72	京都大学MH	2:02:59 (227)	清水 嶺之		朝野 棕太		祖父江 佑斗				
73	静岡大学MD	2:03:04 (192)	園田 一樹		藤田 真汐		吉竹 淳人				
74	福島大学MA	2:03:05 (134) 新人	三本杉 武大		久世 大城		庄司 大輔				
75	東北大學MK	2:03:06 (115) 新人	乙部 博章		小室 慎也		伊藤 雅哉				
76	大阪大学MF	2:03:27 (218) 新人	佐藤 真悟		柏本 雄士朗		秋山 周平				
77	東北大學MX	2:05:18 (128) 新人	橋本 航汰		猪又 光太郎		佐藤 建志				
78	東京工業大学MB	2:05:41 (181)	水野 淳		豊永 恭平		長坂 侑亮				
79	新潟大学ME	2:05:41 (141)	清水 浩太		小池 拓真		木村 優治				
80	千葉大学MD	2:05:43 (149)	荒若 潤哉		富田 英幸		塩向 雅斗				
81	京都大学MI	2:05:49 (228) 新人	実藤 俊太		竹内 孝		葛野 力				
82	茨城大学MB	2:08:55 (187)	蛭田 善大		川越 啓文		大坪 和貴				
83	東京大学MH	2:10:17 (163)	MUR-A 2男	0:40:04 0:40:04	80 95	MUR-C 3男	0:52:16 1:32:20	108 92	MUR-B 4男	0:36:35 2:08:55	74 82
84	名古屋大学MN	2:12:08 (206)	村川 拓也		村吉 謙之		佐藤 謙太				
85	慶應義塾大学MA	2:14:09 (145)	長塚 啓悟		畠佐 豪記		宮島 長太郎				
86	新潟大学MG	2:14:12 (143)	山下 晋平		村木 拓真		石井 岳				
87	東京農工大学MB	2:14:36 (169)	MUR-B 3男	0:38:20 0:38:20	84 91	MUR-A 4男	0:54:31 1:32:51	109 94	MUR-C 3男	0:41:21 2:14:12	83 86
88	名古屋大学ML	2:15:50 (204)	高橋 遼		坂本 泰一		堀田 隼人				
89	岩手大学MD	2:16:06 (104)	MUR-C 1男	0:35:25 0:37:17	55 67	MUR-B 2男	0:52:09 1:27:34	112 83	MUR-A 2男	0:47:02 2:14:36	98 87
			増田 翔太		福澤 佑哉		河井 悠佑				
			MUR-A 2男	0:36:21 0:36:21	63 79	MUR-B 1男	0:51:52 1:28:13	109 86	MUR-C 1男	0:47:37 2:15:50	99 88
			高久 匠		伊藤 健太		藤田 宇				
			MUR-C 1男	0:37:17 0:37:17	67 83	MUR-A 1男	0:53:15 1:30:32	107 87	MUR-B 2男	0:45:34 2:16:06	101 89

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

			鈴木 拓弥	羽山 恒平	天野 良樹			
90	京都大学MK	2:16:52 (230) 新人	MUR-A 1男	0:52:46 0:52:46	105 MUR-C 1男	0:49:40 1:42:26	104 MUR-B 1男	0:34:26 2:16:52
91	東北大学MT	2:16:54 (124)	山崎 健太郎	加藤 拓	茂木 俊之			
92	大阪大学ME	2:23:02 (217)	海沼 修平	山崎 大輔	堀野 太郎			
93	横浜市立大学MA	2:23:25 (188)	本山 翔太	川村 佳愛	川島 健太郎			
94	茨城大学MA	2:24:20 (186) 新人	伊坂 太一	岡田 悠馬	稻田 優幸			
95	名古屋大学MJ	2:26:10 (202)	出口 真行	大西 健夫	松山 聰史			
96	東北大学MW	2:28:38 (127)	山田 康太	伊藤 和也	前田 卓哉			
97	名古屋大学MK	2:28:51 (203)	彦坂 諭志	松本 拓也	橋本 薫楨			
98	新潟大学MD	2:30:30 (140)	片田 裕太	久保田 詞也	久須美 裕			
99	金沢大学MB	2:35:45 (136) 新人	田中 求	岩崎 郷史	井上 裕義			
100	北海道大学MD	2:35:55 (132) 新人	林 龍之介	佐々木 一聰	榎原 啓人			
101	岩手大学MC	2:37:32 (103)	菅原 涼太	尾崎 公亮	高橋 稔弥			
102	東京大学MJ	2:39:53 (165)	岩尾 朋洋	林 俊太	室田 健人			
103	千葉大学MC	3:03:32 (148) 新人	村上 拓哉	榎本 有作	佐東 一輝			
104	名古屋大学MP	3:14:30 (208)	堀 滉司	足立 将城	今井 健人			
105	岩手大学MA	3:16:16 (101) 新人	太田 好洋	尾形 季彦	天沼 博耀			
106	東北大学MR	3:17:25 (122)	番場 葵	太田 明光	大川 貴聖			
107	東京農工大学MD	3:38:23 (171) 新人	磯山 高志	濱 健一朗	松本 崇志			
108	筑波大学MD	4:27:56 (153)	小林 功直	野口 宇宙	佐藤 大心			
	名古屋大学MD	DISQ (196)	林 千尋	川岸 敬生	今井 祐太			
	神戸・神戸市外国語混成	DISQ (231)	築地 孝和	岩切 泰和	北川 太一			
			MUR-C 2男	0:30:39 0:30:39	28 MUR-C 2男	0:30:37 1:01:16	30 MUR-B 2男	DISQ
			MUR-C 1男	0:37:37 0:37:37	72 MUR-B 1男	0:35:17 1:12:54	70 MUR-A 58 2男	DISQ

岩手県立大学MA DISQ (133)	土田 俊泰 MUR-A 1男	0:26:56	7 MUR-B 10 3男	DISQ	MUR-C 1男	DISQ
東京工業大学MA DISQ (180)	佐藤 大樹 MUR-A 3男	0:29:31 0:29:31	22 MUR-B 24 3男	DISQ	MUR-C 3男	0:25:56 4
東北大学MN DISQ (118)	春原 広河 MUR-A 2男	0:30:42 0:30:42	30 MUR-B 36 2男	DISQ	MUR-C 2男	0:32:55 42
金沢工業大学MA DISQ (144) 新人	藤瀬 翔太 MUR-B 1男	北村 優志 MUR-C 46 1男			芦崎 衛 MUR-A 1男	2:04:16 120
関西・大阪混成 DISQ (232)	笠原 朋樹 MUR-B 4男	坂口 祐生 MUR-A 66 4男	DISQ		MUR-C 4男	0:30:23 27
東北大学MJ DISQ (114)	濱川 哲 MUR-B 4男	市川 晋 MUR-C 70 4男	DISQ		袖村 巧 MUR-A 4男	0:53:01 106
大阪大学MC DISQ (215)	仲田 宗平 MUR-C 2男	中林 祥基 MUR-A 86 2男	DISQ		木村 雄大 MUR-B 2男	0:31:59 47
名古屋大学MH DISQ (200)	新谷 国隆 MUR-C 4男	柳澤 鳩太 MUR-A 90 3男	DISQ		山本 匠毅 MUR-B 3男	0:29:42 21
千葉大学MB DISQ (147) 新人	牧野 剛士 MUR-A 1男	中浴 広樹 MUR-B 97 1男	DISQ		明石 孝平 MUR-C 1男	0:41:20 82
名古屋大学MO DISQ (207)	鈴木 豪仁 MUR-A 3男	蔵田 裕介 MUR-C 103 2男	DISQ		木村 晃世 MUR-B 1男	0:38:08 83
名古屋大学ME DISQ (197)	長谷部 量紀 MUR-A 2男	本多 貴祐 MUR-B 114 1男	DISQ		岡山 将也 MUR-C 2男	0:58:32 113
東京農工大学MC DISQ (170)	金子 和央 MUR-C 1男	南 勇太 MUR-B 121 2男	DISQ		橋内 勇一郎 MUR-A 3男	
名古屋大学MG DISQ (199)	遠藤 彰 MUR-C 2男	武田 悃 MUR-A 2男	DISQ		小林 裕太 MUR-B 3男	0:35:03 66
名古屋大学MB DISQ (194)	穂崎 康良 MUR-B 4男	牧 宏優 MUR-C 3男	DISQ		大村 幸一郎 MUR-A 2男	0:28:55 20
静岡大学MC DISQ (191)	戸田 篤希 MUR-B 2男	望月 優希 MUR-C 2男	DISQ		石坂 勇人 MUR-A 2男	0:39:23 78
東北大学MS DISQ (123) 新人	村杉 英昭 MUR-C 1男	細 正隆 MUR-B 1男	DISQ		加藤 健太 MUR-A 1男	0:35:26 56
東北大学MI DISQ (113)	南條 広記 MUR-A 4男	橋本 英明 MUR-B 4男	DISQ		田村 祐馬 MUR-C 4男	0:45:45 94
東北大学MH DISQ (112)	赤尾津 翔大 MUR-A 3男	山岡 由和 MUR-B 3男	DISQ		茂木 大介 MUR-C 3男	DISQ

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

WUR 2.2 km ↑110 - 120 m									
1	金沢大学WA (309)	山梨 莉 2女	WUR-C 0:31:34	5 3	野澤 麻乃 3女	0:29:20 1:00:54	4 1	松岡 里沙 3女	0:24:44 1:25:38
2	横浜市立大学WA (328)	土田 美和 1女	WUR-C 0:34:47	10 6	森田 桜織 1女	0:30:08 1:04:55	5 3	砂田 莉紗 2女	0:25:00 1:29:55
3	堀山女学園大学WA (330)	加地 沙綾子 4女	WUR-B 0:29:17	3 2	伊東 佑子 2女	0:35:40 1:04:57	11 4	中村 由紀子 4女	0:27:33 1:32:30
4	実践女子大学WA (315)	榎本 梨乃 3女	WUR-B 0:33:24	7 5	増田 実穂 4女	0:31:01 1:04:25	4 2	磯田 みつき 4女	0:36:11 1:40:36
5	宮城学院女子大学WA (302)	内海 春菜 2女	WUR-B 0:42:53	20 26	尾形 奈津季 1女	0:28:26 1:11:19	2 6	千葉 聰美 2女	0:35:30 1:46:49
6	堀山女学園大学WD (333)	星島 志保 2女	WUR-A 0:40:59	19 21	杉浦 春菜 3女	0:41:56 1:22:55	16 16	佐藤 あかね 2女	0:29:15 1:52:10
7	実践女子大学WD (318)	堀山 えり 3女	WUR-C 0:46:24	25 33	横戸 歩美 3女	0:36:02 1:22:26	8 14	今井 香澄 3女	0:31:28 1:53:54
8	奈良女子大学WA (341)	井川 慧美 4女	WUR-B 0:45:02	25 27	近都 有沙 3女	0:36:45 1:21:47	12 12	増田 美穂子 2女	0:32:51 1:54:38
9	堀山女学園大学WF (335)	但木 香澄 1女	WUR-B 0:45:46	26 28	玉井 亜里沙 2女	0:37:28 1:23:14	15 19	吉田 あかり 3女	0:31:32 1:54:46
10	実践女子大学WB (316)	林 梨花 4女	WUR-A 0:37:17	14 13	石井 萌子 2女	0:36:57 1:14:14	14 7	守屋 好恵 4女	0:44:56 1:59:10
11	宮城学院女子大学WB (303)	山本 菜津美 3女	WUR-B 0:41:23	15 22	大沼 春香 3女	0:32:58 1:14:21	8 8	上野 優 2女	0:46:22 2:00:43
12	東京農工大学WB (314) 新人	立目 美栄 1女	WUR-B 0:46:18	28 31	程 紀嘉 1女	0:32:53 1:19:11	7 10	稻垣 亞希乃 1女	0:42:28 2:01:39
13	千葉大学WB (311)	岡 礼華 3女	WUR-A 0:37:30	16 15	七夕 あかり 1女	0:41:51 1:19:21	18 11	田畠 柚紀子 2女	0:42:30 2:01:51
14	実践女子大学WF (320) 新人	小村 彩葵 1女	WUR-A 0:35:51	9 8	大山 祐未 1女	0:52:17 1:28:08	33 26	石神 愛海 1女	0:34:41 2:02:49
15	実践女子大学WE (319)	千葉 史子 2女	WUR-B 0:32:37	6 4	上杉 早有美 2女	0:37:05 1:09:42	13 5	荻原 美乃莉 2女	0:53:29 2:03:11
16	相模女子大学WB (323) 新人	寺沢 花 1女	WUR-A 0:35:49	8 7	林 奈々 1女	0:42:31 1:18:20	21 9	千葉 みづ季 1女	0:46:42 2:05:02
17	横浜市立・相模女子混 (347) 新人	平入 麻衣 1女	WUR-B 0:37:03	9 12	田中 美穂 1女	0:47:28 1:24:31	33 24	蔵並 祥子 1女	0:41:24 2:05:55
18	岩手県立大学WA (308)	板澤 李子 3女	WUR-A 0:36:09	10 10	藤澤 優 3女	0:46:05 1:22:14	23 13	横田 愛実 3女	0:48:22 2:10:36
19	東京農工大学WA (313)	田中 麻耶 4女	WUR-C 0:46:20	24 32	市場 彩花 1女	0:42:17 1:28:37	22 27	大塚 千夏子 3女	0:43:35 2:12:12
20	堀山女学園大学WE (334)	久保 志穂子 1女	WUR-C 0:51:13	32 42	横山 莉沙 2女	0:39:06 1:30:19	11 30	小島 菜帆 3女	0:42:54 2:13:13

			曾木 泉美		筒井 緑生		藤 美加子	
21	2:16:16 (331)	相模女子大学WB	WUR-A 1女	0:46:28 0:46:28	30 WUR-B 34 4女	1:01:59 1:48:27	38 WUR-C 36 3女	0:27:49 2:16:16
22	2:16:52 (343)	奈良女子大学WC	高橋 理恵		平渡 友理		島田 紀子	
23	2:18:34 (332)	相模女子大学WC	中島 希実		伊藤 沙恵		西垣 裕希	
24	2:21:18 (322)	相模女子大学WA	有尾 実紗		調 歩美		曾根 ちあき	
25	2:29:33 (337)	相模女子大学WH	魚住 詩織		黒宮 綾子		井上 アカリ	
26	2:29:35 (339)	京都女子大学WA	大井 紗		中野 江里沙		八十島 梓	
27	2:30:49 (340) 新人	京都女子大学WB	東又 みのり		中口 典子		番匠 遥	
28	2:33:23 (346) 新人	奈良女子大学WF	山田 祐理子		小谷 麻緒		井上 佳南	
29	2:41:24 (338) 新人	相模女子大学WI	田中 なみ		久保 実穂子		宇佐見 里緒菜	
30	2:43:21 (327) 新人	津田塾大学WC	門口 実加		竹之内 里咲		村上 莉沙	
31	2:43:23 (310)	千葉大学WA	萩原 夏生		八重柏 美緒		四元 理香子	
32	2:43:30 (342)	奈良女子大学WB	高橋 佳代		野内 瑞生		藤井 美樹	
33	2:44:18 (326)	津田塾大学WB	有賀 奈津美		秋吉 美里		熊野 恵子	
34	2:48:00 (305) 新人	宮城学院女子大学WD	大友 花菜子		岩井 真恵美		成田 真優	
35	2:59:11 (304)	宮城学院女子大学WC	佐々木 菜摘		今野 夏好		澤口 綾	
36	3:06:30 (317)	実践女子大学WC	平戸 優美		土池 佳那		宮田 理紗	
37	3:20:14 (325)	津田塾大学WA	海福 朋子		黒木 結花		山本 遥香	
38	3:20:45 (329) 新人	十文字学園女子大学WA	飯塚 えりか		岡野 仁美		笛木 充穂	
39	3:25:12 (307) 新人	宮城学院女子大学WF	鈴木 明日香		大石 真唯		保坂 拠香	
40	3:30:38 (321) 新人	実践女子大学WG	中丸 祝子		八田 秋奈		和田 郁佳	
41	3:40:03 (306) 新人	宮城学院女子大学WE	佐藤 加奈子		西條 志歩		星 萌華	

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

42	筑波大学WA 3:54:00 (312)	根岸 真衣子 WUR-C 4女	0:36:04	12 WUR-B 9 1女	0:56:58 1:33:02	36 WUR-A 31 1女	2:20:58 3:54:00	46 42
	奈良女子・京都混成 DISQ (348)	大井川 仁美 WUR-C 3女	0:37:47 0:37:47	15 WUR-A 16 1女	0:45:20 1:23:07	26 WUR-B 18 1女	DISQ	
	堀山女学園大学WG DISQ (336)	神谷 玲花 WUR-B 2女	0:27:36 0:27:36	2 WUR-C 1 1女	0:55:50 1:23:26	36 WUR-A 20 2女	DISQ	
	お茶の水女子・ 十文字学園女子混成 DISQ (349)	鈴木 咲帆 WUR-C 1女	新井 智夏 29 WUR-A 38 2女		1:10:37 1:59:48	42 WUR-B 41 1女	DISQ	
	奈良女子大学WD DISQ (344)	伴 佳美 WUR-A 2女	0:49:20 0:49:20	35 WUR-C 40 1女	DISQ	WUR-B 2女	0:40:00 12	
	奈良女子大学WE DISQ (345)	伊藤 舞子 WUR-B 2女	1:11:27 1:11:27	43 WUR-A 47 1女	DISQ	WUR-C 4女	1:03:57 38	
	岩手大学WA DISQ (301)	中神 志穂 WUR-C 1女		斎藤 里紗 WUR-A 1女	0:39:31	17 WUR-B 17 3女	0:27:01 1	

XUR 2.2 km ↑110 - 120 m								
	新潟大学XA 1:00:53 (411)	小松 和輝 XUR-A 3男	0:17:41	名塚 晴香 1 XUR-B 2 3女	0:24:05 0:41:46	中村 浩之 6 XUR-C 1 4男	0:19:07 1:00:53	2 1
1	金沢大学XC 1:03:43 (410) 新人	大竹 達也 XUR-B 1男	0:17:44 0:17:44	木村 史依 2 XUR-C 3 1女	0:26:35 0:44:19	野崎 信介 9 XUR-A 2 1男	0:19:24 1:03:43	2 2
2	岩手大学XB 1:06:36 (402)	佐々木 克海 XUR-A 2男	0:22:59 0:22:59	關 明日香 10 XUR-C 12 4女	0:22:49 0:45:48	山内 司 7 XUR-B 3 4男	0:20:48 1:06:36	4 3
3	金沢大学XA 1:07:54 (408)	春日 直也 XUR-C 2男	0:19:34 0:19:34	荒井 清美 3 XUR-A 5 2女	0:27:20 0:46:54	小山 健司 12 XUR-B 4 3男	0:21:00 1:07:54	5 4
4	東北大學XA 1:10:00 (403)	橋場 良太 XUR-B 2男	0:16:42 0:16:42	葭葉 歩未 1 XUR-C 1 2女	0:32:28 0:49:10	乳井 草太 13 XUR-A 5 2男	0:20:50 1:10:00	6 5
5	東京農工大學XA 1:19:32 (413) 新人	中里 優理 XUR-A 1男	0:21:46 0:21:46	堀内 かほる 8 XUR-C 10 1女	0:30:44 0:52:30	久保田 将行 12 XUR-B 7 1男	0:27:02 1:19:32	8 6
6	岩手大学XA 1:20:38 (401) 新人	君成田 智裕 XUR-C 1男	0:24:32 0:24:32	藤田 麻矢 8 XUR-B 13 1女	0:35:57 1:00:29	田口 茂樹 15 XUR-A 10 1男	0:20:09 1:20:38	4 7
7	金沢大学XB 1:23:27 (409)	森 一樹 XUR-A 2男	0:22:00 0:22:00	輿 織江 9 XUR-C 11 2女	0:28:17 0:50:17	高橋 秀明 11 XUR-B 6 2男	0:33:10 1:23:27	13 8
8	名古屋大学XA 1:23:50 (418) 新人	段塚 裕貴 XUR-A 1男	0:19:34 0:19:34	中村 友香 3 XUR-C 5 1女	0:39:41 0:59:15	佐藤 充晃 16 XUR-B 9 1男	0:24:35 1:23:50	7 9
9	東北大學XC 1:24:23 (405) 新人	吉川 拓寿 XUR-B 1男	0:28:18 0:28:18	新井 梨子 9 XUR-A 14 1女	0:34:42 1:03:00	日隈 友也 13 XUR-C 11 1男	0:21:23 1:24:23	6 10
10	東京農工大學XB 1:39:42 (414) 新人	下村 恵 XUR-B 1男	0:29:15 0:29:15	武田 紗知 11 XUR-A 15 1女	0:43:07 1:12:22	長谷川 充 15 XUR-C 12 1男	0:27:20 1:39:42	10 11
11	東京工業大學XA 1:58:30 (416)	中野 真司 XUR-C 3男	0:20:24 0:20:24	河越 奈沙 4 XUR-B 7 3女	1:10:47 1:31:11	大倉 辰興 19 XUR-A 15 3男	0:27:19 1:58:30	11 12

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

	一橋大学XA	藤原 吉高		井上 望		榎 智弘			
13	2:03:49 (415)	XUR-C 4男	0:36:51	15 XUR-B 18 2女	0:41:51 1:18:42	17 XUR-A 13 1男	0:45:07 2:03:49	16	
14	2:14:21 (419)	関東学院・相模女子混成	立川 大輝	平井 可奈子		岩崎 彩香			
15	2:16:49 (420) 新人	東京・武蔵野混成	桑原 大樹	田中 圭		満井 唯奈			
16	2:32:13 (407)	福島大学XA	小室 裕貴	熊谷 美幸		相馬 智敦			
	茨城大学XA	勝間田 駿	中山 静来	栗山 拓己					
	3:44:28 (417)	XUR-C 2男	0:34:51	14 XUR-A 17 1女	2:33:11 3:08:02	17 XUR-B 17 2男	0:36:26 3:44:28	16	
	東北大学XD	大川 拓哉	本間 実季	小松 栄輝					
	DISQ (406) 新人	XUR-B 1男	0:18:08 0:18:08	3 XUR-A 4 1女	DISQ	XUR-C 1男	0:18:50	1	
	東北大学XB	井鍋 寛伸	渡邊 彩香	稻垣 湃斗					
	DISQ (404)	XUR-A 3男	DISQ	XUR-B 4女	0:28:44	10 XUR-C 3男	0:20:57	5	

MUS 3.3 km ↑180 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	濱田 佑	京都大学 2	0:29:06
2	館野 瑞樹	東京大学 3	0:29:16
3	平野 大輔	名古屋大学 3	0:34:41
4	佐々木 勘一郎	新潟大学 4	0:36:23
5	矢吹 俊哉	東北大学 4	0:39:04
5	山下部 諒	東京工業大学 1	0:39:04
7	中港 信之介	千葉大学 2	0:39:07
8	小室 祐貴	新潟大学 3	0:40:25
9	杉山 泰斗	名古屋大学 2	0:40:34
10	中村 爽太	電気通信大学 2	0:43:02
11	河野 浩典	早稲田大学 3	0:44:06
12	天羽 洸介	千葉大学 2	0:44:35
13	横山 大輔	東京工業大学 3	0:45:58
14	木村 友佳	長野工業高等専門学校 2	0:48:48
15	小川 裕太	東京農工大学 3	0:50:17
16	横山 凌静	早稲田大学 4	0:55:07
17	池田 航也	電気通信大学 2	0:59:05
18	小山 智弥	金沢大学 3	1:00:05
19	山田 晃司	静岡大学 4	1:00:32
20	大宮 雅智	横浜市立大学 1	1:03:03
21	増川 武志	東京農工大学 4	1:04:53
	伊波 俊	静岡大学 4	DISQ

オフィシャルレース 1.7 km ↑80 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	結城 克哉	東京大学	0:11:44
2	堀田 遼	一橋大学	0:11:49
3	松井 健哉	名古屋大学	0:11:50
4	山上 大智	お茶の水女子大学	0:12:01
5	円井 基史	金沢工業大学	0:12:19
6	三谷 洋介	東京大学	0:12:25
7	中島 正治	横浜市立大学	0:12:26
8	立川 悠平	新潟大学	0:12:35
9	三善 研吾	名古屋大学	0:12:47
10	寺田 啓介	京都大学	0:12:50
11	瀧本 拓央	名古屋大学	0:12:54
12	片桐 拓登	筑波大学	0:12:56
13	田中 裕也	大阪大学	0:13:02
14	堀越 和宣	立教大学	0:13:22
15	菅谷 裕志	名古屋大学	0:13:25
16	宮内 貴規	静岡大学	0:14:19
17	千代澤 健右	早稲田大学	0:14:57
18	市脇 翔平	京都女子大学	0:15:02
19	太田 優佑	早稲田大学	0:15:05
20	矢野 貴裕	実践女子大学	0:15:20
21	多比 義大	千葉大学	0:15:39
22	新見 哲也	日本女子大学	0:16:31
23	新井 宏美	新潟大学	0:21:30
	秋庭 健佑	茨城大学	DISQ

WUS 2.2 km ↑120 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	氏家 由佳	岩手県立大学 2	0:40:59
2	井原 梨衣奈	日本女子大学 2	0:42:08
3	小林 佳奈	愛知淑徳大学 1	0:44:15
4	安田 理紗	宮城学院女子大学 3	0:47:19
5	阿部 恵子	宮城学院女子大学 3	0:52:05
6	佐藤 友理	東邦大学 4	0:54:25
7	藤井 奏子	岩手県立大学 1	1:01:22

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

3 | 併設大会

OAL1 3.5 km ↑200 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	紺野 俊介	横浜OLクラブ	0:26:22
2	谷川 友太	OLCルーパー	0:26:36
3	松澤 俊行		0:28:33
4	円井 基史	金沢工大O.T.C	0:29:26
5	津島 直樹	航走の会静岡県支部	0:32:57
6	上野 光		0:33:12
7	大木 孝		0:33:27
8	牧山 知彦	うそうそ軍	0:33:34
9	橋本 浩一	横浜OLC	0:34:52
10	石坂 翼樹	金大OB	0:35:41
11	大箱 貴志	京大MJC	0:37:13
12	福田 雅秀	川越OLC	0:38:39
13	桜井 剛	方向音痴会	0:38:52
14	新城 大樹	つばめ会	0:39:09
15	山本 賀彦		0:39:19
16	新見 健輔	Wake Up Boys!	0:40:07
17	大塚 弘樹	おひとりさまかい?	0:40:18
18	高橋 元気	安田クラブ	0:40:44
19	小暮 喜代志		0:41:04
20	木村 洋介	大阪OLC	0:41:45
21	坂梨 敏哉	お父さんは自宅	0:42:00
22	更科 裕介	新潟大学OB	0:42:09
23	小林 二郎		0:42:36
24	石井 龍男		0:43:40
25	針谷 尚幸	おひとりさまかい?	0:43:45
26	坪居 大介	つばめ会	0:44:47
27	吉野 信	関西学連応援団	0:45:15
28	古澤 誠実朗	鳩の会	0:45:24
29	角岡 明	三河OLC	0:45:56
30	東條 真也	丘の上	0:46:02
31	山口 尚宏	OLCルーパー	0:46:09
32	浦瀬 太郎	OLK9期?	0:46:11
33	井口 良範		0:46:25
34	池田 博		0:47:46
35	瀬沼 健	電通大OB	0:48:48
36	鍋谷 泰紀	六国会	0:48:57
37	高橋 大輔	航走の会静岡県支部	0:49:58
38	松橋 徳敏		0:50:50
39	大野 政男	下野市OLクラブ	0:51:47
40	荒井 正敏	多摩OL楽園居	0:55:13
41	大林 俊彦	チーム谷垣 2014	1:03:17
42	大谷 達也	六国会	1:26:59
	宮田 雅人	六国会	1:31:39
	木村 修	鳩の会	DISQ

OAL2 3.5 km ↑200 m

順位	氏名	学校・学年	タイム
1	大西 康平	ぞんび～ず	0:25:59
2	日下 雅広		0:27:29
3	藤生 考志		0:30:36
4	新 隆徳		0:31:14
5	石黒 裕将	岩手大学OB	0:32:56
6	源後 知行	木醉会	0:33:04
7	中井 智規	Wake Up Boys!	0:33:16
8	咸田 真彦	神奈川県川崎市	0:33:42
9	国沢 五月	トータス	0:34:47
10	渡辺 円香		0:35:19
11	太田 貴大	東北大OB	0:35:29
12	柴沼 健	長井はいつも 心のなかに	0:36:06
13	大橋 晴彦		0:36:22
14	宮本 知江子	京葉OLクラブ	0:36:25
15	森 竜生	横浜OL	0:37:54
16	谷口 彰登	鳩の会	0:37:56
17	加納 尚子		0:38:38
18	カティヤ・ ラハティネン		0:39:11
18	山川 登	長井はいつも 心のなかに	0:39:11
20	小林 岳人	ES関東C	0:39:25
21	小山 清	京葉OLクラブ	0:40:05
22	高野 由紀	東京OLクラブ	0:40:14
23	佐藤 悠太	Wake Up Boys!	0:41:42
24	小澤 啓	方向音痴会	0:42:40
25	岡本 耀平	京都大学OB	0:43:07
26	木村 佳司	長野県協会	0:43:17
27	山岸 夏希	長井はいつも 心のなかに	0:44:29
28	木村 耕平	入間市OLC	0:45:35
29	登坂 祥大	丘の上	0:46:32
30	五十嵐 則仁		0:47:14
31	南家 弘章	NNKKN	0:48:14
32	大杉 祥二		0:51:09
33	村松 瞳	チームのこのこ その他組	0:52:10
34	池田 匠		0:54:05
35	佐々木 裕之		0:54:42
36	横澤 夕香		0:57:26
37	小野寺 翔	航走の会静岡県支部	0:57:43
38	浦瀬 香子	OLK9期?	1:00:25
39	久保田 皓貴	お父さんは自宅	1:02:52
40	小林 賢太朗	新潟大学OB	1:04:14
41	島崎 拓也	六国会	1:06:45
42	加藤 弘之		1:20:01
	番場 洋子		1:34:21
	近藤 準	六国会	2:20:19

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

OAM 2.5 km ↑120 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	武藤 拓王	横浜OLクラブ	0:26:27
2	上村 雅俊	方向音痴会	0:28:30
3	大塚 校市	千葉OLK	0:28:48
4	宮川 裕子	ES関東C	0:33:41
5	山本 博司	ES関東C	0:34:50
6	谷垣 宣孝		0:35:53
7	常住 紗織	ときわ走林会	0:37:00
8	二俣 みな子	おひとりさまかい?	0:38:13
9	伊東 博司	広島OLC	0:39:17
10	島山 真紀	NGSS	0:39:32
11	小林 正子	ES関東C	0:41:40
12	村越 久子	MADAMS2014	0:43:34
13	佐藤 清吾	六国会	0:43:42
14	増山 歩	おひとりさまかい?	0:43:48
15	高嶋 智美	航走の会静岡県支部	0:45:04
16	小林 瑞衣紗	ES関東C	0:46:34
17	三井 由美	三河OLC	0:48:30
18	仁多見 剛	多摩OL	0:50:16
19	高橋 厚	多摩OL	0:52:03
20	秋田 育徳		0:54:54
21	中里 元彦	お笑いOLC	0:56:28
22	若瀬 亮	東大OB	0:56:48
23	植松 裕子		1:01:39
24	秋原 崇文	電通大OB	1:13:29
25	植松 彩		1:16:40
26	今井 信親	ワンダラーズ	1:20:56
	深井 淳之		2:41:41

OAS 1.4 km ↑60 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	赤坂 太郎		0:11:44
2	丸藤 純	ときわ走林会	0:13:28
3	鳥羽 都子		0:15:28
4	大山 佳祐	航走の会	0:16:22
5	河合 利幸		0:18:07
6	鈴木 正夫	千葉OLK	0:18:57
7	鈴木 宗一	千葉OLK	0:19:37
8	原野 幸男	所沢OLC	0:25:04
9	山本 陽子	ES関東C	0:31:10
10	今井 栄	ワンダラーズ	0:34:59
11	小笠原 揚太郎	TokyoOLクラブ	1:01:13

OB 1.5 km ↑75 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	青木 孝道	そうそう軍	0:16:30
2	小原 りら		0:22:23

ORL - 2013年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 リレー競技部門 - Results										
チームT		寺垣内航			寺垣内航			寺垣内航		
	1:10:19 (712)	ORL-A	0:22:11	1 ORL-C	0:24:45	2 ORL-B	0:23:23	1		
		32男	0:22:11	1 32男	0:46:56	1 32男	1:10:19	1		
1	名古屋大学OB1 1:13:20 (723)	松井 健哉		菅谷 裕志		谷川 友太				
2	東北大OB 1:22:07 (715)	太田 貴大		日下 雅広		上野 光				
3	鳩の会A 1:23:00 (724)	古澤 誠実朗		谷口 彰登		鳥居 正				
4	木酔会 1:24:05 (720)	ORL-A	0:24:38	3 ORL-C	0:26:02	4 ORL-B	0:32:20	13		
5	トリプルスリー 1:26:12 (701)	35男	0:24:38	4 28男	0:50:40	4 27男	1:23:00	4		
6	Wake Up Boys! 1:28:55 (717)	樽見 典明		小暮 喜代志		源後 知行				
7	長井はいつも心のなかに 1:29:38 (705)	ORL-B	0:25:02	5 ORL-A	0:28:54	6 ORL-C	0:27:49	5		
8	横浜OLクラブ 1:38:57 (703)	柴沼 健		佐藤 悠太		新見 健輔				
		橋本 浩一		山口 尚宏		池 陽平				
		ORL-C	0:30:09	7 ORL-B	0:27:47	7 ORL-A	0:41:01	20		
		41男	0:30:09	10 46男	0:57:56	8 46男	1:38:57	9		
	京女橋 1:44:20 (713)	加納 尚子		鳥羽 都子		新 隆徳				
		ORL-A	0:35:34	16 ORL-C	0:42:39	18 ORL-B	0:26:07	6		
		43女	0:35:34	20 42女	1:18:13	19 43女	1:44:20	10		

イベント
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

		チーム谷垣2014	大林 俊彦	谷垣 宣孝	山根 祥延				
9	1:45:17 (704)	1:45:17 (704)	ORL-A 49男	0:34:52 0:34:52	15 ORL-B 17 51男	0:42:03 1:16:55	21 ORL-C 18 50男	0:28:22 1:45:17	6 11
10	1:45:54 (709)	東工大つばめ会	新城 大樹	奥田 健史	坪居 大介				
11	1:46:57 (707)	新潟大学OB	小林 賢太朗	更科 裕介	高田 翔午				
12	1:49:05 (706)	ときわ走林会	丸藤 純	常住 紗織	大杉 祥二				
13	1:50:41 (716)	みちの会	高橋 元気	田島 聖子	大木 孝				
14	1:54:15 (719)	おひとりさまかい?	大塚 弘樹	増山 歩	針谷 尚幸				
15	1:55:58 (718)	航走の会静岡県支部	津島 直樹	小野寺 翔	高橋 大輔				
16	1:56:43 (708)	丘の上C	東條 真也	横井 智哉	田原 壮一郎				
17	2:02:21 (727)	青葉会	斎藤 祐也	青柳 健大	後藤 陽一				
18	2:06:04 (702)	OLK9期?	浦瀬 香子	竹下 俊輔	浦瀬 太郎				
19	2:16:42 (722)	そうそう軍	降旗 健	青木 孝道	福田 大輔				
20	2:18:28 (721)	うそうそ軍	牧山 知彦	熊野 匠人	岡野 諭				
21	2:22:14 (710)	六国会A	鍋谷 泰紀	近藤 準	佐藤 清吾				
22	2:24:04 (725)	鳩の会B	雨宮 亨	尾崎 健士	飯泉 祐司				
23	2:29:05 (711)	六国会B	額賀 翔平	島崎 拓也	南家 弘章				
	DISQ (714)	方向音痴会	上村 雅俊	小澤 啓	桜井 剛				
	DISQ (726)	お父さんは自宅	坂梨 敬哉	久保田 翯貴	久保田 翯貴				
			ORL-A 37男	0:32:17 14 44男	DISQ	ORL-B 12 50男	DISQ		
			ORL-C 18男	0:35:15 19 18男		ORL-B 18男	DISQ		

イベント・
アドバイザー
報告
P.4-6

将来への
提言
P.7-10

ミドル
入賞者
コメント
P.11-17

ミドル
コース
解説
P.18-22

リレー
入賞校
コメント
P.23-30

リレー
コース
解説
P.31-37

成績・
各種資料
P.38-66

ORS - 2013年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 リレー競技部門 - Results			
1	名古屋大学OB2 1:04:57 (808)	内田 哲紀 ORS-A 24男 0:18:25	小林 知彦 ORS-B 1 28男 0:22:29 0:40:54
2	俱楽部サマンサ 1:13:01 (802)	沓木 知宏 ORS-B 28男 0:21:44	中尾 吉男 ORS-C 1 28男 0:27:24 0:49:08
3	チームつのだ 1:18:23 (805)	高橋 摩帆 ORS-A 28女 0:30:13	畠山 真紀 ORS-C 4 24女 0:25:00 0:55:13
4	チーム31 1:26:25 (804)	内田 茂樹 ORS-B 25男 0:31:31	飯田 恭朗 ORS-C 5 25男 0:26:57 0:58:28
5	チームのこのこ その他組 1:39:21 (806)	赤川 裕貴 ORS-B 24男 0:33:05	伊藤 光平 ORS-A 8 24男 0:35:21 1:08:26
6	多摩OL楽隱居 1:45:04 (807)	仁多見 剛 ORS-C 男 0:36:40	高橋 厚 ORS-B 7 83男 0:41:55 1:18:35
7	千葉OLK-V 1:57:35 (801)	大塚 栄市 ORS-C 63男 0:27:32	鈴木 栄一 ORS-A 5 70男 0:30:47 0:58:19
	MADAMS2014 DISQ (803)	三井 由美 ORS-A 55女 0:32:08	村越 久子 ORS-B 6 57女 0:29:15 1:01:23
			植松 裕子 ORS-C 6 女
			荒井 正敏 ORS-C 6 24女 0:30:55 1:39:21
			村松 瞳 ORS-C 7 24男 0:27:57 1:26:25
			清水 智仁 ORS-A 3 25男 0:27:57 1:26:25
			石黒 裕将 ORS-A 2 28男 0:23:53 1:13:01
			太田 康博 ORS-C 1 27男 0:24:03 1:04:57

OSL 3.3 km ↑180 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	藤沼 崇	新大 OB 越王会	0:21:53
2	松澤 俊行		0:23:25
3	円井 基史	金沢工大 OTC	0:23:28
4	大西 康平	ぞんび～ず	0:23:31
5	加藤 弘之		0:23:55
6	藏田 真彦	神奈川県川崎市	0:26:39
7	藤生 考志		0:26:43
8	稻葉 英雄	三河 OLC	0:27:03
9	番場 洋子		0:29:34
10	カティヤ・ラハティン		0:30:02
11	山本 賀彥		0:33:03
12	渡辺 円香		0:34:06
13	角岡 明	三河 OLC	0:34:18
14	石井 龍男		0:34:29
15	瀬沼 健	電通大 OB	0:34:39
16	栗城 吾央	航走の会	0:34:44
17	福田 雅秀	川越 OLC	0:35:05
18	山本 博司	ES 関東 C	0:35:47
19	木村 修	鳩の会	0:36:01
20	大山 佳祐	航走の会	0:36:33
21	武藤 拓矢	横浜 OL クラブ	0:36:59
22	今泉 知也	京葉 OL クラブ	0:41:15
23	木村 耕平	入間市 OLC	0:46:19
24	横澤 夕香		0:46:24
25	森川 正己	外濠之会	0:50:58
26	大谷 達也	六国会	0:55:39
27	井口 良範		1:00:59
28	関野 賢二	YTC78	1:13:16

OSS 2.2 km ↑120 m			
順位	氏名	学校・学年	タイム
1	石坂 翼樹	金大 OB	0:16:26
2	赤坂 太郎		0:19:17
3	木村 洋介	大阪 OLC	0:24:40
4	今井 信親	ワンダラーズ	0:35:06
5	今井 栄	ワンダラーズ	0:35:36
6	原野 幸男	所沢 OLC	0:36:29
7	山本 陽子	ES 関東 C	0:41:44
8	深井 淳之		0:47:41
9	秋原 崇文	電通大 OB	0:50:06

10 大会役員

1 | 責任者、担当者一覧

役職	氏名
実行委員長	寺岡 倫子
イベント・アドバイザー	海老 成直
運営責任者	中野 雅之
競技責任者	栄森 貴久
ミドルコース設定者	宮本 佳記
涉外責任者	和氣 昌弘
広報責任者	石塚 健之
エントリー担当	津田 春菜
資材担当	田村 晃太郎
スタートパートチーフ	池田 純也
受付パートチーフ	福西 佑紀
演出パートチーフ	千葉 妙
宿泊輸送パートチーフ	石輪 健樹

役職	氏名
イベント・アドバイザー補佐	高橋 雄哉
運営責任者補佐	宗形 俊
競技責任者補佐	大嶋 拓実
リレーコース設定者	小林 遼
会計責任者	古里 亮太
人事責任者	村上 梨枝
モデルイベント担当	宮崎 大地
開会式担当	田邊 拓也
フィニッシュパートチーフ	燧 晓彦
会場パートチーフ	楠 恵輔
競技救護パートチーフ	保川 一歩
併設大会実行委員長	田村 蓉子

2 | 大会当日役員配置

・本部	寺岡 倫子[獨協 07] 栄森 貴久[京都 06]	海老 成直[中央 04] 田村 蓉子[東京工業 07]	中野 雅之[東京 08]
・受付	福西 佑紀[東京 07]	大沼 由佳[東北 08]	
・会場	楠 恵輔[東京工業 08]	銭 球[東京 09]	
・演出	千葉 妙[筑波 04] 石塚 健之[東北 05]	田村 佳菜子[岩手県立 09] 斎藤 翔太[一橋 07]	井上 博人[東京農工 01]
・スタート	池田 純也[一橋 09] 山川 雅也[名古屋 06] 宮崎 大地[東京工業 08] 古里 亮太[東京 08] 太田 夏美[千葉 07] 小澤 宏紀[名古屋 07]	久保 貴大[新潟 06] 水野 綾子[東北 07] 田村 晃太郎[東京 09] 宗形 俊[新潟 05] 高橋 雄哉[図書館情報 02] 和氣 昌弘[東北 07]	小見山 斎彰[千葉 05] 津田 春菜[千葉 07] 宮本 佳記[京都 07] 山本 紗穂里[筑波 07] 影山 奨[東北 07]
・フィニッシュ	燧 晓彦[東京 09] 松田 和政[東北 06] 戸田 瑛[東北 07]	小林 篤司[京都 07] 小林 遼[東京 07] 大嶋 拓実[東京工業 08]	立川 洋[筑波 98] 本間 理紗[東北 07] 谷 祐樹[名古屋 08]
・競技救護	保川 一歩[東京工業 08] 岩瀬 祐介[早稲田 04] 田邊 拓也[東北 08]	八神 遥介[東北 02] 村上 梨枝[実践女子 07] 林 美樹[十文字女子 08]	角田 明子[岩手県立 03] 山田 あゆみ[津田塾 07] 岩本 拓巳[横浜市立 09]
・NG クラス	幸村 和美[岩手 03]	西名 慧史[茨城 07]	小泉 辰喜[慶應義塾 83]
・輸送	石輪 健樹[東京 08] 小鷺 宜也[早稲田 02] 小橋 昌明[東京 07]	五嶋 宏通[京都 03]	高野 圭司[東京工業 07]
・ビデオ	尾崎 高志[早稲田 01]		

地図調査

山川克則 西村徳真 三上雅克

イベント・アドバイザー

海老成直 高橋雄哉

裁定委員

武藤拓王 増山歩 谷川友太

2013 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会

ミドル・ディスタンス、リレー競技部門 報告書

発行日：2014 年 6 月 1 日

発行元：日本学生オリエンテーリング連盟

所在地：〒112-0014 東京都文京区関口 3-18-12 目白台芙蓉ハイツ 104

TEL&FAX：050-2012-4825

Web サイト：<http://www.orienteering.com/~uofj/>

発行責任者：寺岡 優子

編集責任者：石塚 健之

印刷・製本：東京リスマチック株式会社

本報告書に掲載されている写真は、上林弘敏様よりご提供いただきました。
この場をお借りして、御礼申し上げます。